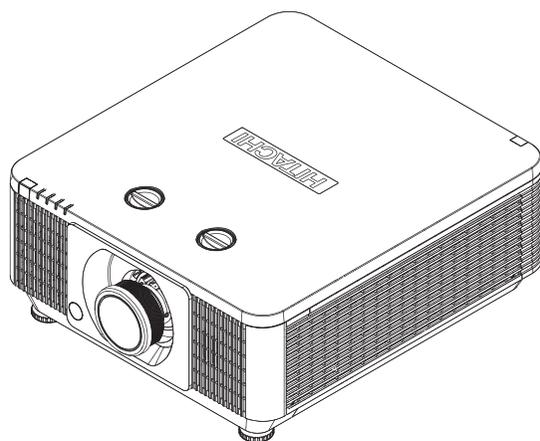


HITACHI
Inspire the Next

**プロジェクター
LP-WU6600J
取扱説明書**

本製品を御購入いただきありがとうございます。
製品のご使用前に、必ず本書をご覧ください。
将来の参照のため、本書を安全な場所に保管してください。



もくじ

警告、注意、安全に関する説明	4	VIDEO 接続	39
注意	4	SERVICE 接続	39
付属品	4	RS232C 接続	40
はじめに	5	Audio IN (L/R) 接続	40
正しくお使いいただくために	5	Audio OUT (L/R) 接続	41
使用上のご注意	6	Audio IN (ミニジャック) 接続	41
プロジェクターの両側に障害物がある場合	12	WIRED REMOTE 接続	42
プロジェクターの背後に障害物がある場合	12	プロジェクターの電源On/Off	42
配置の注意	12	電源コードを本機に接続する	42
3D に関する注意	13	プロジェクターの起動	43
プロジェクターの光源を直接のぞかない	14	プロジェクターを停止する	44
製品ラベル	15	入力ソースの選択	44
投写窓の位置	17	アクセスパスワードの設定(セキュリティー・ロック)	45
連動スイッチ	17	設置場所の選択	47
製品に含まれる毒性・有害物質/ 毒性・有害成分の名称と量	17	プロジェクターの角度調節	48
プロジェクターの各部の名称と働き	18	プロジェクターのズーム、フォーカス調節	49
正面図	18	ズーム	49
LEDインジケータ	18	フォーカス	49
背面図	19	キーストーンの調節	50
プロジェクターキーパッド	19	OSDメニューツリー	51
I/Oポート(入力/出力)	20	OSD説明	55
底面図	21	イメージ	55
リモコン	22	ディスプレイモード	55
リモコン信号の有効受光範囲	24	明るさ	56
リモコンへの電池の取り付け	25	コントラスト	56
プロジェクターの設置	26	コンピュータ	57
オプションレンズの取り付け/取り外し	26	オートアジャスト	58
新しいレンズの取り付け	26	アドバンスドメニュー	58
レンズをプロジェクターから取り外す	27	カラーマネージャ	60
投写距離	28	設定 1	61
設置モード	28	入力ソース	61
設置状態	28	設置状態	61
水平および垂直レンズシフト	30	アスペクト	62
レンズシフト	30	キーストーン	62
投写映像の垂直移動	32	ズーム	62
投写映像の水平移動	32	音声	62
プロジェクターの接続	33	アドバンスドメニュー 1	63
HDMI / MHL / DVI 接続	33	アドバンスドメニュー 2	64
RGB 接続	34	4 Corner	64
HDBaseT 接続	36	設定 2	65
12V トリガー接続	37	オートソース	65
RJ45 接続	37	オートパワーオフ(分)	65
USB POWER (5V/1.5A) 接続	38	ダイレクトパワーオン	65
3D SYNC (5V) 接続	38	レーザーモード	65
		工場出荷設定	66

状態	66
アドバンスドメニュー 1	66
アドバンスドメニュー 2	75
カスタムライト	75
お手入れ	76
キャビネットのお手入れ	76
レンズのお手入れ	76
Kensington® ロックの使用	77
簡易トラブルシューティング	78
LEDインジケータの状態	80
仕様	81
仕様	81
レンズシリーズ	82
適用可能な信号入力モード	82
3Dタイミング形式	84
外形寸法	85
通信設定	86
RS-232通信	86
接続	86
ネットワークを介したコマンド制御	88
接続	88
通信ポート	88
コマンド制御設定	89
通信コマンド表	89
PJLinkコマンド	100
投写距離と投写サイズの対照表	101
保証とアフターサービスについて	102
お客様相談窓口	103
商標	103

警告、注意、安全に関する説明

注意

本機は、プロジェクター製品の操作に慣れた成人向けに製造されています。

お手元のプロジェクターの型名とシリアル番号を記録し、今後のメンテナンス用に保管してください。万一装置を紛失したり盗難にあった場合は、この情報が警察の調査報告に使用されることがあります。

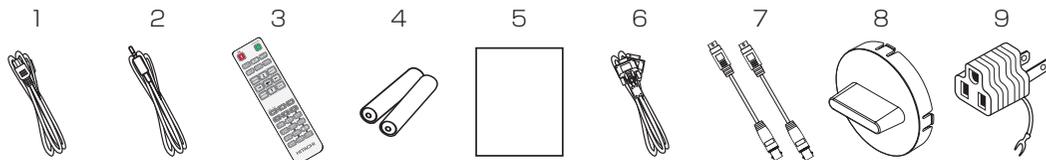
型名:

シリアル番号:

付属品

プロジェクターに含まれる付属品が揃っていることを、下記の一覧を使って確認してください。万一不足している付属品があれば、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

- | | | |
|---------------|--------------|----------------|
| 1. 電源コード | 4. 単4形乾電池×2個 | 7. 3D同期ケーブル×2本 |
| 2. 有線リモートケーブル | 5. 取扱説明書 | 8. マウントキャップ |
| 3. リモコン | 6. RGBケーブル | 9. 電源アダプター |



警告



●電池の取扱いに注意する

子どもやペットが届くところに放置しないでください。



●電源コード

本機に付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。

お知らせ

●梱包材は大切に保管してください。

修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

お知らせ

●本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。

●本書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●本書の内容の一部、あるいは全部を無断で複製、転載しないでください。

●本書に記載している挿絵は、説明のための一例です。お客様のプロジェクターとは若干の相違がある場合があります。

はじめに

正しくお使いいただくために《必ずお読みください》

この製品をご使用になる前に、必ずこの「正しくお使いいただくために」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。誤ったご使用や通常の範囲を超える取扱いによる危害や損害については、いかなる場合も弊社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■絵表示について

本書ではこの製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷を発生する可能性があります。

■絵表示の意味



「注意」を示します。
この記号の後に続けて「気をつけなければならない」ことを記載しています。



「感電注意」
「高温注意」



「禁止」を示します。
この記号の後に続けて「してはいけない」ことを記載しています。



「分解禁止」
「水ぬれ禁止」
「ぬれ手禁止」



「強制」を示します。
この記号の後に続けて「必ず行わなければならない」ことを記載しています。



「電源プラグをコンセントから抜け」

お守りください

本機、およびその他の周辺機器を快適にご使用いただくため、この表示に従ってください。

■使用上のご注意

警告

異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く



そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

- ▶ 煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする。
- ▶ 内部に異物や液体（金属や水など）が入った。
- ▶ 落としたり、強い衝撃をあたえた。
- ▶ 本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある。

電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

子どもやペットに注意する



誤った取扱いは、火災、感電、けが、やけど、視力障害などの原因となります。また、電池やその他の小さな部品は、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。お子様やペットが届かないところに設置、保管してください。万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

異物や液体を入れない



火災や感電の原因となります。また可燃性の気体や液体が内部に入ると、引火して爆発を引き起こし、火災やけがの原因となります。
ぬれたものや小さなもの、気体や液体が入っているものを本機の近くに置かないでください。洗剤や殺虫剤などのスプレー（エアゾール製品）を本機に向けて、または本機の周辺で使用しないでください。万一、異物や液体が入ってしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

ぬらさない



水ぬれ禁止

本機や電源コードなどがぬれると火災や感電の原因となります。
水をかけたり、風呂場やシャワー室など水や雨、水滴のかかる場所に置いたりしないでください。

不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない、衝撃をあたえない



据え付け、取り付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。工事が不完全な場合、死亡、けが等の原因になります。

ぶつけたり落としたりするとけがや破損、故障の原因となります。また、そのままご使用になると火災や感電の原因となります。万一、衝撃をあたえてしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

- ▶ 移動するときは、コード、ケーブルを外してください。
- ▶ 設置器具は、本書の指定品をご使用になり、天吊り（天井設置）などの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
- ▶ アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。
- ▶ 底面以外を下にして置かないでください。

油を使用する場所に置かない



油煙などにより油が付着し、故障、火災や感電の原因となります。また、プラスチックの劣化により、天井や高所設置からの落下など、けがの原因となります。

- ▶ 調理台のある場所や機械油などを使用する場所に設置しないでください。

高温に注意する



高温注意

本機の使用時、排気口や排気口から出る空気は高温になります。周辺に可燃物やスプレー等があると引火や破裂を引き起こし、火災やけがの原因となります。また高温部に触れたり近づいたりするとやけどの原因となることがあります。

- ▶ 本機の上や周辺に、可燃物やスプレー、熱の伝わり易いものや熱に弱いものを置かないでください。
- ▶ 使用中や使用後しばらく、排気口に触れたり近づいたりしないでください。

(次ページにつづく)

使用上のご注意 (つづき)

⚠ 警告

分解しない、改造しない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。

- ▶ 本機のキャビネットは、開けないでください。
- ▶ 内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。

レンズをのぞかない。レンズをふさいだり手などを近づけたりしない。



本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。
レンズの前に物を置くと高温で発煙・発火の原因となり、手などを近づけるとやけどの原因となります。

電源コードや電源アダプター、信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する



仕様の合わない電源コードや信号ケーブルを使用すると、火災や感電、故障や電波妨害の原因となります。本機に同梱されているものは、傷や破損が無いことをご確認のうえ、必ず同梱品をご使用ください。同梱品以外の接続ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ適切なものをご使用ください。本機に付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。

電源プラグは付着物をふき取って使用する



本機の AC (電源端子) や電源コード、電源アダプターのプラグ (刃) 部分やその周辺に、ほこりや金属類などが付着していると、火災や感電の原因となります。

電源プラグは、指定 (本体に表示) の電源電圧のコンセントに、根元まで確実に差し込んで使用する



電源の接続が不完全の場合、感電の原因となったり、発熱して火災の原因となります。また、指定の電圧以外でのご使用は、火災や感電の原因となります。

- 必ず、交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。
- ▶ ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。
- ▶ たこ足配線はしないでください。

アース線を必ず接続する



アース線を必ず接続せよ

アース線を接地しないと、火災や感電、電波妨害の原因となります。本書の「電源に接続する」(42 ページ) に従って、正しく接続してください。

- ▶ 2つ穴コンセントを使用する場合は、付属の電源アダプターをご使用になり、必ずアース線を接続してください。
- ▶ アース線を接続するときは、電源アダプターをコンセントに差し込む前に、アース線をアース端子に接続してください。
- ▶ アース線を外すときは、先に電源アダプターをコンセントから抜いてから外してください。

アース線をコンセントに差し込まない



アース線をコンセントに差し込むと、火災や感電の原因となります。アース線はアース端子以外には接続しないでください。

電源コード、信号ケーブルやコネクタを傷つけない



損傷のある電源コードや電源アダプター、信号ケーブルなどを使用すると、火災や感電の原因となります。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。

(次ページにつづく)

警告、注意、安全に関する説明

使用上のご注意 (つづき)

警告

ぬれた手で電源コードや電源アダプターを取り扱わない



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

お手入れするときは電源プラグを抜く



電源プラグ
を
コンセント
から抜け

電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。必ず本書の「点検とお手入れ」をお読みにになり、正しくお手入れしてください。

電池の取扱いに注意する



破裂注意

電池の取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいのでお子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

- ▶ 交換するときは指定のタイプの新しい(未使用)電池を使用してください。
- ▶ 火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
- ▶ 子どもやペットの手足が届かないところに保管してください。
- ▶ 廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則(条例など)に従ってください。

重い物を載せたりぶら下げたりしない



不安定になって落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。

- ▶ 本書に指定のある場合や所定の別売品(販売店にお尋ねください)以外は、本機に取り付けたりぶら下げたりしないでください。

(次ページにつづく)

使用上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

高温になるところに置かない、通風孔をふさがない



高温になるところに置いたり、通風が正常に行われないと、内部温度が上がり過ぎ、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。また、熱や温風を当てるとキャビネットなどが傷む原因となることがあります。

指定された設置個所の、通風の方向に注意してください。排出口から吐き出された高温の空気が吸気口に戻らないように注意してください。冷却が適切に行われず、本機の内部構造が損傷したり、温度保護のためシャットダウンします。電源コードを抜いて、約 15 分放置してください。(本機が再び保護モードに移行しないように、忘れずに、通風孔の障害物がないことを確認してください。)

- ▶本機は、風通しの良いところに、周辺の壁や物から離して設置してください。
- ▶熱源の近くや直射日光、温風が当たるところには置かないでください。
- ▶本機や付属品を電子レンジに入れないでください。
- ▶通風孔をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
- ▶布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。
- ▶本機の理想的な動作温度は、0°C ~ 40°C です。
- ▶本機の理想的な保管温度は、- 10°C ~ 60°C です。

湿気、ほこりの多いところ、煙の当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない



内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。湿気やほこりの多いところには置かないでください。また超音波式加湿器などで、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、故障や映像不良の原因となることがあります。

- ▶本機や付属品を、屋外に置かないでください。

磁気を発生するものを近づけない



本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

- ▶付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

使用しないときは電源プラグを抜く



電源プラグ
を
コンセント
から抜け

本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを接続したまま放置すると、火災などの原因となることがあります。

落雷のおそれがあるときは使用しない



落雷があった時に本機を使用していると、火災や感電の原因となることがあります。落雷のおそれがあるときは、使用を中止し、電源プラグを抜いてください

LAN 端子への接続は、事前にネットワーク管理者に相談する



ネットワークによっては過度の電圧をもつものがあります。過度の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、LAN 端子に接続しないでください。

- ▶公衆回線に接続する場合は、必ず電気通信事業法認定のルータ等に接続してください。

点灯中に映像を消すには、指定の方法を使用する



点灯中に映像を消したい場合には、ブランク機能を使用してください。レンズの前に物を置いたり、レンズに紙や布などを貼ったりすると、レンズを損傷するおそれがありますので、おやめください。

(次ページにつづく)

使用上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

年に一度は内部のお手入れを販売店に依頼する



内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。

年に一度は、内部の点検と掃除を販売店にご依頼ください。お客様による内部のお手入れは危険です。絶対におやめください。

お守りください

長時間見るときは、ときどき目を休めてください

長時間連続して画面を見ると目が疲れます。ときどき画面から離れて目を休めてください。

レンズに何かをはり付けたり、密着させて置いたりしないでください。

高温となってレンズ面が融け、映像不良の原因となることがあります。

レンズを傷つけないでください

破損や故障の原因となったり、映像不良の原因となることがあります。

- ▶ レンズに硬いものを当てたり、こすったりしないでください。
- ▶ お手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）などを使ってください。

レンズに直接手を触れないでください

レンズがくもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となることがあります。

リモコンに衝撃をあたえないでください。破損や故障の原因となることがあります。

- ▶ リモコンを投げたり落としたりしないでください。
- ▶ 上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。

リモコンをぬらさないでください。故障したり、電池が液漏れする原因となることがあります。

- ▶ 水をかけたり、ぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。

リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください

▶ リモコン送信の障害となって、リモコンが利かないことがあります。

キャビネットやリモコンの取扱い、お手入れについて

取扱いやお手入れの方法を誤ると、表面が変質したり塗装がはがれることがあります。お手入れは正しい方法で行ってください。

- ▶ 揮発性の薬品や、溶剤、研磨剤、およびスプレーなどは使用しないでください。
- ▶ ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。
- ▶ 化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

プロジェクターを保護してください

本機を高所に配置する場合、確実に固定し、落下やけがを防止してください。本機のレンズへの衝撃、摩擦による損傷や、その他の損傷が起らないように注意してください。本機を保管する必要がある場合、または長期間使用しない場合、必ずレンズカバーを閉じるか、本機をほこりよけカバーで覆ってください。

梱包材は大切に保管してください

修理や引越などの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

(次ページにつづく)

使用上のご注意 (つづき)

お知らせ

●本機の特長について

本機は周囲温度などの影響で、投写位置がずれたり、画面がゆがんだり、フォーカスが変動することがあります。

●寿命部品について

光学ユニット(DLP®チップ等を含む)、および冷却ファンは寿命部品です。長時間お使いになると修理交換が必要になります。

▶毎日長時間ご使用になる場合は、3年未満でも寿命部品の交換が必要になることがあります。

●映像特性について

本機はDLP®チップを使用した投写装置です。投写面(スクリーンや壁面など)の特性により、映像の色あいやコントラストが、テレビやコンピュータのモニタとは異なることがあります。故障ではありません。

●輝点、黒点について

本機はDLP®チップを使用した投写装置です。画面上に輝点(光ったままの点)や黒点(光らない点)が見られることがあります。DLP®チップ特有の現象であり、故障ではありません。

●結露にご注意ください

本機を、低温の室外から高温の室内に持ち込んだ場合など、本機の内部の投写レンズやミラーに結露が生じ、映像がぼやけたり、見えなくなったりすることがありますが、故障ではありません。

本機が周囲の温度に慣れるに従って露が消え、映像は正常にもどります。

●冷却ファンの騒音について

本機は、使用環境に合わせて冷却ファンの回転速度を制御する機能を備えています。周囲の温度が高いと冷却ファンの回転速度も速くなり、騒音も大きくなります。

●高地での本機の動作設定

本機を高地で操作する場合、光学システムの寿命が縮む場合があるため、必ず手動でファン速度を「高速」に設定してください。高地とは高さが1,520メートル以上の場所のことです。

ファン速度(□66ページ)を参照してください。

●セキュリティー・スロット／バーについて

本機のセキュリティー・スロットおよびセキュリティー・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

●ノートパソコンとの接続について

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンのRGB外部映像出力を有効(LCDとCRTの同時表示またはCRTの設定)にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコンの説明書をご覧ください。

●不要輻射について

この製品はクラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

●DLP®チップについて

DLP®チップは、精密部品です。まれに、ピクセルが点灯しない、または点灯したままの場合がありますが、故障ではありません。レンズに直接高出力レーザーを当てると、DLP®チップが故障することがあります。

●この製品(付属品を含む)は日本国内でのみ、ご使用になれます。

日本国外ではご使用にならないください。また、この製品の保証書は日本国内でのみ、有効です。

This product (including the accessories) is designed for use in Japan only, and cannot be used in any other countries. The warranty appended to this product is void out of Japan.

●電源高調波について

JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第3-2部: 限度値 - 高調波電流発生限度値 (1相当りの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

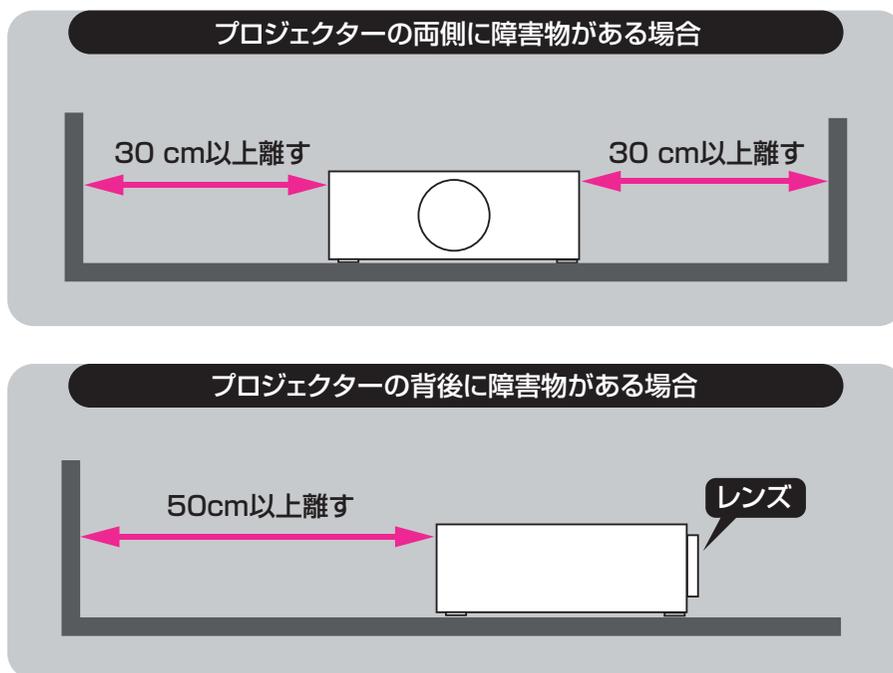
●電磁干渉について

本製品はクラスAに属する製品です。家庭環境での本製品の使用は無線干渉を引き起こす可能性があり、その場合は使用者の責任において適切な対策を施すことが必要となります。

本製品を住宅地域でご使用になると、電磁干渉を起こす可能性があります。ラジオ/テレビ放送受信への干渉防止のため、電磁放射を低下させる特段の対策が施されている場合を除き、住宅地域でのご使用は避けてください。

警告、注意、安全に関する説明

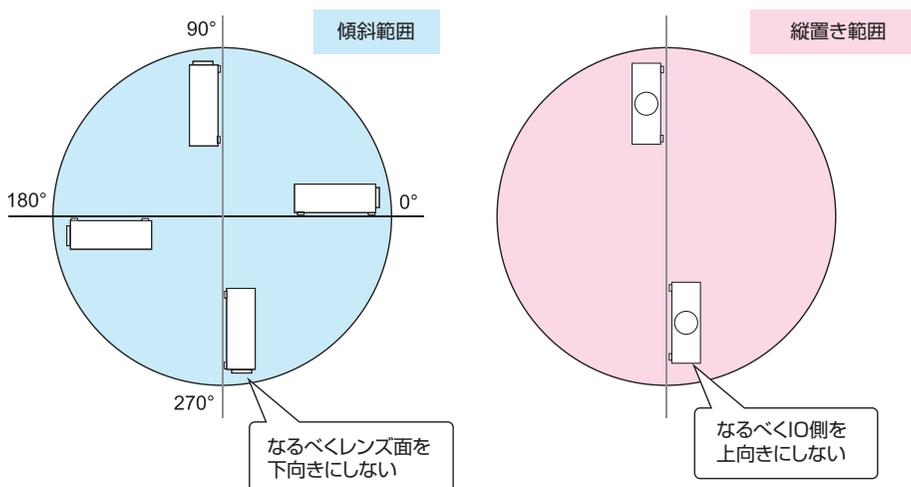
説明：プロジェクター内部の温度は冷却ファンによって自動的に調節されます。したがって、冷却ファンの回転速度(動作音)が変化すること自体はプロジェクターの正常動作です。



配置の注意

本機は任意の方向(縦置きを含む)に設置できます。ただし、以下の状況では、光学部品の寿命が短くなります。

1. レンズを下に向けてプロジェクターを設置した場合
2. 縦置き時に、IN/OUT 接続側を上に向けてプロジェクターを設置した場合



3D に関する注意

- 3D映像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にしてください。
- お子様は3Dメガネで視聴する場合は、必ず保護者が同伴してください。お子様が視聴する場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなる場合がありますので、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。
- 3Dコンテンツを視聴する場合、必ずスクリーンの前面から十分に距離をおいて視聴してください。スクリーンの高さの3倍以上、離れることを推奨します。
- 3Dメガネを上下逆に装着して視聴しないでください。右目(眼)と左眼(眼)に映像が正しく表示されず視聴不良や不快感を感じる場合があります。

以下の状況に 3D コンテンツは適しません。現在の症状が悪化する場合があります。

- 感光性てんかんの既往症のある人
- 心臓疾患のある人
- 妊娠中の女性
- 重病の人
- てんかんの発作を起こしたことがある人

以下の状態を引き起こす場合、3D の視聴を止めるようにしてください。

- 気分が悪くなる、疲労感、不眠、疲労困憊、酩酊状態になる場合。
- 3D 映像が二重に見える、または不鮮明に見える。
- 回転、横揺れ、揺動する 3D コンテンツを視聴中、揺れている気分になり、「船酔い」状態に陥る場合があります。
- 3Dコンテンツを長く視聴する場合は、必ず定期的に休憩し、目の疲れを休めてください。

警告、注意、安全に関する説明

本機は、IEC60825-1 に適合したクラス 1 レーザー製品です。

プロジェクターの光源を直接のぞかない

プロジェクターの電源を入れる場合、光の投写により目に影響しないことを確認してください。

光が目にあたらないように常に注意してください。

他の光源と同様に、直接光源をのぞきこまないでください(RG2 IEC 62471-5:2015)。



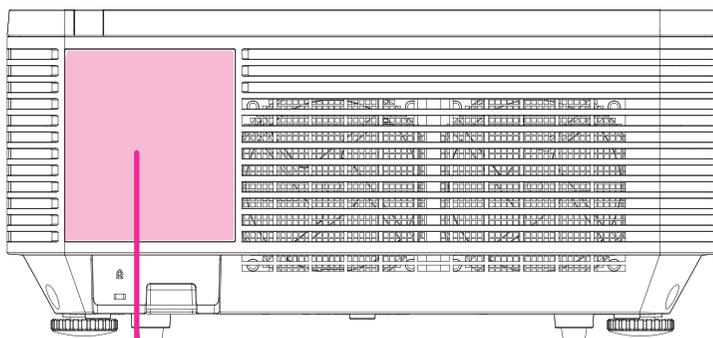
本機の点灯中に映像を消すには、指定の方法を使用する

本機が点灯中に映像を消したい場合には、ブランク機能を使用してください。レンズの前に物を置いたり、レンズに紙や布などを貼ったりすると、高温となったり、レンズの損傷、発煙、発火の原因となることがあります。

製品ラベル

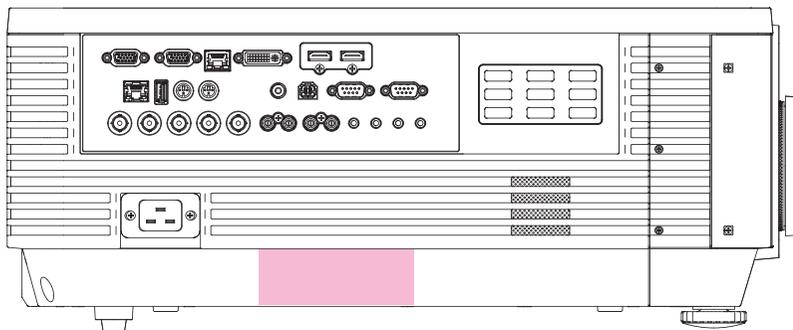
下記の図面に、ラベルの位置が示されています。

1 定格ラベル



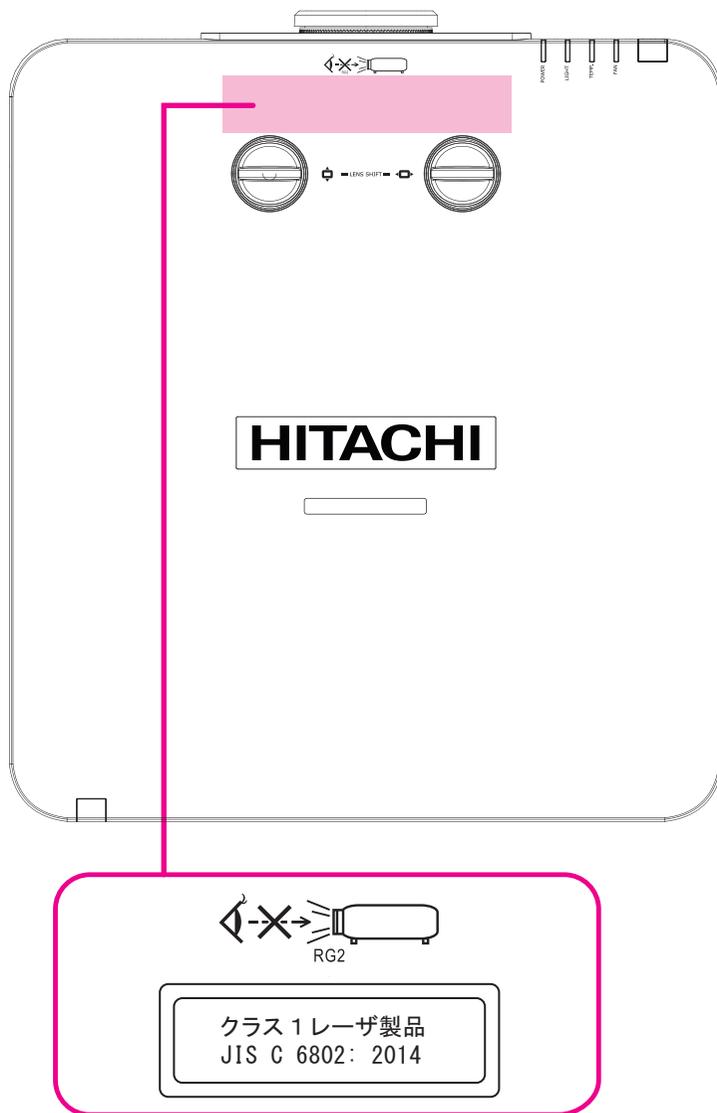
HITACHI		使用上のご注意 ●ご使用前に取扱説明書に記載の「正しくお使いいただくために」及び取扱い方法をよくお読みのうえ、正しくお使いください。 ●お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜いてください。 ●本機器を不安定な場所、温度の高い場所や湿気・ホコリの多い場所に置かないでください。 前面、後面、側面の通風孔をふさがないでください。 内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
品名	DLP®プロジェクター	
形名	LP-WU6600J	
日立マクセル株式会社		
定格電圧	100V～	
定格電流	7.0A (700W)	
定格周波数	50/60Hz	
日立マクセル株式会社		
警告		
高圧注意 感電のおそれあり、キャビネットを開けるな。		
通風孔をふさがない 内部に熱がこもり、やけどや火災の原因になる。		
connected		
		UL Japan DLT
		中国製 326xxxxxxx XXXX XXXX

2 シリアルNo.



警告、注意、安全に関する説明

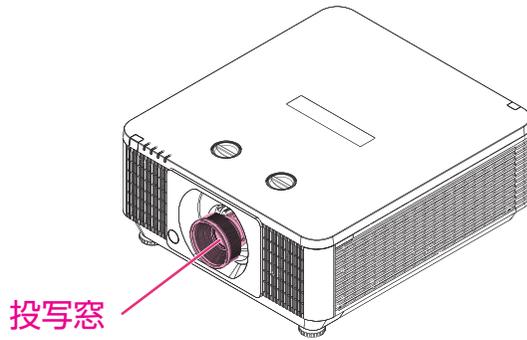
③ 投写光に対する危険性警告



本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

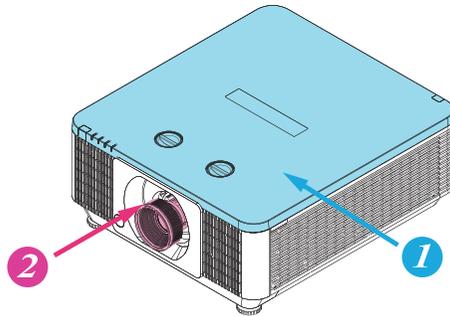
投写窓の位置

下図に投写窓の位置を示します。目に直接強い光が当たらないように注意してください。



安全スイッチ

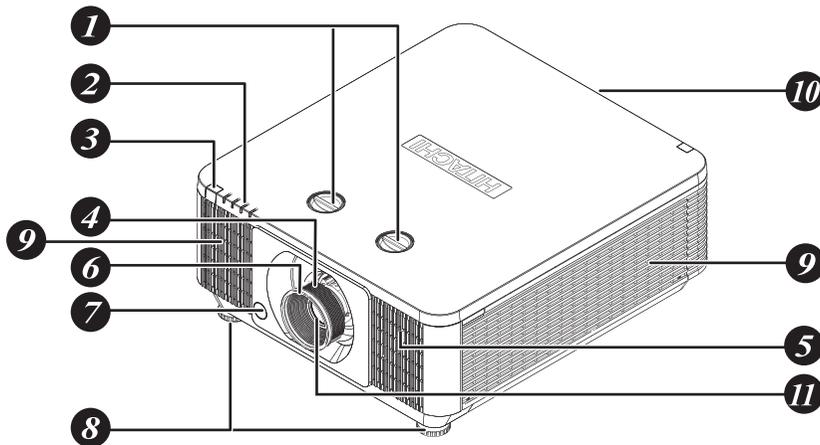
本機は、部品を取り外した状態でレーザー光が漏れるのを防ぐために、安全スイッチを装備しています。



1. 上面カバーを開くとシステムを停止させます。
2. レンズを取り外した場合、または正しくレンズを取り付けていない場合、システムを停止させます。

プロジェクターの各部の名称と働き

正面図



1. レンズシフト

投写映像の位置調節

2. LEDインジケータ

3. リモコン受光部

4. ズーム

投写される映像をズームイン/アウトします。

5. スピーカー

6. フォーカス

投写される映像のフォーカスを調節します。

7. レンズリリースボタン

8. アジャスタ脚

プロジェクターの高さと傾きを、アジャスタ脚で調節します。

9. 吸気口

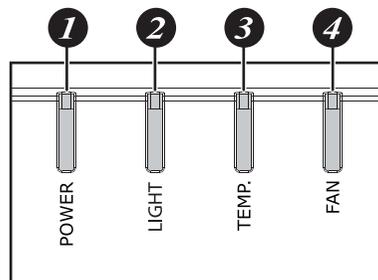
内蔵冷却ファンにより、吸気口からプロジェクター内に冷風が吸入されます。

10. 排気口

プロジェクター内部で発生した熱は排気口を通して外部へ放出されます。排気口近傍に換気を妨げる物体がないことを確認してください。

11. レンズ

LEDインジケータ



1. POWER

電源の状態を表示します。

このインジケータは、プロジェクターがスタンバイ状態で点灯します。プロジェクターがON状態になると、インジケータが5秒に1回点灯します。

2. LIGHT

このインジケータは光源とシステムのエラー状態を示します。

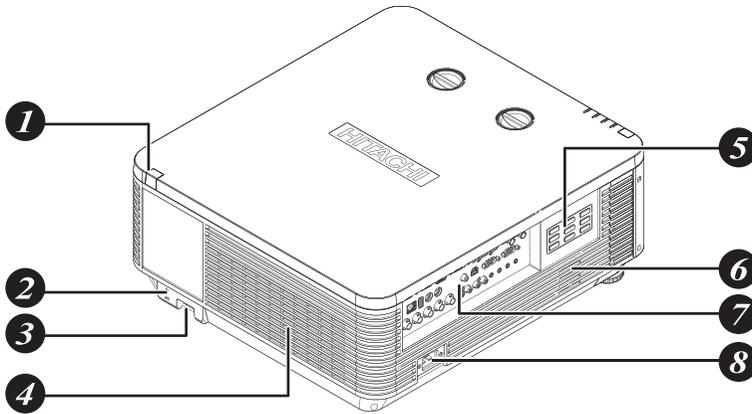
3. TEMP.

温度に関連したエラーメッセージを表示します。

4. FAN

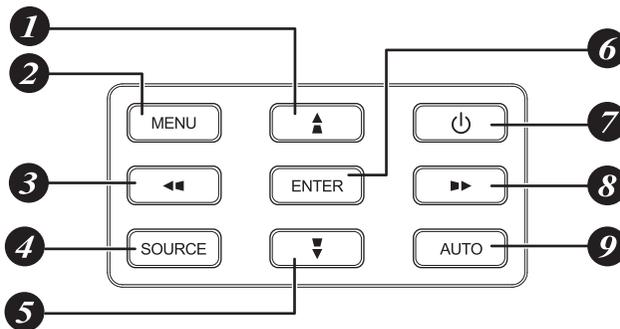
ファンのエラー状態を表示します。

背面図



- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. リモコン受光部 | 5. 操作ボタン |
| 2. Kensington® ロック | 6. スピーカー |
| 3. セキュリティー・バー | 7. I/Oポート |
| 4. 排気口 | 8. 電源端子 |

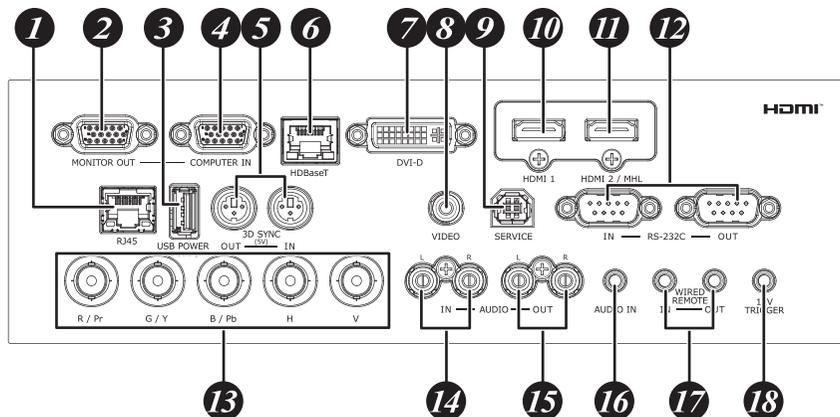
操作ボタン



- | | |
|---|---|
| <p>1. ▲ / ▴</p> <p>このボタンを使用してメニューの選択、設定変更を行います。
キーストーンは、他のメニューが表示されていない場合に調節可能です。</p> | <p>5. ▼ / ▾</p> <p>このボタンを使用してメニューの選択、設定変更を行います。
キーストーンは、他のメニューが表示されていない場合に調節可能です。</p> |
| <p>2. MENU</p> <p>メニューの表示/非表示を選択します。</p> | <p>6. ENTER</p> <p>メニューで項目を選択、または、設定変更を確定します。</p> |
| <p>3. ◀ / ◻</p> <p>このボタンを使用してメニューの選択、設定変更を行います。
キーストーンは、他のメニューが表示されていない場合に調節可能です。</p> | <p>7. ⏻</p> <p>プロジェクターの電源ON/OFF</p> |
| <p>4. SOURCE</p> <p>入力ソースを選択します。</p> | <p>8. ▶ / ▶</p> <p>このボタンを使用してメニューの選択、設定変更を行います。
キーストーンは、他のメニューが表示されていない場合に調節可能です。</p> |
| | <p>9. AUTO</p> <p>信号の同期を自動調節します。</p> |

プロジェクターの各部の名称と働き

I/Oポート(入力 / 出力)



1. RJ45

イーサネットからのLANケーブルを接続します。

2. MONITOR OUT

(D-sub 15-pin シュリンクジャック)
モニターへ接続します。
COMPUTER INのみループスルー

3. USB POWER(USB Aタイプジャック)

USB機器へ接続します。
(プロジェクターの電源がONのときに
5V/1.5A出力可能)

4. COMPUTER IN

(D-sub 15-pin シュリンクジャック)
PCへ接続します(RGB、コンポーネント
ビデオ信号入力に対応)

5. 3D SYNC (5V) (VESA 3-pin)

IN : PC、3Dプレイヤー、シンクロナイ
ザーへ接続します。
OUT: 3D IRメガネ受信ユニットへ接続します。

6. HDBaseT(RJ-45ジャック)

LANケーブルを使用してHDBaseTソース
へ接続します。

7. DVI-D

DVI-Dソースに接続します。

8. VIDEO(RCAジャック)

コンポジットビデオ装置へ接続します。

9. SERVICE

保守作業時のデータ通信用に使用できません。

10. HDMI 1

(デジタルオーディオ/ビデオコネクタ)
HDMIまたはDVIソースへ接続します。

11. HDMI 2 / MHL

(デジタルオーディオ/ビデオコネクタ)
HDMIまたはMHL互換装置へ接続します。

12. RS-232C

(9-pin D-subソケット)(クロスケーブル)
IN : PCまたはシステムコントロール
装置へ接続します。
OUT: 別のプロジェクター(同一モデル)
へ接続します。

13. BNC

RGB (R/B/G/H/V) のBNC入力、また
はコンポーネント(YPbPr)ソースへ接
続します。

14. AUDIO IN (L/R) (RCAジャック)

オーディオソースへ接続します。
(VIDEOソース選択時使用可能)

15. AUDIO OUT (L/R) (RCAジャック)

オーディオアンプへ接続します。

16. AUDIO IN (3.5 mm、ミニジャック)

オーディオソース入力へ接続します。
(COMPUTER IN、BNC、DVI-Dソ
ース選択時使用可能)

17. WIRED REMOTE

(3.5 mm、ミニジャック)

IN : アクセサリケーブルを使用して有
線リモートコントロールに使用可
能です。

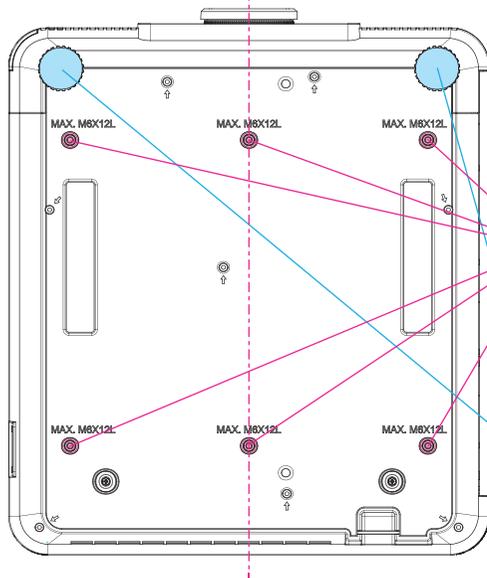
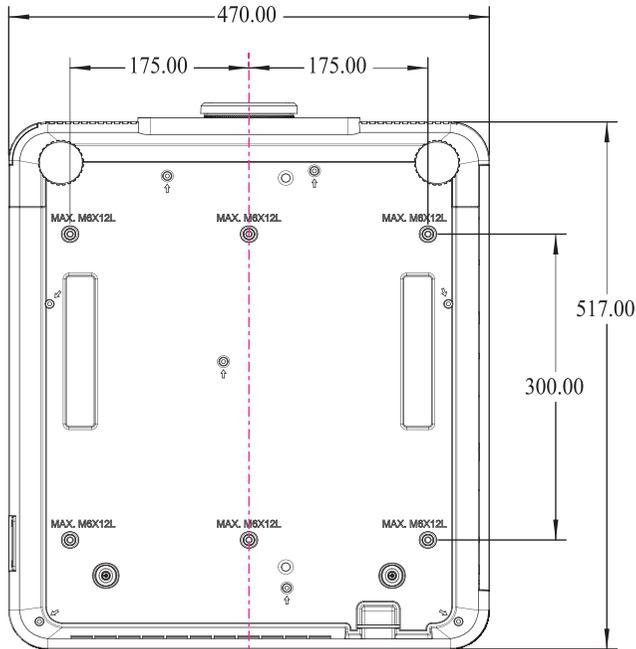
OUT: 別のプロジェクター(同一モデル)
の「WIRED REMOTE IN」(シリア
ル制御用)に接続します。

18. 12V TRIGGER

(3.5 mm、ミニジャック)

リレーシステムのコントロール用に12V
(+/- 1.5V) 350 mAを出力します。

底面図



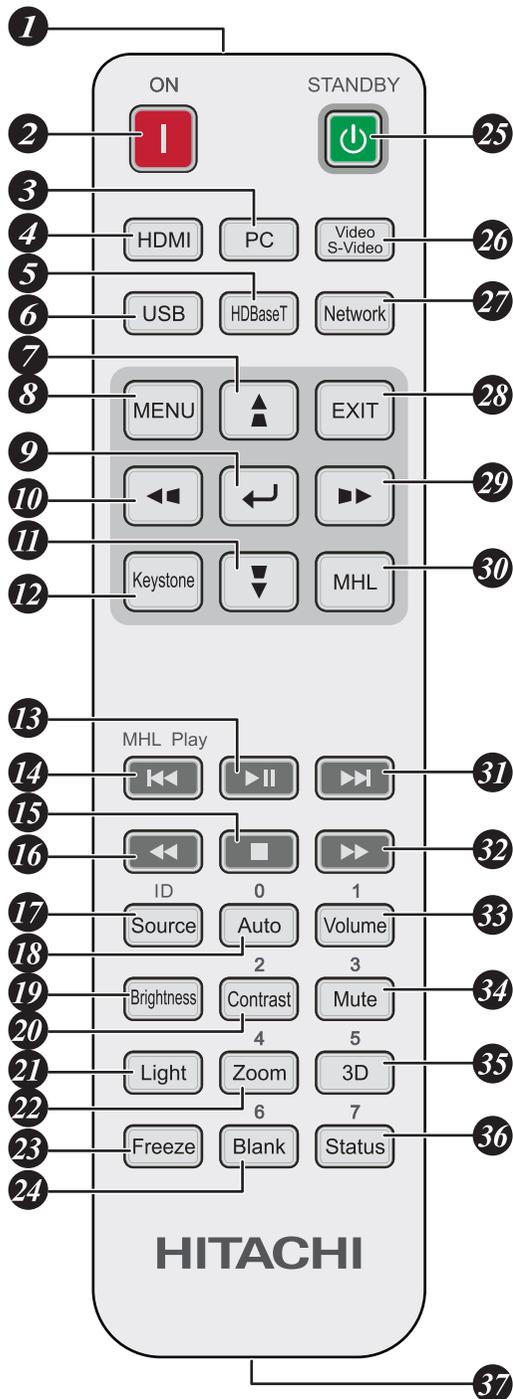
取り付けブラケットのネジ穴

プロジェクターを専用のブラケットに取り付ける際に、6個のM6x16ネジをこのネジ穴にさしこみます。ネジ穴の位置寸法は上図に示しています。

アジャスタ脚

プロジェクターの高さと傾きを、アジャスタ脚で調節します。

リモコン



1. リモコン信号送信口

2. ON

本機を起動する場合に使用します。

3. PC

表示するソースをVGA (COMPTER IN) / BNC (R/B/G/H/V)へ切り替えます。(トグル)

4. HDMI

表示するソースをHDMI 1/HDMI 2/DVIへ切り替えます。(トグル)

5. HDBaseT

表示するソースをHDBaseTへ切り替えます。

6. USB

本プロジェクターでは使用できません。

7. ▲ / ▼

このボタンを使用してメニューの選択、設定変更を行います。
キーストーンは、他のメニューが表示されていない場合に調節可能です。

8. MENU

メニューの表示/非表示を選択します。

9. ↵(ENTER)

メニューで項目を選択、または、設定変更を確定します。

10. ◀ / ▶

このボタンを使用してメニューの選択、設定変更を行います。
キーストーンは、他のメニューが表示されていない場合に調節可能です。

11. ▼ / ▲

このボタンを使用してメニューの選択、設定変更を行います。
キーストーンは、他のメニューが表示されていない場合に調節可能です。

12. Keystone

キーストーン調節メニューを表示します。

13. ▶||

MHLビデオ/音楽を再生/一時停止します。

14. ◀◀

MHLプログラムリストの1つ前の項目を再生します。

15. ■

MHLビデオ/音楽を停止します。

16. ◀◀

MHLを設定された長さで逆送りします。

17. Source/ID

入力ソースを選択します。
リモコンID設定に使用するときには、IDボタンと番号キーを同時に3秒間押します。

18. Auto / 0

映像の再同期に使用します。映像表示が安定しない、または、表示が一部劣化している場合に、このボタンを押すとプロジェクターが自動的に映像表示の位相、タイミング、画面サイズなどを調節します。リモコンIDを設定するときは、リセットしてID無効(初期設定)にできます。

19. Brightness

明るさ設定バーを表示します。

20. Contrast / 2

コントラスト設定バーを表示します。リモコンIDを設定するときは、番号2に設定できます。

21. Light

光源電力調節メニューを表示します。

22. Zoom / 4

ズーム設定バーを表示します。リモコンIDを設定するときは、番号4に設定できます。

23. Freeze

スクリーンの映像を一時停止、または一時停止解除します。

24. Blank / 6

映像を非表示にします。リモコンIDを設定するときは、番号6に設定できます。

25. STANDBY

本機を停止する場合に使用します。

26. Video / S-Video

表示するソースをVIDEOへ切り替えます。

27. Network

ネットワークメニューを表示します。

28. EXIT

メニューを終了、または、1つ前のメニューレベルに戻ります。

29. ◀ / ▶

このボタンを使用してメニューの選択、設定変更を行います。キーストーンは、他のメニューが表示されていない場合に調節可能です。

30. MHL

プロジェクタをプロジェクターモードからMHLモードに切り替えます。

31. ▶▶

MHL機器の次のチャプターを再生します。

32. ▶▶

MHL機器で早送りをします。

33. Volume / 1

ボリューム設定バーを表示します。リモコンIDを設定するときは、番号1に設定できます。

34. Mute / 3

内蔵スピーカーを消音します。リモコンIDを設定するときは、番号3に設定できます。

35. 3D / 5

3D設定メニューを表示します。リモコンIDを設定するときは、番号5に設定できます。

36. Status / 7

状態メニューを表示します(このメニューが表示されるのは入力ソースが検出された場合のみです)。リモコンIDを設定するときは、番号7に設定できます。

37. ワイヤジャック

プロジェクターと有線リモートケーブルで接続します。リモコン ID 設定の補足説明:
ID ボタンと番号キーを同時に3秒間押します。
ID+0: リモコンIDをリセットして、無効(初期設定)にします。
ID+1: リモコンIDを「1」へ設定します。
{
ID+7: リモコンIDを「7」へ設定します。同じプロジェクターが複数台有る場所で、リモコンで個別にプロジェクタを制御するためには、リモコンのIDを1~7のいずれかに設定し、プロジェクター本体もそれに合わせたIDへ設定する必要があります。☞67 ページ「リモコン ID」を参照してください。

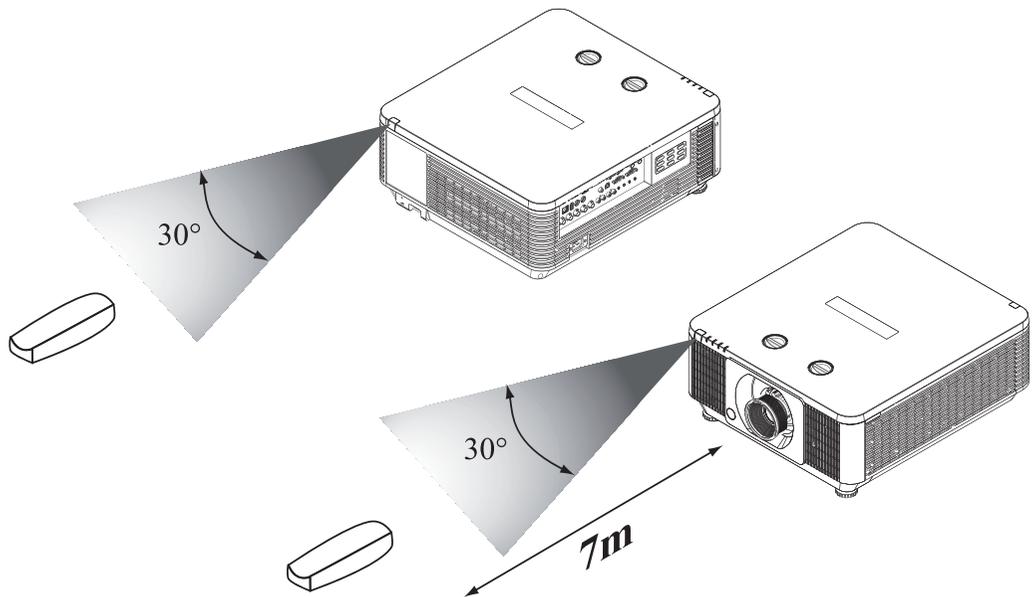
MHLモードの補足説明:

リモコンのMHLボタンを押して、プロジェクターがMHLモードにあるときは、プロジェクターの操作ボタンとリモコンは一部プロジェクタ制御用に使用できなくなります。スマートフォンなどのMHL機器からコンテンツを表示し、リモコンを使用してスマートフォンなどを制御することができ、MHLのアプリ設定メニューで、▲上、▼下、◀左、▶右は方向キーとして機能します。また、ENTERとEXIT等も機能します。

リモコン

リモコン信号の有効受光範囲

下記の図に、リモコン信号の有効受光範囲を示しています（未使用の新しい乾電池の場合）。

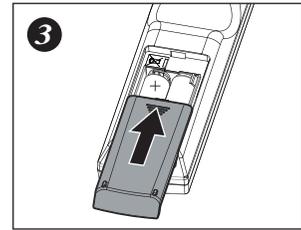
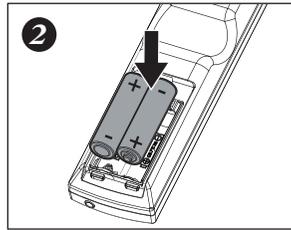
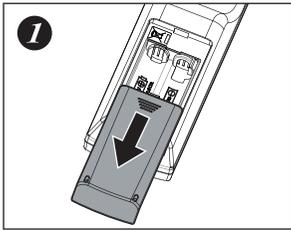


注意：リモコンは、高温または高湿の場所に置かないでください。故障や誤動作の原因となります。

注意：リモコン受光部に蛍光灯の光または強い日光が当たっている場合、リモコンが正常に動作しない場合があります。

リモコンへの電池の取り付け

1. 矢印の方向にカバーをスライドさせ、カバーを取り外します。
2. 新品の単4（AAA）電池を2本取り付けます（極性に注意）。
3. カバーを取り付けます。



注意：電池は常に慎重に取り扱い、必ず指示された向きで使用してください。誤った方法で使用すると破裂、割れ、液漏れなどの問題を起こし、その結果として火災や傷害、周囲の汚染などの原因となります。

注意：電池は子供やペットの手の届かない場所に保管してください。

注意：電池に対して再充電、電極短絡、半田付け、分解などを行わないでください。

注意：必ず極性の表示に合わせて、乾電池を取り付けてください。

注意：使用済みの乾電池と新品の乾電池を同時に使用しないでください。新しい乾電池の寿命が短くなる、あるいは液漏れの原因となる場合があります。

注意：指示にしたがって単4(AAA)電池のみを使用し、タイプの異なる電池をリモコンに取り付けしないでください。指定以外のタイプを使用すると、破裂を招く危険性があります。

注意：リモコンを長期間使用しない場合は、リモコンの電池を取り外して安全な場所に保管してください。

注意：電池の液漏れが発生した場合、液が皮膚に付着すると危険です。素手で直接液に触れないでください。新しい乾電池を取り付ける場合、ケース内の液を完全に拭き取ってください。電極が腐食している場合は、リモコンを交換してください。

注意：リモコンの利き具合が悪くなった、または、リモコンが利かなくなった場合は、電池を交換してください。

注意：使用済みの乾電池は、地域の規則（条例など）に従い指定された方法で廃棄してください。不当な廃棄は、環境汚染の原因となります。

プロジェクターの設置

オプションレンズの取り付け/取り外し

注意：プロジェクターとレンズには精密部品が含まれています。これらの損傷を防ぐため、プロジェクターとレンズを揺すったり、大きな力を加えないでください。

注意：レンズの取り外し、取り付けを行うときは、必ずその前にプロジェクターを消灯させ、冷却ファンが停止するのを待ってから電源コードを抜いてください。

注意：レンズの取り外し、取り付け作業時にレンズ表面に手を触れないでください。

注意：レンズ表面に指紋、ほこり、油分が付着しないように注意してください。レンズ表面を擦らないでください。

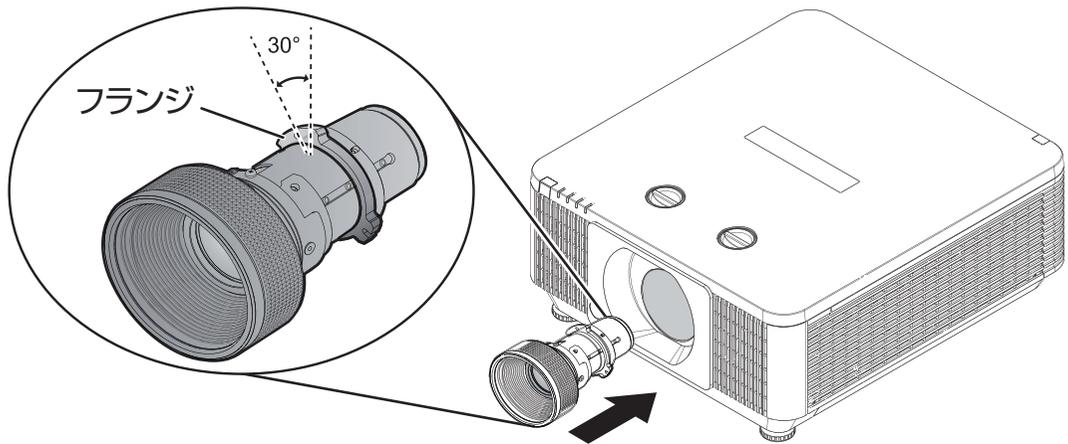
注意：擦り傷が付くのを防ぐため、水平な表面に柔らかい布を敷き、その上で作業してください。

注意：レンズを取り外して保管するときは、プロジェクター側の取り付け口にマウントキャップをかぶせてほこりや汚れが入らないようにしてください。

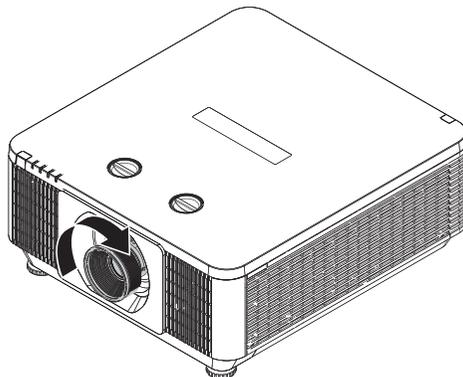
新しいレンズの取り付け

レンズの両端のキャップ、および、プロジェクター側のマウントキャップを取り外します。

1. フランジの位置合わせを行い、図に示すように、正しく11時の方角で取り付けてください。

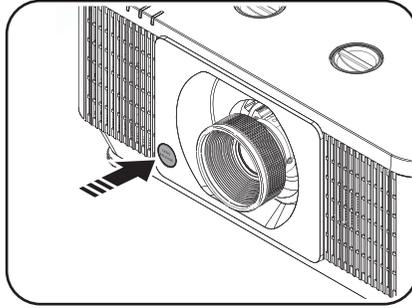


2. レンズを時計方向に、クリック感があるまで回して、所定の位置に取り付けます。

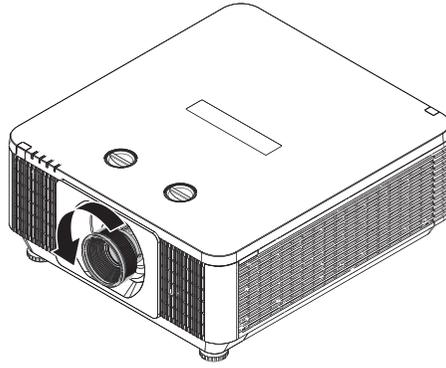


レンズをプロジェクターから取り外す

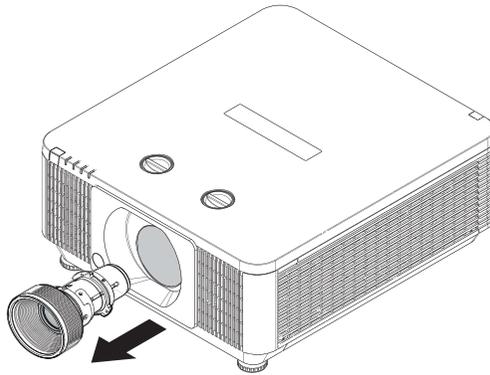
1. レンズリリースボタンを押して、ロックを解除します。



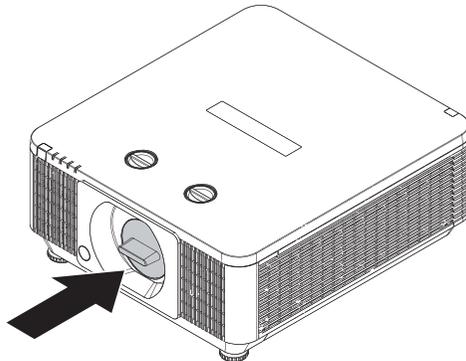
2. ボタンを押したまま、レンズを反時計方向へ回します。レンズの嵌合が外れます。



3. レンズをゆっくりと引き出します。



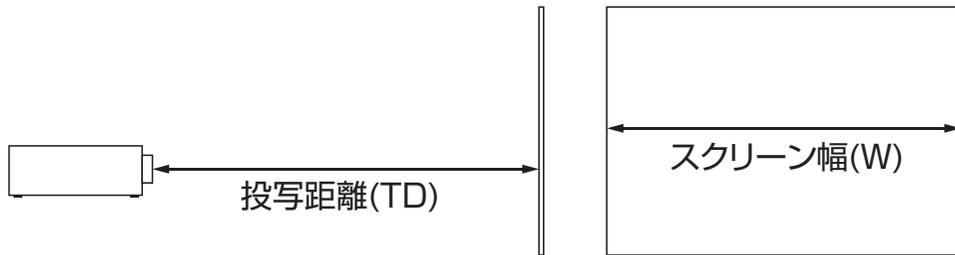
4. マウントキャップをかぶせます。



プロジェクターの設置

投写距離

投写距離 (TD) = スクリーン幅 (W) × 投写比 (TR)



本プロジェクター用の3種類の投写レンズの投写比は以下の通りです。

投写レンズ	投写比	スクリーンサイズ
SD-63 (標準レンズ)	1.54 ~ 1.93 :1	36.1 ~ 211 型(インチ)
SL-62 (短焦点レンズ)	1.1 ~ 1.3 :1	35.8 ~ 379.8 型(インチ)
ML-64 (中焦点レンズ)	1.93 ~ 2.9 :1	32.1 ~ 481 型(インチ)

注意：投写レンズは別売のオプション品となっています。レンズをご購入の際は、お客様の設置環境（スクリーンサイズ、投写距離等）をご連絡のうえ、プロジェクターをお買い上げいただいた販売店へ最適なレンズタイプをお問い合わせください。

設置モード

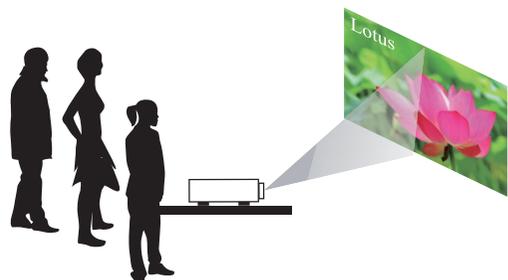
- プロジェクターは温度が0℃から40℃までの環境に設置してください。本機は、熱源や空調の通気孔から遠ざけてください。
注意：設置環境の温度は標高にも左右されます。☎66 ページと ☎81 ページを参照してください。
- 本機は、モーターや変圧器など、電磁エネルギーを放出する機器から遠ざけてください。電磁エネルギーを放出する機器として、スライドショーシステム、スピーカー、パワーアンプ、エレベーターなどがあります。
- プロジェクターを天井から吊り下げて設置したい場合は、取り付け部材の安全性を十分に確認してから使用してください。詳細は、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。

設置状態

ノーマル(机上)

長所：設置が簡単、移動や調節が簡単、また操作が簡単。

短所：場所を占有し、着座スペースが制限される。

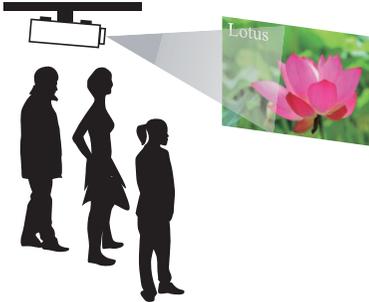


天吊り

☞47ページ「天吊り」を参照してください。

長所：床面を占有しない。また、プロジェクターの存在に注意を引きにくい。誰かが誤ってプロジェクターを動かしてしまう危険性がない。

短所：設置の要件と条件が厳しくなる。本機を安全にマウントするために、十分に注意しながら設置する必要がある。リモコンを使用しなければ、本機を操作しづらい。

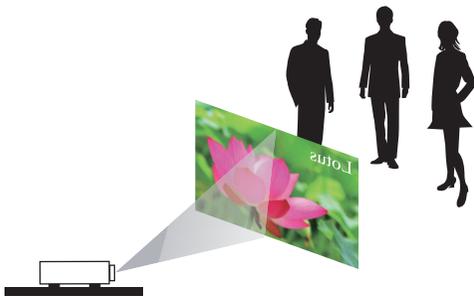


背面

☞47ページ「背面机上」を参照してください。

長所：本機が完全に視野から隠れる。このセットアップでは、プロジェクターの操作が簡単であることに加えて、周囲からの雑音も少なくなる。

短所：設置用の別の部屋が必要。設置コストが比較的高い。

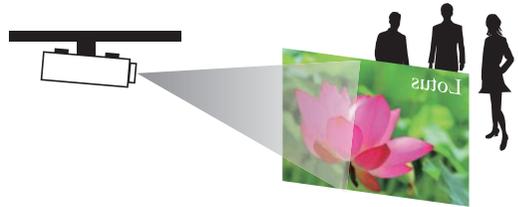


天吊り背面

☞48ページ「天吊り背面」を参照してください。

長所：本機が完全に視野から隠れる。このセットアップでは、通常は周囲の雑音が少なくなる。

短所：設置用の別の部屋が必要になる。設置の要件と条件が厳しくなる。本機を安全にマウントするために、十分に注意しながら設置する必要がある。リモコンを使用しなければ、本機を操作しづらい。



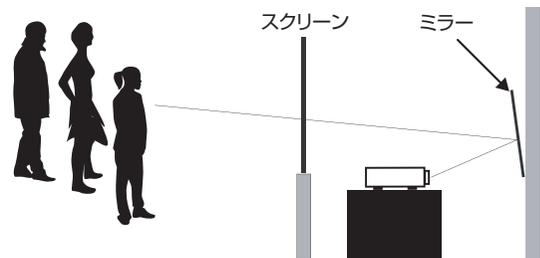
背面(ミラー使用)

本機の背面のスペースが少ない場所で、背面投射のセットアップが必要になる場合、ミラーを使って光路を反射させます。

ただし、本機とミラーの両方を正確に配置する必要があります。このような設置を検討している場合は、販売店へお問い合わせください。

長所：本機が完全に視野から隠れる。このセットアップでは、通常は周囲の雑音が少なくなる。

短所：設置用の別の部屋が必要。設置コストが比較的高い。



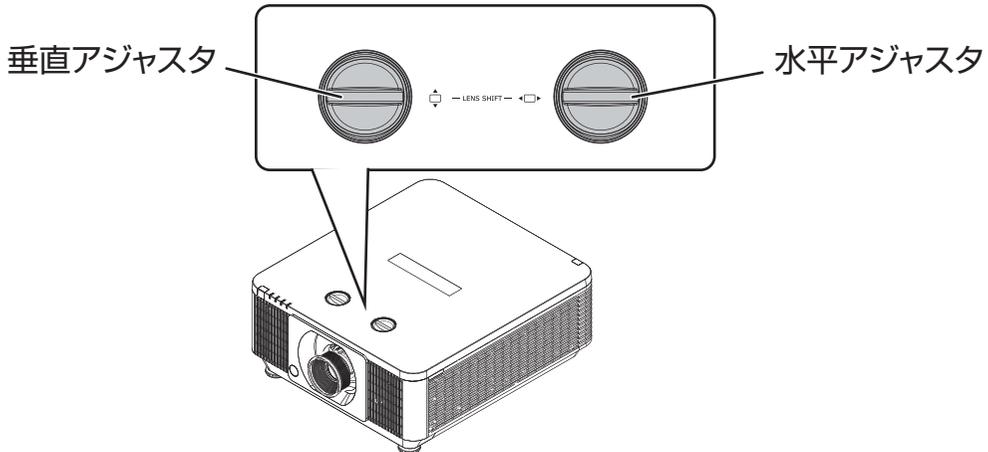
プロジェクターの設置

水平および垂直レンズシフト

アジャスタ脚で投写の傾きを調節する以外に、映像の投写位置の調節にレンズシフト機能が使用できます。

レンズシフト

1. **垂直**アジャスタを時計方向、または反時計方向へ回転させてレンズの垂直位置を調節します。(工場出荷時は上側に設定してあります。)
続いて、時計方向へ回しながら垂直レンズ位置を上方向へ調節します。
2. **水平**アジャスタを時計方向、または反時計方向へ回転させてレンズの水平位置を調節します。



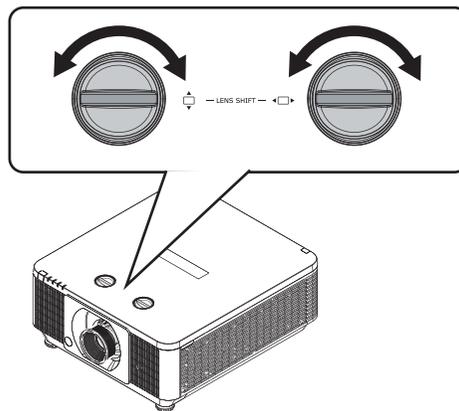
レンズシフト調節の注意

1. レンズシフト/ズーム/フォーカスの調節は、プロジェクターへの電源投入から30分経過後に行ってください。
2. 電源投入から30分を経過する前に調節を行うと、その後映像位置やフォーカスが若干変化することがあります。レンズシフト/ズーム/フォーカス調節後に室温と湿度が変化した場合、必要であれば再調節してください。
3. 映像サイズ（スクリーンの端からのマージンを含む）は、プロジェクター設置後の諸変化をあらかじめ考慮に入れて設定してください。
4. 垂直方向へのレンズシフトは、下から上方向に移動させて調節するようにしてください。上から下方向へ移動させて調節した場合、時間とともに下へずれることがあります。

レンズシフト調節の注意

1. レンズシフトを調節し、調節範囲の限界位置に達すると、レンズアジャスタの回転抵抗が増加します。それ以上はレンズアジャスタを回転させないでください。レンズアジャスタを過剰に回転させると、クラッチ機構が働いて空回転し始めます。そのときにクリック音がしますが、動作不良ではありません。レンズシフト調節を続けるには、レンズアジャスタを反対方向へ回転させてください。
2. クラッチ機構が動作した後、反対方向へアジャスタを回してもレンズシフトが動作しない場合があります。これは、ロックがかかっている状態です。この場合は、レンズシフトが動作するまで、レンズアジャスタを押し下げながら反対方向へ回転させてください。
3. クラッチ機構が動作するまでレンズシフトを調節した場合、投写映像の周辺部が暗くなったり、影が現れたりする場合があります。

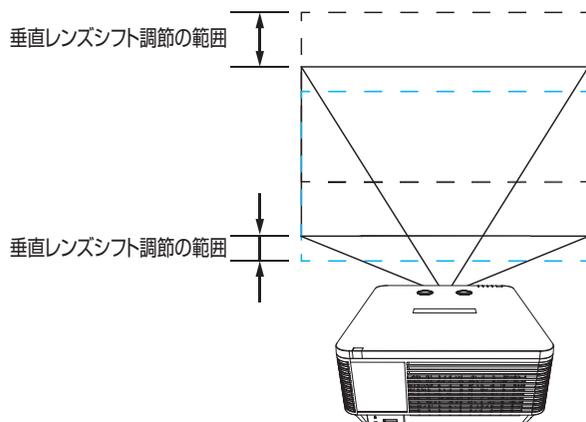
注意：レンズアジャスタはゆっくりと操作してください。急回転させるとクラッチ機構が動作する場合があります。



プロジェクターの設置

投写映像の垂直移動

レンズシフト調節による投写映像位置の垂直移動の量は、上下にそれぞれ投写画面の高さの55%、15%です。たとえば、使用するスクリーンのサイズが2.15m×1.35m(100型(インチ))であるとすると、映像を移動できる範囲は上方向へ最大74.3cmまで、下方向へ最大20.3cmまでとなります。



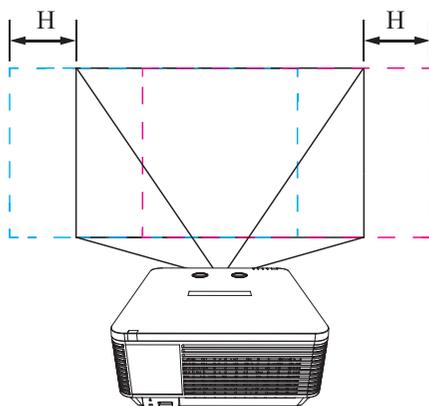
垂直レンズシフト移動量 55%、15%は、SD-63、SL-62、ML-64の各レンズ同じです。例に記載の移動できる範囲の値はSD-63レンズの場合です。

注意：移動量は、レンズの中心と投写映像の中心が同じ位置になる垂直レンズシフト調節の状態から上下に調節できる量を示します。

投写映像の水平移動

レンズシフト調節による投写映像位置の水平移動の量は、左右いずれも、投写画面の幅の5%です。たとえば、使用するスクリーンのサイズが2.15m×1.35m(100型(インチ))であるとすると、映像を移動できる範囲は左右両方とも最大10.8cmまでとなります。

H:水平レンズシフト調節の範囲



水平レンズシフト移動量 5%は、SD-63、SL-62、ML-64の各レンズ同じです。例に記載の移動できる範囲の値はSD-63レンズの場合です。

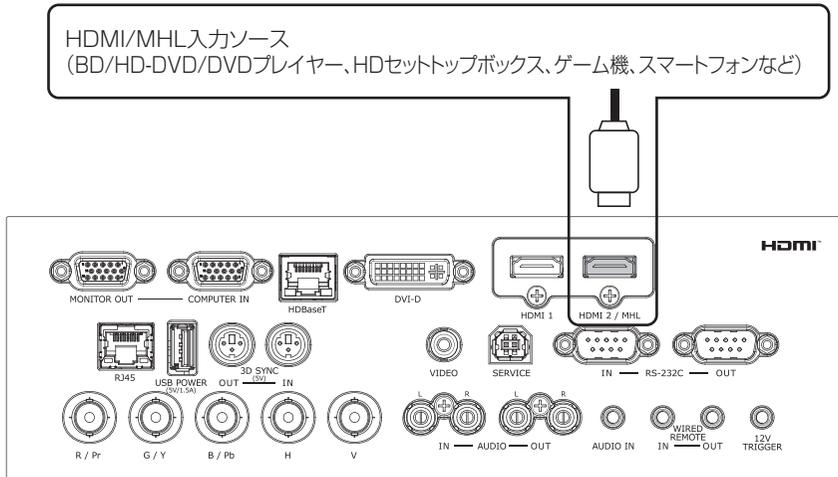
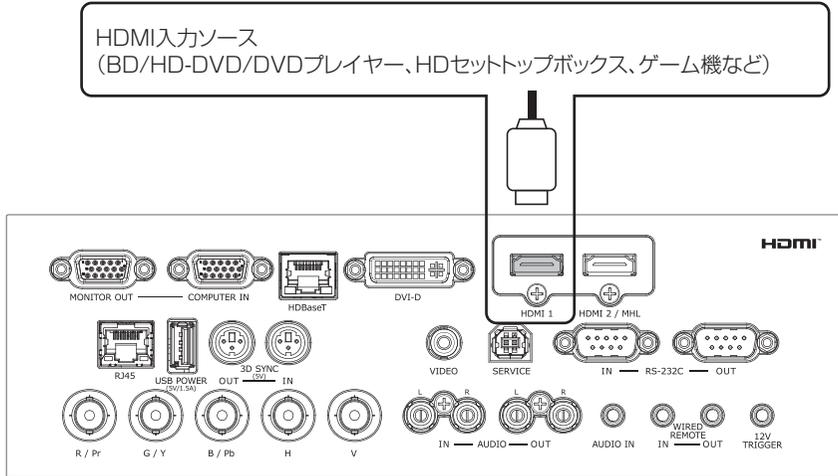
注意：移動量は、レンズの中心と投写映像の中心が同じ位置になる水平レンズシフト調節の状態から左右に調節できる量を示します。

注意：水平レンズシフト位置は仕様の範囲をこえて移動させることも可能ですが、仕様で規定された範囲内で使うようにしてください。仕様外の位置では投写映像の四隅に影が出たり、色彩の不均一性が増えたりして、プロジェクターの性能を発揮できなくなる場合があります。

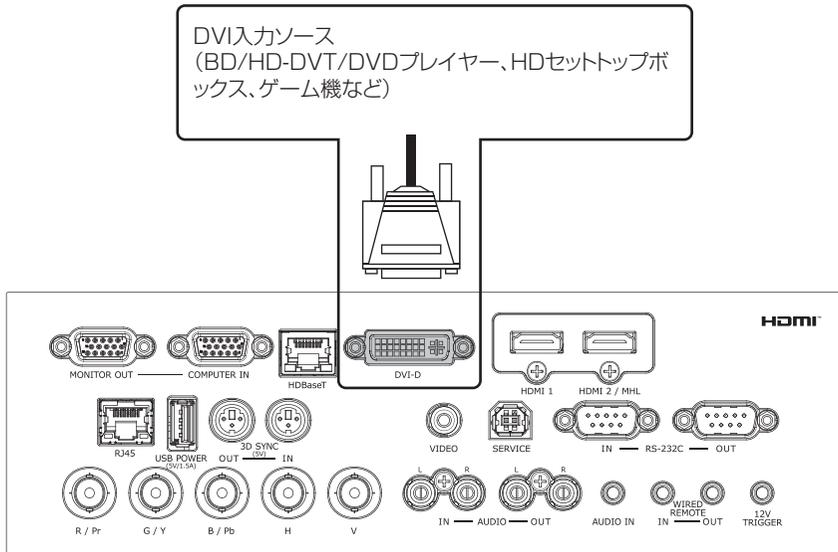
プロジェクターの接続

HDMI / MHL / DVI 接続

映像信号はアナログ方式よりデジタル方式の方が画質劣化が少なくなります。HDMI, MHLまたはDVIソースに接続することでVGA, BNCまたはComposite Videoのソースに接続するより高画質な映像投写が可能になります。

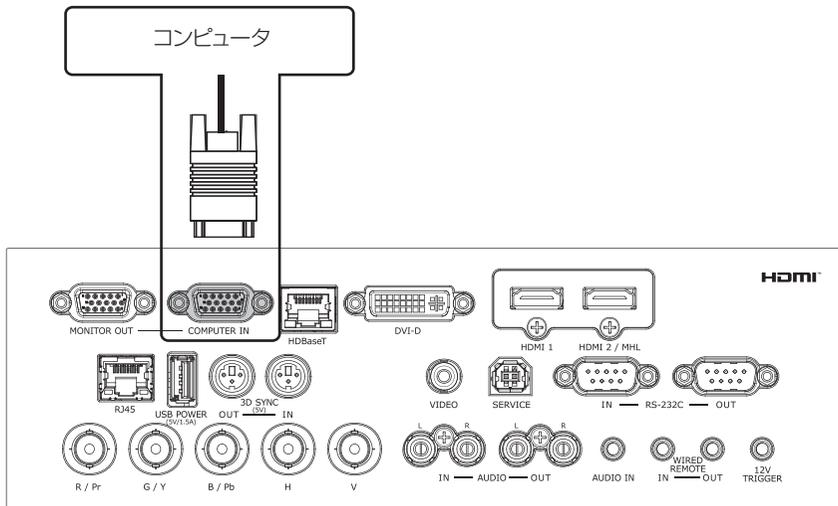


プロジェクターの設置

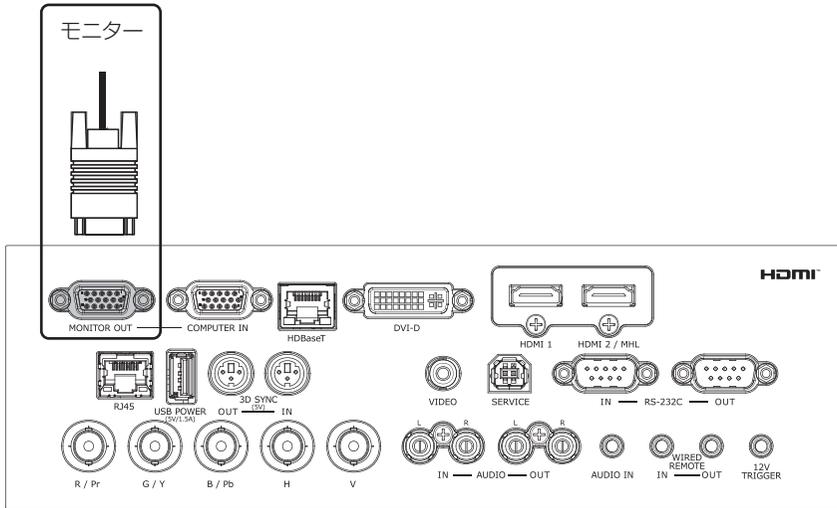


RGB 接続

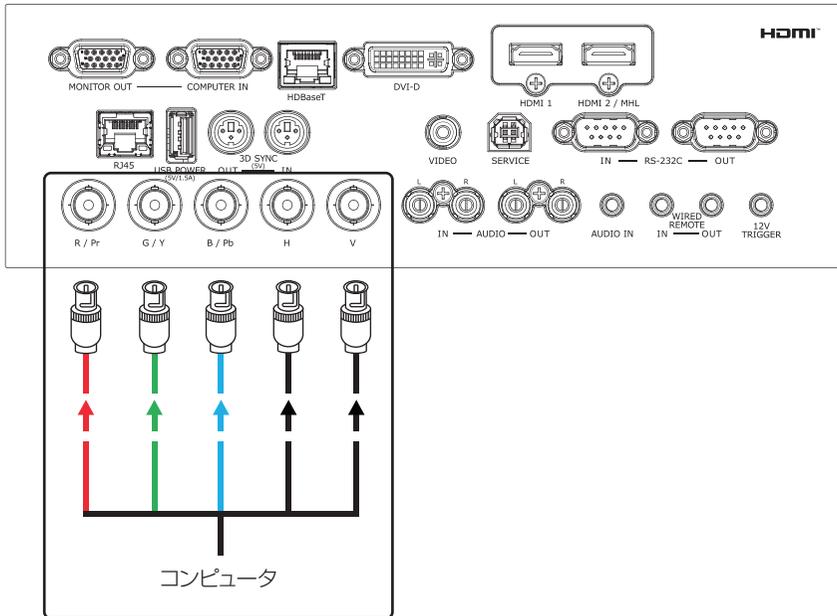
RGB出力を備えたコンピュータ（または他の装置）をプロジェクターのRGB入力コネクタ（COMPUTER IN（OSDの場合はVGAと呼びます））へ接続し、これを映像ソース入力とします。



モニターをMONITOR OUT(COMPUTER IN信号)へ接続します。



RGB (R/B/G/H/V)またはコンポーネント(YPbPr)ソースをBNC入力へ接続します。



プロジェクターの設置

HDBaseT 接続

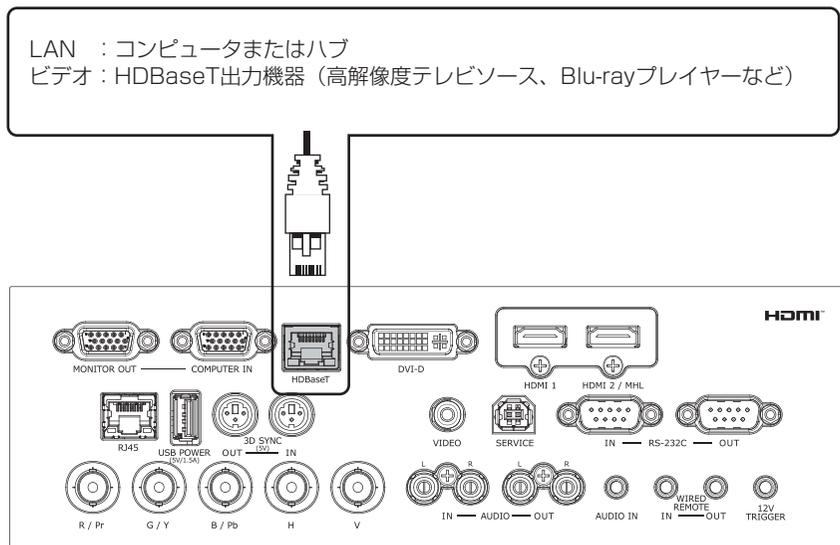
HDBaseTはLANケーブルを介して映像信号やLAN、RS-232C等の制御信号を送送する技術です。

本機でこの機能を使用する場合は、メニューで、「HDBaseT-IR/RS-232/RJ45」をONにします。

注意：この場合、RJ45端子とRS-232C端子は使用できなくなります。

- 映像伝送 : HDBaseT出力機器（高解像度テレビ、Blu-rayプレーヤー、HDBaseT TX Box等）と本機のHDBaseT端子をCAT5e/CAT6のLANケーブルで接続します。
- LAN機能 : メニューのネットワークの設定で、接続するネットワークでのIPアドレス、またはネットワークコンピュータのホスト名を入力することで、インターネットを介して本機の制御を行えます。
- RS-232C機能 : コンピュータ等のRS-232Cと本機のHDBaseT端子をHDBaseT TX Boxを介して接続することにより、RS-232Cコマンドを使用して本機の制御を行えます。
- リモコン機能 : リモコン受光機能のあるHDBaseT TX Boxと本機のHDBaseT端子を接続することで、HDBaseT TX Boxを介して本機のリモコンが使えるようになり、本機と離れた場所からでもリモコン制御を行えます。

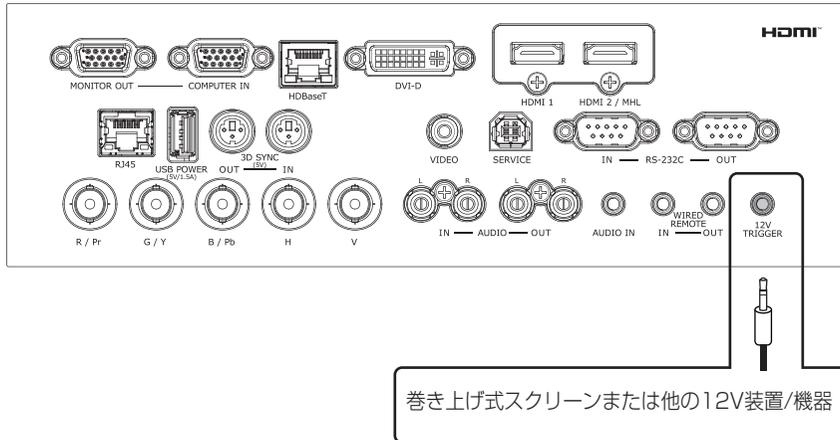
注意：対応できるLANケーブルの長さは最長100mです。この長さを超えると、映像が劣化したり、正常に制御できなくなったりする可能性があります。



12V トリガー接続

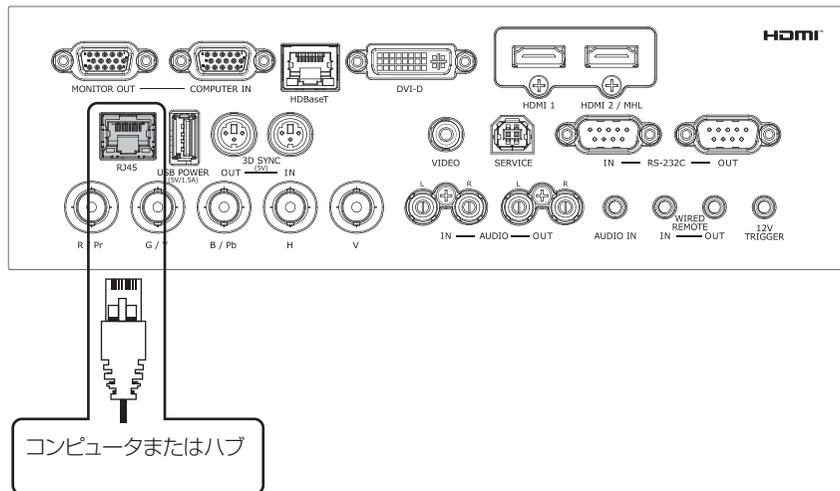
この端子は、プロジェクターを起動すると12V電圧信号を出力します。

プロジェクターの周辺システムに電動のスクリーン、スクリーンカバー、その他12V電圧の信号を検出して動作する機器が含まれている場合、このような機器を、図に示すようにプロジェクターの12Vトリガー端子に接続してください。



RJ45 接続

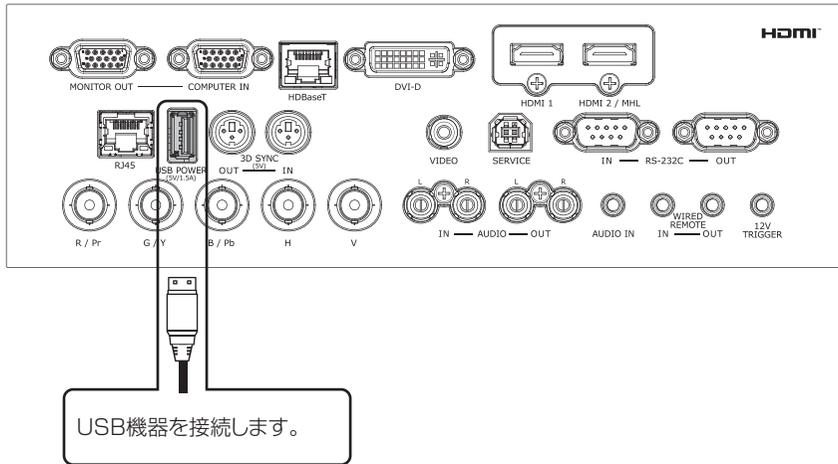
コンピュータまたはハブにコネクタを接続します。正しいIPアドレス、または本機のホスト名と同一のコンピュータのホスト名を入力します。この後、インターネットを経由して、本機を遠隔から制御できます。



プロジェクターの設置

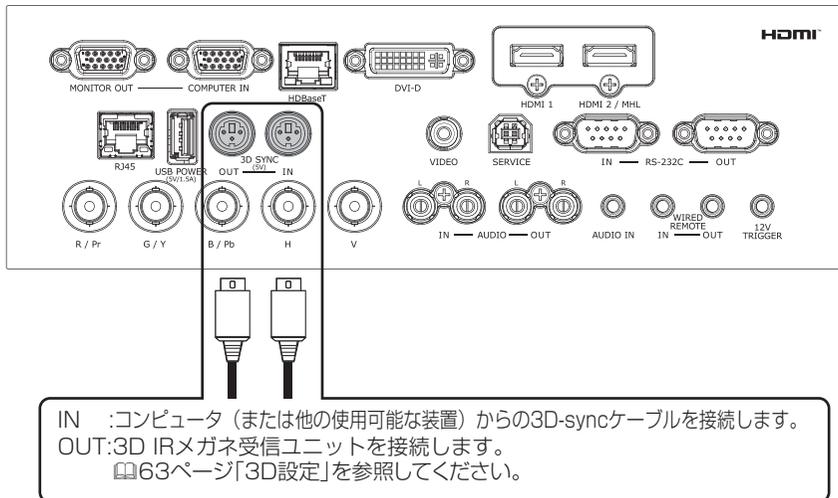
USB POWER (5V/1.5A) 接続

USB機器にUSBケーブルを接続します。プロジェクターに電源が入っている間は5V/1.5A出力可能です。



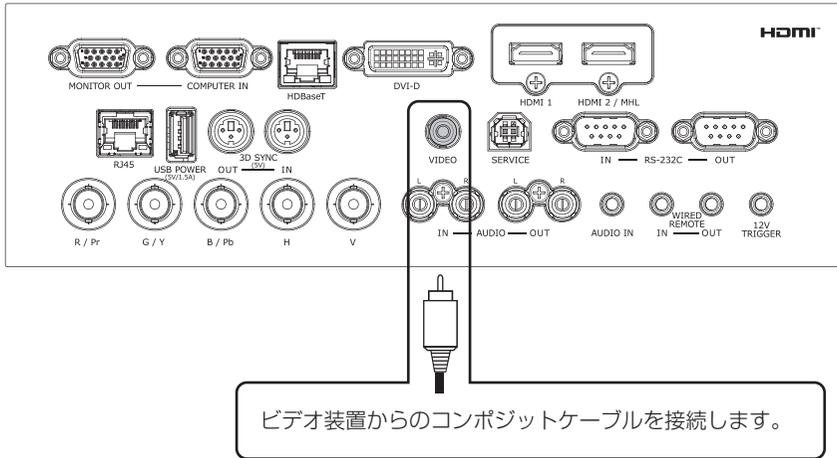
3D SYNC (5V) 接続

3Dアクティブ方式のコンピュータまたは他の3D映像ソース側機器および3Dメガネ機器と接続し、同期制御信号の入出力を行えます。



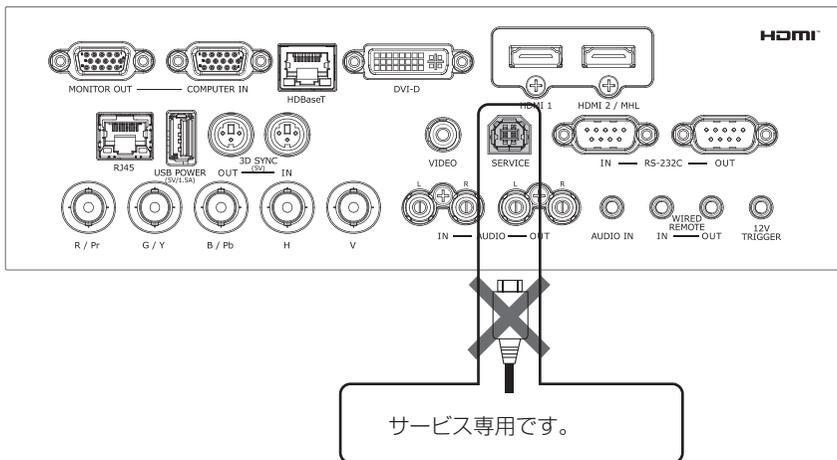
VIDEO 接続

ビデオ装置からのコンポジット信号ケーブルを接続します。



SERVICE 端子

保守作業時のデータ通信用で使用できません。

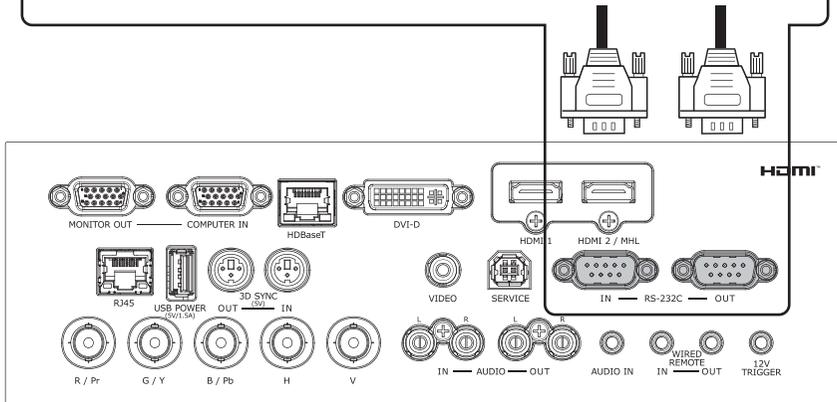


プロジェクターの設置

RS232C 接続

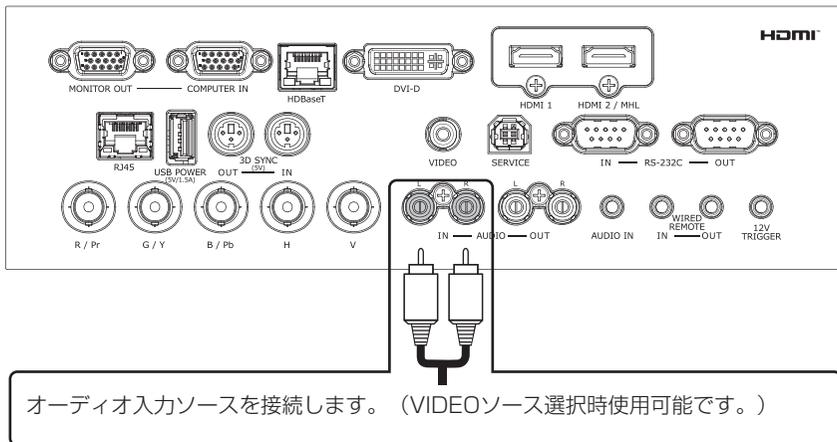
- IN : RS-232通信を使用して、コンピュータへ接続します。コンピュータから、RS-232コマンドを使用してプロジェクターをコントロールすることができます。
- OUT: 別のプロジェクター（同一モデル）のRS-232 INへ接続します。RS-232を使用したシリアル制御が可能になります。

IN : RS-232通信を使用して、コンピュータへ接続します。コンピュータから、RS-232コマンドを使用してプロジェクターをコントロールすることができます。
OUT : 別のプロジェクター（同一モデル）のRS-232 INへ接続します。RS-232を使用したシリアル制御が可能になります。



Audio IN (L/R) 接続

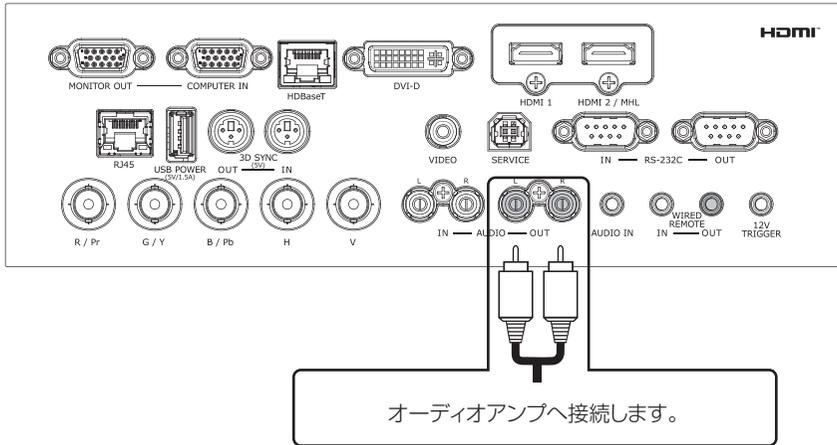
オーディオ入力ソースを接続します。(VIDEOソース選択時使用可能です。)



オーディオ入力ソースを接続します。(VIDEOソース選択時使用可能です。)

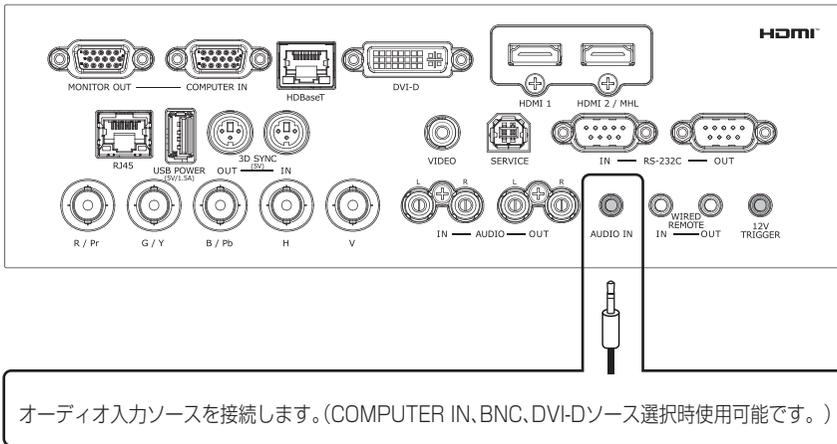
Audio OUT (L/R) 接続

オーディオアンプへ接続します。



Audio IN (ミニジャック) 接続

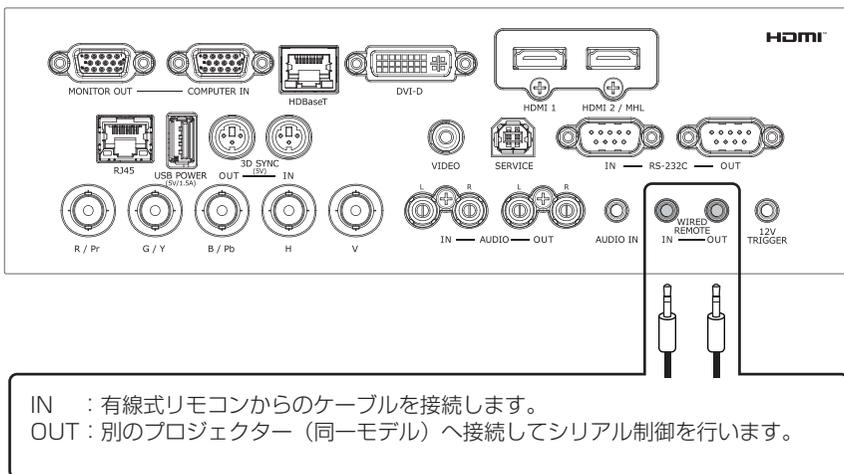
オーディオ入力ソースを接続します。(COMPUTER IN、BNC、DVI-Dソース選択時使用可能です。)



プロジェクターの設置

WIRED REMOTE 接続

- IN : リモコンからの操作信号を有線でプロジェクターへ接続します。
- OUT: 「WIRED REMOTE OUT」を、別のプロジェクター(同一モデル)のWIRED REMOTE INへ接続することにより、複数のプロジェクターをシリアル制御できるようになります。



プロジェクターの電源On/Off

電源コードを本機に接続する

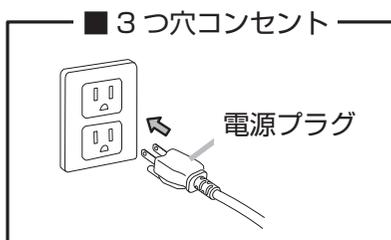
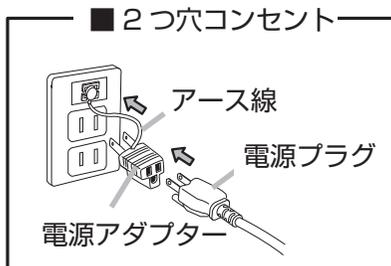
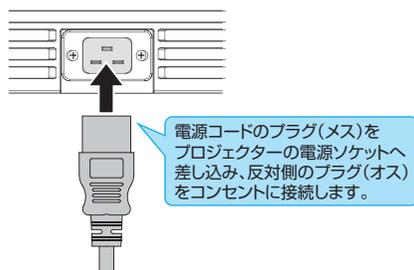
■ 2つ穴コンセントをご使用のとき

1. 電源コードのコネクタ側を本機の電源端子に接続してください。
2. 電源アダプターのアース線をコンセントのアース端子に接続してください。
3. 電源アダプターをコンセントに接続してから、電源プラグを電源アダプターに接続してください。

■ 3つ穴コンセントをご使用のとき

1. 電源コードのコネクタ側を本機の電源端子に接続してください。
2. 電源プラグをコンセントに接続してください。

電源が接続されると、本機はスタンバイ状態となり、POWER インジケータが橙色に点灯します。



警告



- **本機の電源プラグは、アース付き 3 芯プラグです**
機器の安全確保のため、アースは確実にとってご使用ください。



- **電源コードは、束ねたまま使用しないでください**
束ねると、電源コードの発熱による発煙、発火の危険が生じます。



- **電源プラグは、指定（本体に表示）の電源電圧のコンセントに、根元まで確実に差し込んで使用する**
電源の接続が不完全の場合、感電の原因となったり、発熱して火災の原因となります。また、指定の電圧以外でのご使用は、火災や感電の原因となります。必ず、**交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。**



アース線を
必ず接続せよ

- **アース線を必ず接地する**
2 つ穴コンセントを使用する場合、付属の電源アダプターをご使用になり、必ずアース線を接続してください。アース線の接続は電源アダプターをコンセントに差し込む前に、アース線を外すときは電源アダプターをコンセントから抜いてから、行ってください。



- **アース線をコンセントに差し込まない**
アース線はアース端子以外には接続しないでください。



ぬれ手禁止

- **ぬれた手で電源を接続したり外したりしない**
ぬれた手で電源コードや電源アダプターを取り扱わないでください。



- **電源コードは付属品のみを使用する**
電源コードや電源アダプターは本機に付属のものをご使用ください。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機に付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。



- **指定の電源電圧で使用する**
必ず、本体に表示されている指定電圧、交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。たこ足配線はしないでください。

プロジェクターの起動

プロジェクターの 、または、リモコンの  を押してプロジェクターを起動します。起動中はPOWER LEDインジケータが緑色に点滅します。起動後は5秒に一回点滅に変わります。起動画面が約10秒間表示されます。プロジェクターの初回使用では、起動画面表示後、クイックメニューから使用言語を選択することができます。

セキュリティー・ロックが有効設定されている場合は  45 ページ「アクセスパスワードの設定（セキュリティー・ロック）」を参照してください。

プロジェクターの設置

プロジェクターを停止する

プロジェクターの  を押すか、または、リモコンの  を押してください。画面上に「電源オフ? / 電源を再投入してください。」メッセージが表示されます。メッセージが表示されている間に、再度ボタンを押します。本機が停止した後も、冷却ファンは約5秒間作動し続けます。



入力ソースの選択

2台以上の入力装置が接続されている場合は、まず**入力ソース**を押し、次に▲▼を使用してソースを選択します。(コンポーネント信号は、VGAまたはBNCに接続し、接続したソースを選択します。)



- HDMI 1 : HDMI1に対応します。
- HDMI 2 / MHL : HDMI、およびMHLに対応します。
- DVI-D : DVI-Dに対応します。
- VGA : コンピュータ等からのアナログRGBやDVD等からのコンポーネントビデオ(YCbCr/YPbPr)に対応します。(COMPUTER IN端子接続)
- BNC : コンピュータ等からのアナログRGBやDVD等からのコンポーネントビデオ(YCbCr/YPbPr)に対応します。
- Composite Video : コンポジットビデオに対応します。
- HDBaseT : デジタルビデオ (HDBaseTトランスミッタを介して伝送)

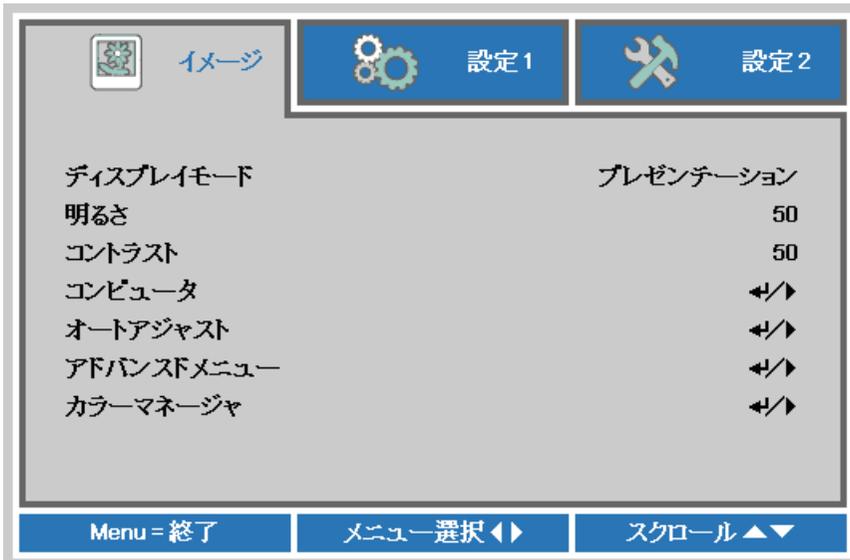
注意：HDBaseT 機能を利用するときは、TX ボックスの使用をお勧めします。
シングル CAT5e LAN ケーブルを使用する場合、プロジェクターは最大 100m までの接続距離に対応します。

アクセスパスワードの設定(セキュリティー・ロック)

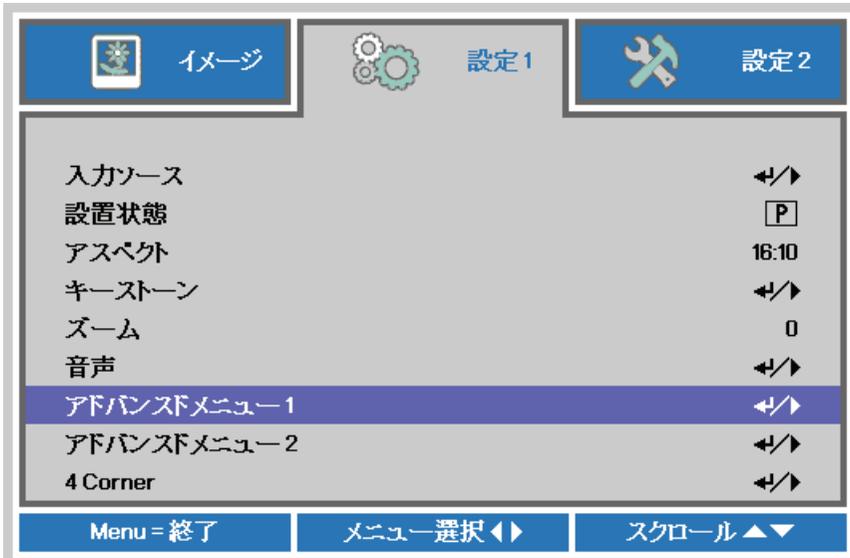
プロジェクターの不正使用防止のため、4種類の矢印ボタンを使用してパスワードを設定することができます。パスワードを有効設定しておくこと、プロジェクターの起動後にパスワード入力が必要となります。

注意：パスワードを記載または記録したものは安全な場所に保管してください。ロックを設定後は、パスワードなしにプロジェクターを使用できなくなります。パスワードがわからず使用できなくなったときは、製品をお買い上げいただいた販売店へ対応方法をお問い合わせください。

1. **MENU**を押してOSDメニューを表示します。



2. ◀▶ を押して**設定 1**メニューへ移動し、▲▼を押して**アドバンスドメニュー 1**を選択します。



プロジェクターの設置

3. **ENTER / ▶**を押して**アドバンスドメニュー 1**サブメニューに入ります。
▲▼を押して**セキュリティー・ロック**を選択します。
4. ◀▶を押して**セキュリティー・ロック機能**に入り、この機能を有効、または無効のいずれかに設定します。



パスワードダイアログボックスが自動的に画面に表示されます。

5. キーパッド、またはリモコンを用いてパスワードを入力します。



▲▼◀▶の任意のキーを順番に5回押した組み合わせがパスワードになります。(同じキーを5回連続使用することも可能です。)入力が終了したらMENUボタンを押します。



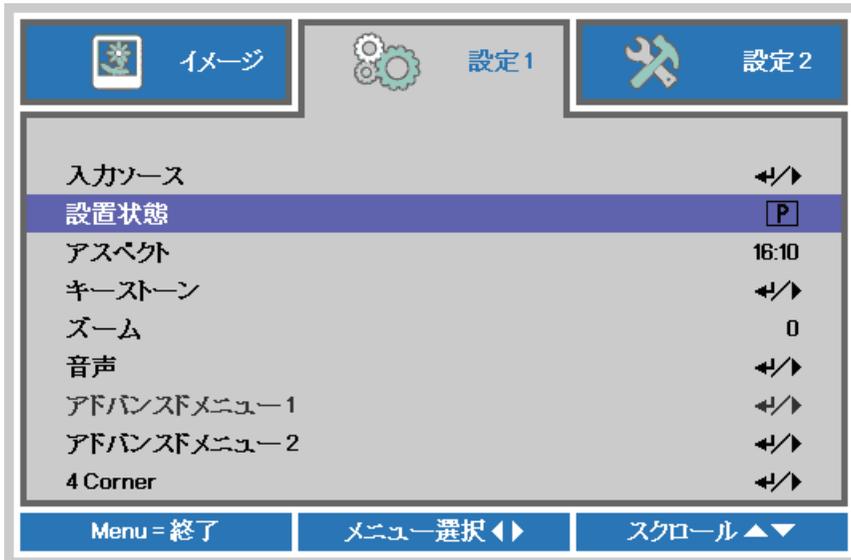
6. セキュリティー・ロック機能を設定した場合、次にプロジェクターを起動したときにパスワード確認メニューが表示されます。5で設定した順番でパスワードを入力します。パスワードがわからないときは、製品をお買い上げいただいた販売店へお問い合わせください。
正規にご購入いただいたお客様と確認できましたら、対応方法をご連絡します。



設置場所の選択

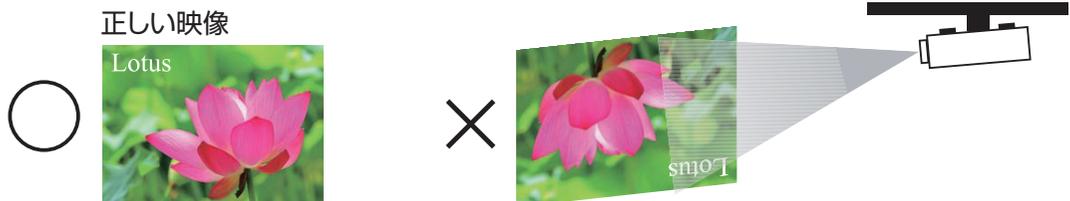
机上 **P**

初期設定で、このモードに設定されています。本機を他のセットアップで設置する場合、スクリーンの向きに合わせて投写モードを正しく設定してください。



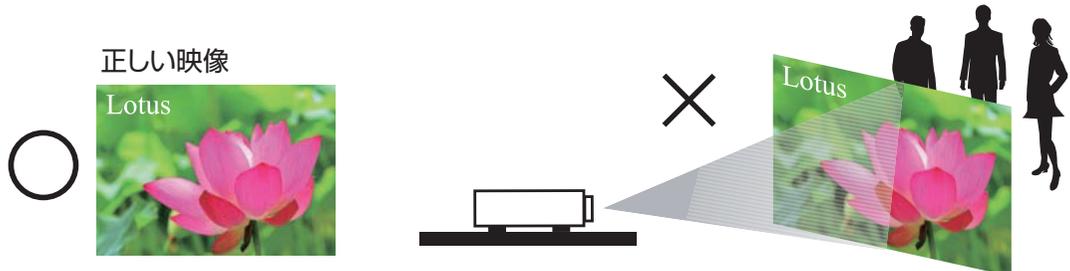
天吊り **d**

MENU → 設定 1 → 設置状態 の順にボタンを押し、次に**Ceiling**を選択します。これにより、プロジェクターは「Ceiling（天吊り）」モードに設定されます。



背面机上 **q**

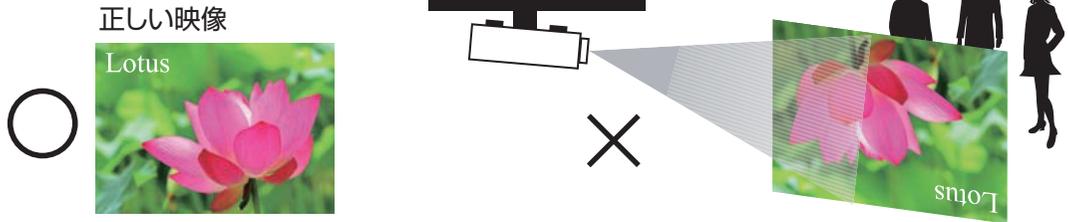
MENU → 設定 1 → 設置状態 の順にボタンを押し、続いて**Rear**を選択します。これにより、プロジェクターは「Rear（背面）」モードに設定されます。



プロジェクターの設置

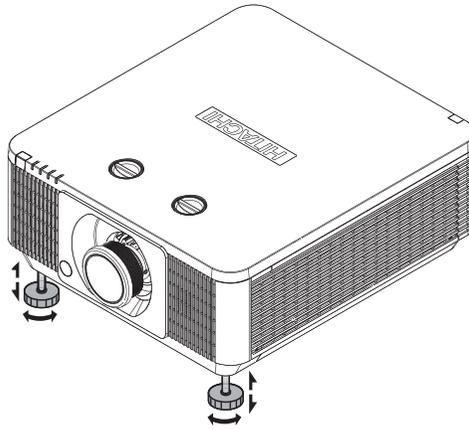
天吊り背面

MENU → 設定 1 → 設置状態の順にボタンを押し、続いて「Rear + Ceiling」を選択します。これにより、プロジェクターは「Rear + Ceiling（天吊り背面）」モードに設定されます。



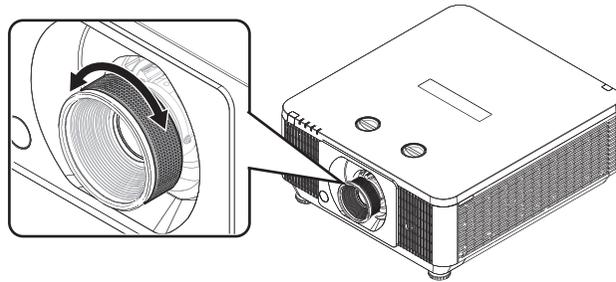
プロジェクターの角度調節

プロジェクターの傾きはアジャスタ脚を使って変更し、スクリーンへの投写に最も適した傾きを決定してください。

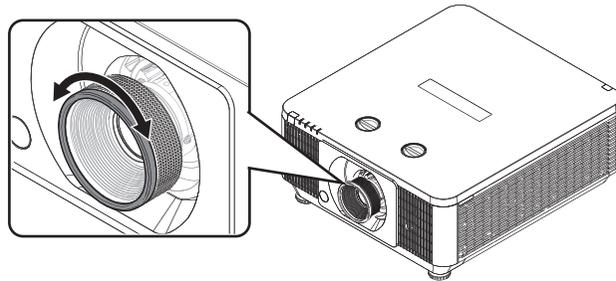


プロジェクターのズーム、フォーカス調節

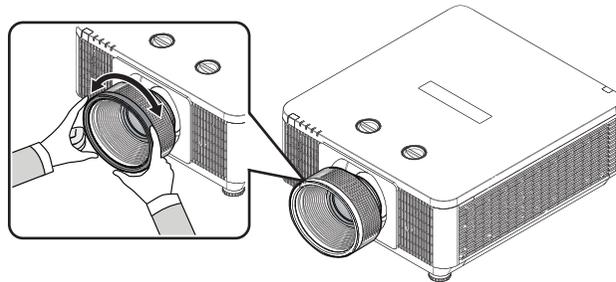
ズーム



フォーカス



短焦点レンズのフォーカス



ズーム/フォーカス調節の注意

1. レンズシフト/ズーム/フォーカス調節は、プロジェクター起動後30分経過してから実行してください。
2. 電源投入から30分を経過する前に調節を行うと、その後に映像位置やフォーカスが若干変化することがあります。レンズシフト/ズーム/フォーカス調節後に室温と湿度が変化した場合、必要であれば再調整してください。
3. 映像サイズ（スクリーンの端からのマージンを含む）は、プロジェクター設置後の諸変化をあらかじめ考慮に入れて設定してください。

プロジェクターの設置

キーストーンの調節

1. 台形歪みをキーストーンで調節するには、メニューが表示されていない状態で操作ボタンまたはリモコンの▼▲◀▶を押すか、メニューのキーストーンを選択して、キーストーン調節メニューを表示させます。
2. キーストーン調節メニューで、▼▲◀▶を使って、垂直 または、水平キーストーンを調節します。

OSDメニューツリー

第1層	第2層	第3層	第4層	選択内容			
イメージ	ディスプレイモード			プレゼンテーション, ブライト, ゲーム, 映画, ビビッド, テレビ, sRGB, DICOM SIM., ユーザー1, ユーザー2			
	明るさ			0~100			
	コントラスト			0~100			
	コンピュータ		水平位置		-5 ~ 5 (自動同期に依存します)		
			垂直位置		-5 ~ 0 (自動同期に依存します)		
			クロック位相		0~31		
			トラッキング		-5~5		
	オートアジャスト						
	アドバンスドメニュー		プリリアントカラー		0~10		
			シャープネス		0~31		
			ガンマ		1.8、2.0、2.2、2.4、白黒、リニア		
			色温度		高、ノーマル、低		
			ビデオ AGC		オフ、オン		
			色彩度		0~100		
			色相		0~100		
			ホワイトバランス		R ゲイン		0~200
					G ゲイン		0~200
B ゲイン						0~200	
R オフセット		-100~100					
G オフセット		-100~100					
B オフセット		-100~100					

OSDメニューツリー

第1層	第2層	第3層	第4層	選択内容
イメージ	カラーマネージャ	赤	色調	0~100
			色彩度	0~100
			ゲイン	0~100
		緑	色調	0~100
			色彩度	0~100
			ゲイン	0~100
		青	色調	0~100
			色彩度	0~100
			ゲイン	0~100
		シアン	色調	0~100
			色彩度	0~100
			ゲイン	0~100
		マゼンタ	色調	0~100
			色彩度	0~100
			ゲイン	0~100
		黄	色調	0~100
			色彩度	0~100
			ゲイン	0~100
		白	赤	0~100
			緑	0~100
			青	0~100

第1層	第2層	第3層	第4層	選択内容	
設定 1	入力ソース			HDMI 1、HDMI 2 / MHL、DVI-D、VGA、BNC、Composite Video、HDBaseT	
	設置状態	   		机上、背面机上、天吊り、背面天吊り	
	アスペクト			16:10、4:3、16:9、レターボックス、リアル、2.35:1	
	キーストーン			H: -50~+50 V: -60~+60	
	ズーム			-10~10	
	音声	ボリューム			0~20
	消音			オフ、オン	
	内部スピーカー			オフ、オン	
設定 1	アドバンスドメニュー 1	言語 (Language)		英語、仏語、独語、スペイン語、ポルトガル語、簡体字中国語、繁体字中国語、イタリア語、ノルウェー語、スウェーデン語、オランダ語、ロシア語、ポーランド語、フィンランド語、ギリシャ語、韓国語、ハンガリー語、チェコ語、アラビア語、トルコ語、ベトナム語、日本語、タイ語、ペルシャ語、ヘブライ語、デンマーク語、カナダ系フランス語	
		セキュリティロック		オフ、オン	
		スプラッシュロゴ		標準、黒、青	
		クローズドキャプション		オフ、オン	
		キーパッドロック		オフ、オン	
	3D設定	3D			オフ、DLP-Link、IR
		3D同期反転			オフ、オン
		3D形式			フレームシーケンシャル、上/下、横並び、フレームパッキング(3DフレームパッキングHDMIソースのみ)
		3D同期出力遅延			0~359
		3D同期入力			オフ、オン
	アドバンスドメニュー 2	テストパターン			オフ、RGBランプ、カラーバー、ステップバー、チェックボード、グリッド、水平線、垂直線、斜線、水平ランプ、垂直ランプ、白、赤、緑、青、黒
		水平画像シフト			-50~50
		垂直画像シフト			-50~50
4 Corner				0~60	

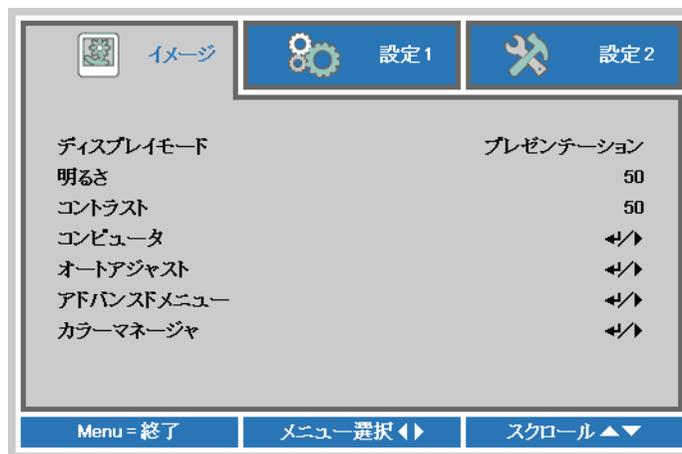
OSDメニューツリー

第1層	第2層	第3層	第4層	選択内容		
設定 2	オートソース			オフ、オン		
	オートパワーオフ(分)			0~180		
	ダイレクトパワーオン			オフ、オン		
	ライトモード			ノーマル、エコ、エコプラス、低電力、超低電力、カスタムライト		
	工場出荷設定					
	状態		入力ソース			
			ビデオ情報			
レーザー使用時間						
ソフトウェアバージョン						
リモコン ID						
シリアル番号						
設定 2	アドバンスドメニュー 1	メニュー位置				
		メニュー透過度		0%、25%、50%、75%、100%		
		節電モード		オン、LANでオン		
		ファン速度		ノーマル、高速		
		レーザー情報		ノーマル、エコプラス、低電力、超低電力、カスタムライト		
		リモコン ID		全ID、1 2 3 4 5 6 7		
		ネットワーク		ネットワーク状態		
				DHCP		
				IP アドレス		
				サブネットマスク		
	ゲートウェイ					
	DNS					
	適用					
	HDBaseT/IR		HDBaseT- IR/RS232/RJ45		オフ、オン	
			前面リモコン受光部		オン、オフ	
			背面リモコン受光部		オン、オフ	
	アドバンスドメニュー 2	スリープタイマー			0~600	
			ソースフィルター	HDMI 1		無効、有効
				HDMI 2 / MHL		無効、有効
				DVI		無効、有効
				VGA		無効、有効
				BNC		無効、有効
				Composite Video		無効、有効
HDBaseT					無効、有効	
カスタムライト				25~100		

OSD説明

1. リモコン、または操作ボタンの**MENU**を押してOSDメニューを呼び出します。
2. 3種類のメインメニュー（イメージ、設定 1、設定 2）が表示されます。
3. ◀▶を押して、いずれかのメインメニューへ移動します。▲▼を押して希望するサブメニューを選択します。◀▶を押して、設定値を入力/変更します。
4. 1つ前のメニューへ戻るには、**MENU**を押します。
5. メインメニューで、**MENU**を押すと、OSDメニューを終了します。
6. いくつかの項目は、ソース、入力信号、メニューの設定によっては操作ができません。
7. 規定範囲をこえたパラメーター値を入力すると適正な映像が得られません。

イメージ



ディスプレイモード

◀▶を押してディスプレイモードを選択します。

•プレゼンテーション

標準的な事務所のような環境では、このモードを使用してください。このモードの明るさは「ブライト」と「ゲーム」の間です。

•ブライト

このモードは非常に明るい映像が得られます。明るい環境光の下で使用するときには、このモードを選択してください。

•ゲーム

明るいリビングルームなどでビデオゲームを楽しむのに適したモードです。

•映画

映画鑑賞に適したモードです。

•ビビッド

鮮やかな色彩度、繊細なシャープネス、高い明るさレベルを特長とし、薄暗いリビングルームで使用するのに適したモードです。

•テレビ

テレビ鑑賞に適したモードです。

•sRGB

明るさ設定にかかわらず、RGBカラーの純度を上限まで高めるモードです。色再現性の良い映像が得られます。sRGB対応カメラで撮影した写真の再生や、PCグラフィックス、作図アプリケーション(AutoCADなど)の表示に適しています。

OSD説明

•DICOM SIM

「Digital Imaging and Communications in Medicine」(DICOM)対応機器のグレースケール/ガンマ機能をシミュレートするディスプレイモードです。

重要：このモードは教育/トレーニングを目的としたものですので、実際の診断には絶対に使用しないでください。

•ユーザー1、ユーザー2

現在利用できるモードをベースとしてカスタマイズした設定を呼び出します。

注意：使用できるのは、ディスプレイモードがユーザー 1/2 に設定され、入力が RGB 信号の場合のみです。

明るさ

◀▶を押して、映像の明るさを調節します。

注意：明るさとコントラスト、彩色は関連した項目ですので、変更すると相互に影響を及ぼします。

いずれかの項目を調節した場合は、他の項目も必要に応じて微調節してください。

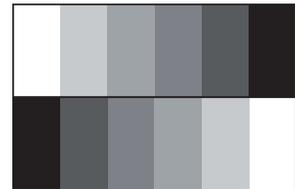
図4 (59 ページ) は、明暗のある写真映像を用いて明るさ調節を最大限、最小限に行った結果を示しています。

コントラスト

◀▶を押して、映像のコントラストを調節します。

右図のようなグレースケール映像を表示しながら、各階調の境界が判るように、かつ、黒と白の境界が明確に判るように調節すると、標準的な調節になります。

図5 (59 ページ) は、コントラストの高い/低い部分を含む写真映像を用いてコントラスト調節を最大限、最小限に行った結果を示しています。



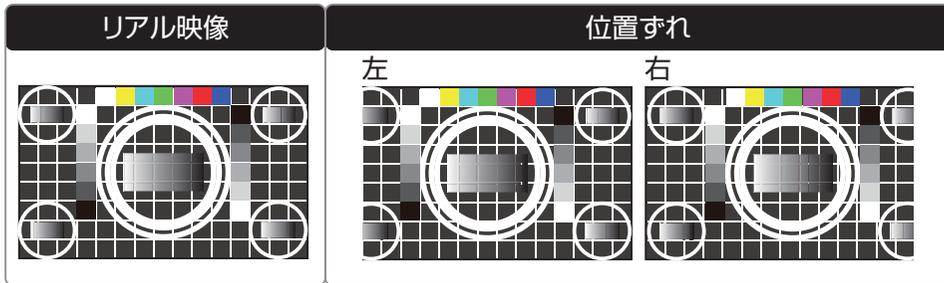
コンピュータ

ENTER / ▶ を押して**コンピュータ**メニューに入ります。

•水平位置

◀▶ を押して、投写された映像の水平位置を調節します。

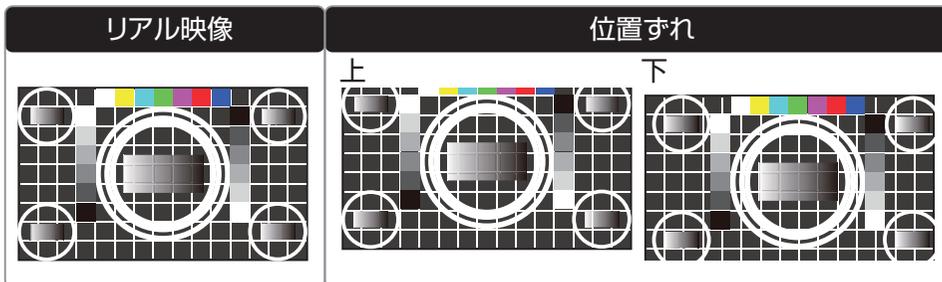
投写された映像がスクリーンの中心からずれて映像の端が切れている（左または右へシフトしている）ときは、この機能を使用して映像の水平位置を調節します。下に示す映像は、外部信号ソースから取得した試験映像を投写した例です。



•垂直位置

◀▶ を押して投写された映像の垂直位置を調節します。

投写された映像がスクリーンの中心からずれて映像の端が切れている（上または下へシフトしている）ときは、この機能を使用して映像の垂直位置を調節します。下に示す映像は、外部信号ソースから取得した試験映像を投写した例です。



映像の水平または垂直の位置調節を行った時に部分的に線が細くなる、ノイズが出る場合には、次のクロック位相やトラッキングを調節を試みてください。

•クロック位相

◀▶ を押して投写された映像の位相を調節します。

この機能を使用してピクセルサンプリングクロックの位相を調節します（入力信号に対する相対的な調節）。最適化後も映像の揺らぎやノイズ（例：テキストの端）が解消しない場合は、それに応じて位相を調節してください。

•トラッキング

◀▶ を押してこの項目に入り、A/Dサンプリングドットの調節を行います。

OSD説明

オートアジャスト

OSDメニューでオートアジャストを実行します。

この機能を実行すると、プロジェクターは映像信号の再同期処理を行います。映像ソースが不安定であったり、映像の品位劣化に気付いたときはこの機能を使用してください。この機能を実行すると、プロジェクターは自動的に映像位置、位相、タイミングを調節します。

この機能は、操作ボタンやリモコンの**AUTO**からも実行できます。

アドバンスドメニュー

ENTER / **▶** を押してアドバンスドメニューに入ります。

•ブリリアントカラー

◀▶ を押して、投写映像のブリリアントカラーを調節します。

この機能により、彩色や明るさの再現性を調節し、実際の映像の色彩に近づけることができます。

•シャープネス

映像の繊細さを調節できます。下図のような評価信号をプロジェクターに入力して調節すると最適化できます。

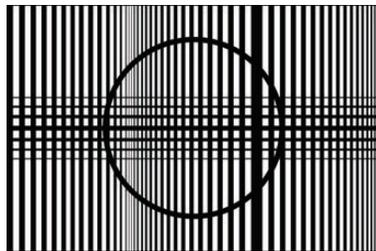


図8 (59ページ) は、境界線の区別がはっきりした部分/ぼやけた部分を含む写真映像を用いてシャープネス調節を最大限、最小限に行った結果を示しています。

•ガンマ

この機能はガンマ特性を変化させます。

選択できるガンマは次のとおりです。 1.8/2.0/2.2/2.4/白黒/リニア

•色温度

色温度として 低、ノーマル、高のいずれかを選択できます。

色温度とは、裸眼が異なるエネルギーの明色系の色彩に対して感じる感覚の変化を表します。色温度が低から高へ変化すると、可視光領域の色調がオレンジ系の赤から白へ、さらに青へと変化してゆきます。

色温度の上昇とともに映像の色調の青みが強くなり、逆に、色温度が下がると赤みが強くなってゆきます。

•ビデオ AGC

ビデオソースが入力選択されている時に、自動ゲインコントロール (AGC) 機能の有効/無効設定を切り替えます。

- 色彩度

ビデオソースが入力選択されている時に、映像の色彩度を調節します。
写真映像を用いて色調節を最大限、最小限に行った例を図6に示します。

- 色相

ビデオソースが入力選択されている時に、映像の赤色と緑色の比率を調節します。
写真映像を用いて色あい調節を最大限、最小限に行った例を図7に示します。

図4

◀ 明るさ低減



明るさ強化 ▶



図5

◀ コントラスト低減



コントラスト強化 ▶



図6

◀ 色低減



色強化 ▶



図7

◀ 色あい低減



色あい強化 ▶



図8

◀ シャープネス低減



シャープネス強化 ▶



オリジナル映像



OSD説明

•ホワイトバランス

環境光が変化したときに映像が可能な限り実際の色彩と同じように見えるよう調節することができます。

ゲイン

これは、投写された映像の明るい部位における色調のアンバランスを調整する機能です。白色の領域に微量の赤、緑、青味を感じる場合は、それぞれの色に対応するゲインを下げます。この機能は、映像全体での各色入力の範囲を変化させます。

一般的には、ゲインを大きくすると映像のコントラストが低下します。

オフセット

これは、投写された映像の暗い部分における色調のアンバランスを調整する機能です。灰色の領域に微量の赤、緑、青味を感じる場合は、それぞれの色に対応するオフセットを調節します。この機能は、映像全体の各色スペクトラム全体を変化させます。

一般的には、オフセットを大きくすると、映像の明るさが低下します。

•Rゲイン

◀▶ を押して、赤色のゲインを調節します。

•Gゲイン

◀▶ を押して、緑色のゲインを調節します。

•Bゲイン

◀▶ を押して、青色のゲインを調節します。

•Rオフセット

◀▶ を押して、赤色のオフセットを調節します。

•Gオフセット

◀▶ を押して、緑色のオフセットを調節します。

•Bオフセット

◀▶ を押して、青色のオフセットを調節します。

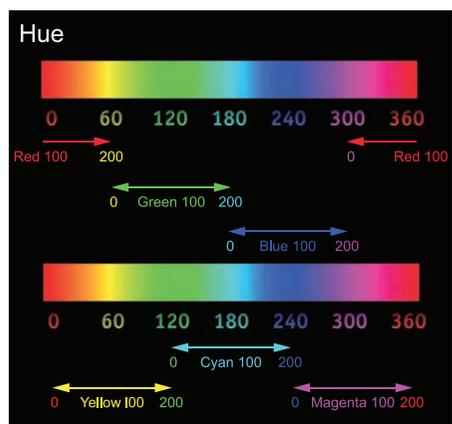
この機能を使用できるのは、ディスプレイモードがユーザー1/2に設定されており、かつ、入力がRGB信号である場合のみです。

カラーマネージャ

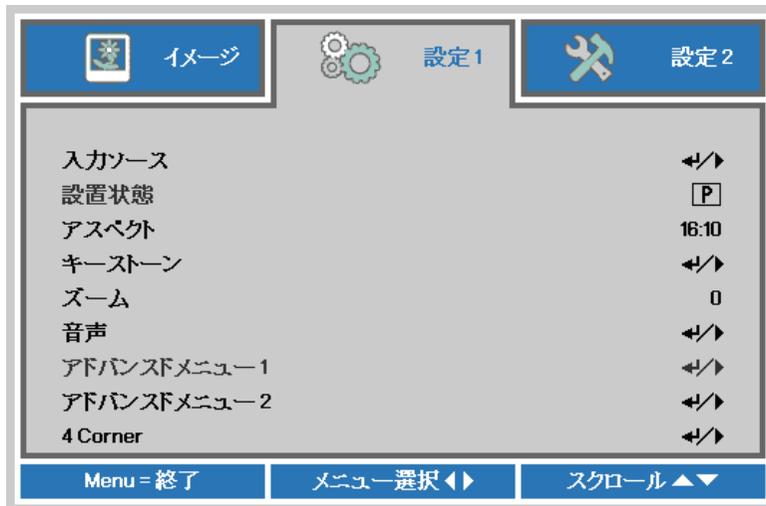
この機能を使用して色を調節することができます。

赤、緑、青、シアン、マゼンタ、黄色の調節には色調、色彩度、ゲインを変化させます。

白の調節では、3原色（赤、緑、青）のゲインを変化させます。



設定 1



入力ソース

操作ボタンおよびリモコンの**SOURCE**と同じ機能です。この機能で入力ソースを選択します。

- **HDMI 1**
HDMI 1 入力を選択します。
- **HDMI 2 / MHL**
HDMI 2/MHL 入力を選択します。
- **DVI-D**
DVI-D 入力を選択します。
- **VGA**
COMPUTER IN 入力を選択します。
- **BNC**
BNC 入力を選択します。
- **Composite Video**
Composite Video 入力を選択します。
- **HDBaseT**
HDBaseT 入力を選択します。

注意：選択したソースが接続されていない、入力信号が正しくない場合に、メニュー 設定2 「オートソース」がオンに設定されている場合は自動的に表示できるソースを検出して選択表示します。

設置状態

設置環境に応じた投写モードを設定します。以下の4種類のモードから選択します。

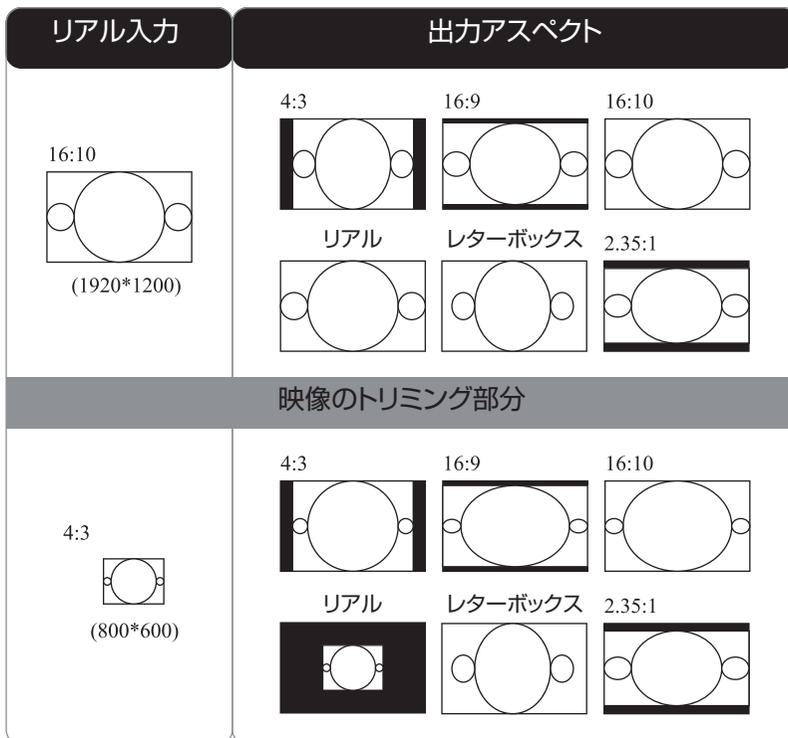
- **P** 机上 : 詳細は 28 ページ「ノーマル」を参照してください。
- **q** 天吊り : 詳細は 29 ページ「天吊り」を参照してください。
- **d** 背面机上 : 詳細は 29 ページ「背面」を参照してください。
- **b** 背面天吊り : 詳細は 29 ページ「天吊り背面」を参照してください。

OSD説明

アスペクト

この機能を使用して投写映像のアスペクトを調節します。◀▶ を押して、映像の長さとの幅の比率を調節します。

プロジェクターが投写できるフル映像サイズは16:10 (1920×1200ドット)です。各種のアスペクト設定に対応する映像の様子を次の図に示します。



注意：上記の ■■■■ は映像が表示されない部分を示します。

キーストーン

キーストーンメニューで▲▼◀▶ を押して、台形歪みを水平または垂直キーストーン機能で修正します。メニュー表示がされていない状態で、操作ボタンまたはリモコンの▲▼◀▶ を押してキーストーンメニューを表示することもできます。

50ページ「キーストーンの調節」を参照してください。

ズーム

ズームメニューで◀▶ を押して、拡大または縮小して映像を投写します。

音声

ENTER / ▶ を押して**音声**メニューに入ります。

•ボリューム

◀▶ を押して音声のボリュームを調節します。

•消音

◀▶ を押して音声のオン/オフを選択します。

•内部スピーカー

◀▶ を押して内部スピーカー出力のオン/オフを選択します。

アドバンスドメニュー 1

ENTER / ▶ を押してアドバンスドメニュー 1メニューに入ります。

•言語 (Language)

この機能を使用して、OSDメニューが表示する言語を選択します。選択できる言語は次のとおりです。

英語、仏語、独語、スペイン語、ポルトガル語、簡体字中国語、繁体字中国語、イタリア語、ノルウェー語、スウェーデン語、オランダ語、ロシア語、ポーランド語、フィンランド語、ギリシャ語、韓国語、ハンガリー語、チェコ語、アラビア語、トルコ語、ベトナム語、日本語、タイ語、ペルシャ語、ヘブライ語、デンマーク語、カナダ系フランス語

•セキュリティー・ロック

◀▶ を押してセキュリティー・ロック機能に入り、この機能を有効、または無効のいずれかに設定します。
 45ページ「アクセスパスワードの設定 (セキュリティー・ロック)」を参照してください。

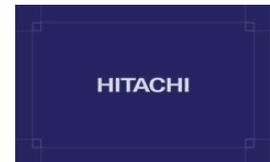
•スプラッシュロゴ

プロジェクターの起動時画面や無信号時の画面を選択できます。

標準：HITACHI ロゴ有り、青色画面

黒：ロゴ無し、黒色画面

青：ロゴ無し、青色画面



•クローズドキャプション

◀▶ を押して、クローズドキャプションのオン/オフを設定します。

クローズドキャプションとは、NTSC 方式または480i@60信号のビデオやテレビ番組などに文字情報等が付加されている場合に表示する機能です。接続している機器や信号によっては適切に動作しない場合があります。この場合は機能をオフにしてください。

•キーパッドロック

◀▶ を押して、操作ボタンからの入力ロックのオン/オフを選択します。

注意：ロックをオンすると電源ボタン以外の操作ボタンからの操作ができなくなります。
 操作ボタンの▼を5秒間押し続けるか、リモコンでメニュー設定を変更することでロックが解除されます。

•3D設定

ENTER / ▶ を押して3D設定メニューに入ります。

•3D

◀▶ を押して、いずれかの3Dモードを選択します。選択できるオプション: オフ、DLP-Link、IR

•3D同期反転

◀▶ を押して、3D同期反転機能を有効、または無効に設定します。

•3D形式

◀▶ を押して、3D形式を選択します。

選択できるオプション： フレームシーケンシャル、上/下、横並び、フレームパッキング

注意：3D フレームパッキングを指定できるのは、HDMI ソースを使用する場合のみです。

•3D 同期出力遅延

◀▶ を押して、3D同期出力遅延を調節します。

•3D 同期入力

◀▶ を押して、3D同期入力を有効、または無効に設定します。

注意：3D OSD のメニュー項目は、対応可能な3D映像入力がない場合はグレー表示となります。これが初期設定です。対応する3Dソースをプロジェクターに接続すると、該当するメニュー項目がアクティブとなって選択可能になります。

注意：3D DVD、3Dメディアファイルなどが提供する3Dコンテンツが必要です。

対応できる信号フォーマットは  84 ページ「3D タイミング形式」を参照してください。

OSD説明

- 注意：3D ソースを有効化しておく必要があります(一部の 3D DVD コンテンツは、それ自身が 3D On/Off 選択機能を備えています)。
- 注意：DLP®link™3D または IR 受光 3D シャッターメガネが必要です。IR 受光 3D シャッターメガネを使用する場合、ソース側にエミッターの接続も必要となります。
- 注意：OSD の 3D モードはメガネのタイプ(DLP®link™ または IR 受光 3D)に適合してなければなりません。
- 注意：メガネの電源を入れます。通常、メガネ自身が電源 ON/OFF スイッチを備えています。
- 注意：3D メガネ (DLP®link™ または IR 受光シャッターメガネ) は、独自の設定がありますので、その設定説明書にしたがってセットアップをしてください。

アドバンスドメニュー 2

ENTER / ▶ を押してアドバンスドメニュー 2メニューに入ります。

•テストパターン

プロジェクターには、画質を評価するための何種類かの映像パターンが組み込まれています。選択できるのは以下になります。

RGBランプ、カラーバー、ステップバー、チェックボード、グリッド、水平線、垂直線、斜線、水平ランプ、垂直ランプ、白、赤、緑、青、黒、オフ(初期設定)

•水平画像シフト

◀▶ を押して、端が切れないように映像全体の水平シフトを設定します。

•垂直画像シフト

▲▼ を押して、端が切れないように映像全体の垂直シフトを設定します。

4 Corner

▲▼◀▶ を押して、映像の四隅の歪りを補正します。

▲▼◀▶ を押して、映像の左上
コーナーの歪りを補正します。



▲▼◀▶ を押して、映像の左下
コーナーの歪りを補正します。



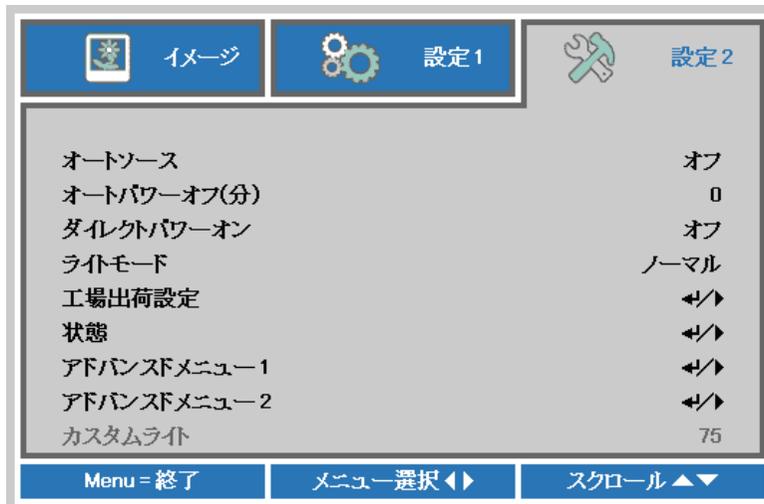
▲▼◀▶ を押して、映像の右上
コーナーの歪りを補正します。



▲▼◀▶ を押して、映像の右下
コーナーの歪りを補正します。



設定 2



オートソース

•オン

オンにしておくと、自動的に入力されているソースを検索しますので、手動選択する必要はありません。(複数のソースが入力されている場合は、先に検出したソースを選択します。)

•オフ

オフになっているときは、自動検索は行われません。手動で映像入力ソースを指定する必要があります。

オートパワーオフ (分)

指定した時間幅を超えて無信号状態が続くと、プロジェクターの電源が自動的に切れます。この設定項目に0を指定しておくと、この機能は動きません。

ダイレクトパワーオン

この機能をONにしておくと、光源点灯中にAC電源を遮断された場合に、次にAC電源を投入したときに、光源が自動的に点灯します（通常の点灯操作は必要ありません）。

ただし、以下の操作を行った後は、AC電源が供給されても光源は自動点灯しません。通常の方法で光源を点灯してください。

- 通常の手順にしたがって光源を消灯した。
- この機能がOFFの状態でも光源を消灯した。

レーザーモード

•ノーマル

ノーマルモードに設定しておくと、明るさが100%になります。

注意：温度が35℃を超えると、明るさは自動的に80%まで下がります。

•エコ

エコモードに設定すると、明るさは80%に調節されます。

•エコプラス

エコプラスモードに設定すると、明るさは60%に調節されます。

•低電力

低電力モードに設定すると、明るさは40%に調節されます。

OSD説明

•超低電力

超低電力モードに設定すると、明るさは25%に調節されます。冷却ファンの回転速度も低くなります。

•カスタムライト

パワーモードをカスタム設定して投写される映像の明るさを微調節することができます。また、複数のプロジェクターを並べて投写していて明るさが違う場合に、それぞれの明るさを合わせるよう調節ができます。

工場出荷設定

ENTER / ► を押して、すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。

注意：以下の項目の設定はリセットされません。

言語 (Language)、セキュリティーロック、3D(同期反転、形式を含む)、リモコンID、ネットワーク、現在選択されている入力ソースやテストパターン。

状態

ENTER / ► を押して**状態**メニューに入ります。

•入力ソース

現在アクティブなソースを表示します。

•ビデオ情報

RGBソースの解像度/ビデオ情報、ビデオソースの色標準を表示します。

•レーザー使用時間

レーザー使用時間情報を表示します。

•ソフトウェアバージョン

システムソフトウェアバージョン情報を表示します。

•リモコン ID

リモコンIDを表示します。

•シリアル番号

製品のシリアル番号を表示します。

アドバンスドメニュー 1

ENTER / ► を押して**アドバンスドメニュー 1**メニューに入ります。

•メニュー位置

OSDメニューが表示される位置を5か所から選択できます。例えば、 を選択すると左寄りに表示されます。「中央」が初期設定になっています。

•メニュー透過度

OSDメニューの透過度レベルを5段階で選択できます。

•節電モード

「オン」を設定するとスタンバイ時に節電モードとなります。LAN(RJ45) または RS-232C 通信でスタンバイから起動する制御を行う場合は、「LAN でオン」を選択してください。

•ファン速度

冷却ファンの動作モードを「ノーマル」または「高速」のいずれかに設定できます。「ノーマル」が初期設定です。

プロジェクターは周囲温度を検知して、自動的に冷却ファンの回転を調節します。周囲温度が上昇するとファンの回転数が大きくなり、騒音も大きくなります。

標高の高い場所は気圧差による温度上昇が高くなります。このファン速度を「高速」に設定すれば、冷却ファンが高速で回転して高地でも温度異常で動作停止することを防ぐことができます。

注意：標高（1520m以上）環境で運転するときは「高速」モードに設定ください。使用できる環境の温度と標高については、081ページを参照してください。

注意：ファン速度を変更したときは、プロジェクターの再起動が必要となります。

●レーザー情報

それぞれのレーザーモードでの使用時間を表示します。

●リモコンID

リモコンIDの本体側の設定を選択できます。

リモコン側のID設定は、022ページ「リモコン」を参照してください。

注意：初期設定の「全ID」は、リモコン側がどのID設定であっても対応します。

注意：本体とリモコンで違うIDを設定してしまってリモコンが使えない場合は、操作ボタンでメニューの設定2「状態」または「リモコンID」を選択し、本体側のID設定を確認して、リモコン側のIDをそれに合わせて再設定が必要です。

注意：メニューで本体側のリモコンIDを設定したときは、**ENTER**を押すか一つ前のメニューに戻る/メニューを閉じる操作を行ってください。これによって新しいID値が保存され、有効になります。

注意：リモコン側の初期値「0(ID無効)」時は、本体側が初期値「全ID」の場合のみ対応します。

●ネットワーク

ネットワークメニューに入ります。

●ネットワーク状態

LANに接続されていない状態では「切断」となります。

プロジェクターコントロール：この機能は、Webを使って本機をコントロールする場合に選択します。

オン：この機能は、本機のソフト更新等の保守用途で通常は使用できません。

●DHCP

プロジェクター設置環境がDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)サーバーに対応している場合に使用できる機能です。この機能を「オン」に設定すると、サーバーから本機にオートIDが送信されます。DHCPが構成されていない場合も、この機能を「オン」に設定できます。プロジェクターIDを手動で入力する必要があります。

●IPアドレス

DHCPサーバーが構成され、この機能がオンの場合は、IPアドレスはここに自動的に表示されます。それ以外の場合はアドレスを手動で入力する必要があります。

●サブネットマスク

DHCPサーバーが構成され、この機能がオンの場合は、サブネットマスクアドレスはここに自動的に表示されます。それ以外の場合はアドレスを手動で入力する必要があります。

●ゲートウェイ

DHCPサーバーが構成され、この機能がオンの場合は、ゲートウェイアドレスはここに自動的に表示されます。それ以外の場合はアドレスを手動で入力する必要があります。

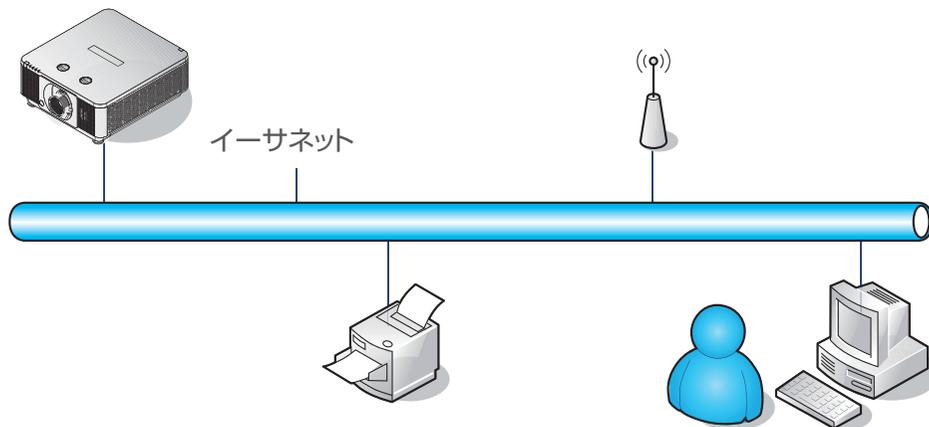
●DNS

DHCPサーバーが構成され、この機能がオンの場合は、DNSアドレスはここに自動的に表示されます。それ以外の場合はアドレスを手動で入力する必要があります。

●適用

ENTER / ▶ を押して設定値を確定します。

LAN_RJ45



有線LANターミナルの機能

コンピュータ(サーバー)から有線LANを介してプロジェクターをリモートコントロール/モニタリングすることができます。Crestron/AMX(Device Discovery)コントロールやPJLinkとの互換性が保証されたLANであれば、ネットワークを介してプロジェクター全般の管理が可能です。

- CrestronはCrestron Electronics, Inc. (米国) の登録商標です。
- AMXはAMX LLC (米国) の登録商標です。
- PJLinkおよびそのロゴは、JBMIAの日本、米国、その他の国や地域における登録または出願商標です。

サポート可能な外部機器

本プロジェクターは、Crestron Electronics製コントローラと関連ソフトウェア(例: RoomView®) が提供するコマンド群の一部に対応しています。

<http://www.crestron.com/>

本プロジェクターはAMX (Device Discovery)によってサポートされています。

<http://www.amx.com/>

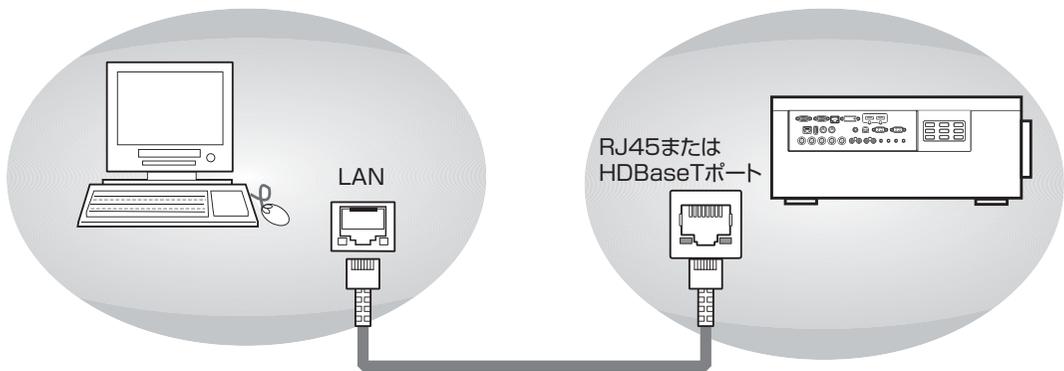
本プロジェクターはPJLink Class 1 (Version 1.00)のすべてのコマンドをサポートしています。

<http://pjlink.jbmia.or.jp/english/>

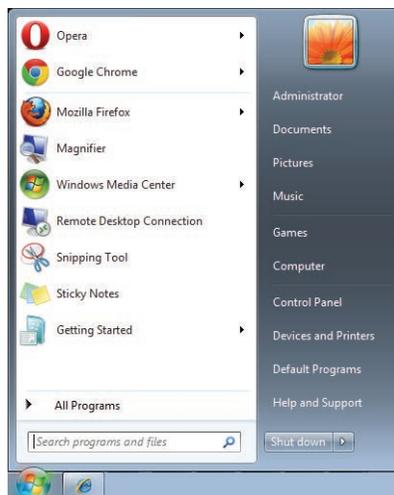
上記の技術を使用した装置の多くで本機のコントロールが可能です。個々の機器、および、制御コマンドで動作しない等がありましたら、上記の各技術のサイトをご確認ください。解決しない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

LAN_RJ45

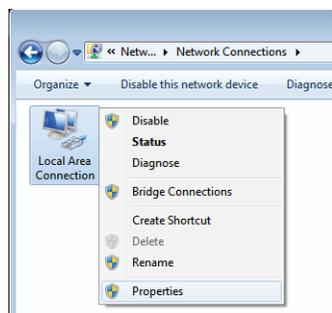
1. RJ45ケーブルをプロジェクターのRJ45ポートとコンピュータ(サーバー)を接続します。



2. コンピュータ(サーバー)上で、**スタート** → **コントロールパネル** → **ネットワークとインターネット**の順にメニューを選択します。(ご使用のコンピュータ、オペレーティングシステムによってメニュー構成が異なる場合があります。)

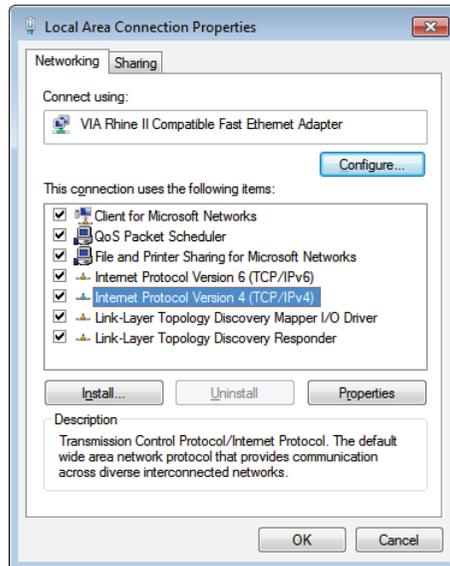


3. **ローカルエリア接続**を右クリックし、**プロパティ**を選択します。

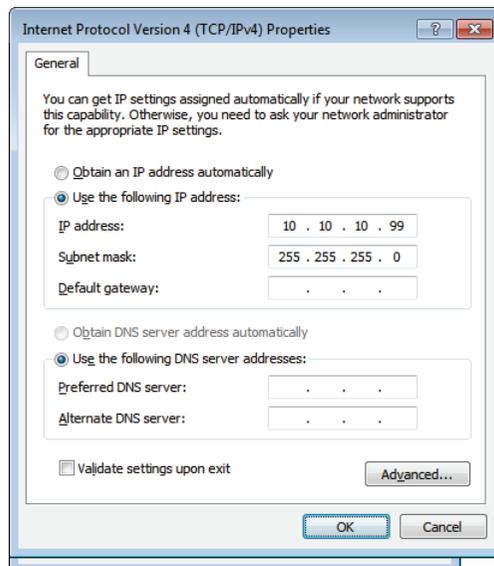


OSD説明

4. プロパティ画面で、**ネットワーク**タブを選択し、**インターネット プロトコル (TCP/IP)**を選択します。
5. **プロパティ**をクリックします。



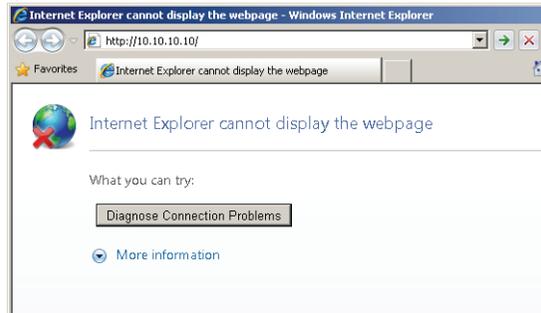
6. 次の**IPアドレスを使う**をクリックし、IPアドレスとサブネットマスクを入力してから**OK**をクリックします。



7. プロジェクター上で**MENU**を押します。
8. **MENU** → **設定2** → **アドバンスドメニュー 1** → **ネットワーク** の順にメニューを選択します。
9. **ネットワーク**から、以下の情報を入力します。

DHCP : オフ
IP アドレス : 10.10.10.10
サブネットマスク : 255.255.255.0
ゲートウェイ : 0.0.0.0
DNSサーバー : 0.0.0.0

10. **ENTER** / **▶** を押して設定値を確定します。
Webブラウザを表示します。
(例：Adobe Flash Player 9.0以降がインストールされているMicrosoft Internet Explorer)



11. アドレスバーにIPアドレスを入力します：10.10.10.10。
12. **ENTER** / **▶** を押します。
接続に成功すると次のような表示になります。

Projector Info	
Alert Mail Settings	
Crestron	
Model Name	
System	
System Status	Power On
Display Source	BNC
Laser Hours	2
Display Mode	Presentation
Error Status	No Error
LAN Status	
IP address	10.10.10.10
Subnet mask	255.255.255.0
Default gateway	0.0.0.0
DNS Server	0.0.0.0
MAC address	00:18:23:50:FF:02
Version	
LAN Version	MHD02_UL
F/W Version	E05

画面左側の「Crestron」を選択すると以下の画面に変わります。



OSD説明

Crestoron画面や右上の「tool」ボタンを押し、次の画面で設定します。

The screenshot shows a configuration window with three main sections: Crestron Control, Projector, and User Password. The Crestron Control section has fields for IP Address, IP ID, and Control Port, with a Send button. The Projector section has fields for Projector Name, Location, and Assigned To, with a Send button. Below these are DHCP settings (checkbox for DHCP Enabled, and fields for IP Address, Subnet Mask, Default Gateway, and DNS Server), each with a Send button. The User Password section has an Enabled checkbox, New Password, and Confirm fields, with a Send button. The Admin Password section has an Enabled checkbox, New Password, and Confirm fields, with a Send button. An Exit button is located at the bottom center.

カテゴリー	項目	入力の長さ
Crestron Control	IP アドレス	15
	IP ID	3
	ポート	5
プロジェクター	プロジェクター名	25
	ロケーション	25
	割り付け先	25
ネットワーク構成	DHCP (有効)	(N/A)
	IP アドレス	15
	サブネットマスク	15
	デフォルトゲートウェイ	15
	DNSサーバー	15
ユーザーパスワード	有効	(N/A)
	新しいパスワード	10
	確認	10
管理パスワード	有効	(N/A)
	新しいパスワード	10
	確認	10

さらに詳しい情報については <http://www.crestoron.com/> をご覧ください。

電子メールアラートの準備

1. Webブラウザ(例:Microsoft Internet Explorer 11)の画面左側「Alert Settings」をクリックします。

Projector Info	Model Name	
Alert Mail Settings	System	
Crestron	System Status	Power On
	Display Source	BNC
	Laser Hours	2
	Display Mode	Presentation
	Error Status	No Error
	LAN Status	
	IP address	10.10.10.10
	Subnet mask	255.255.255.0
	Default gateway	0.0.0.0
	DNS Server	0.0.0.0
	MAC address	00:18:23:50:FF:02
	Version	
	LAN Version	MHD02_UL
	F/W Version	E05

2. 初期設定では「Alert Settings」の入力ボックスは空白になっています。次の3項の通りに入力します。

Projector Info	Send E-Mail
Alert Mail Settings	Enter the appropriate settings in the fields below: (Your SMTP server may not require a user name or password.)
Crestron	

SMTP Server: **Port:**

User Name:

Password:

From:

To:

CC:

E-mail Alert Options:

Fan Lock : **Over_Heat:**

Case Open: **Laser Fail:**

Other Error: **Laser Hours Over:**

OSD説明

3. アラートメールを送信できるようにするため、以下のように入力してください。
- 「SMTPフィールド」は電子メール発信のためのメールサーバーです(SMTPプロトコル)。これは必須フィールドです。
 - 「To」フィールドには受信者（例：プロジェクター管理者）の電子メールアドレスを入力します。これは必須フィールドです。
 - 「Cc」フィールドに電子メールアドレスを入力しておく、アラートメールのコピーがそのアドレスに送られます。このフィールドは省略してもかまいません。(例:プロジェクター管理者のアシスタント)
 - 「From」フィールドは送信元の電子メールアドレスです。これは必須フィールドです。
 - 通知を希望するアラートのボックスをチェックしておきます。

Projector Info

Alert Mail Settings

Crestron

Send E-Mail

Enter the appropriate settings in the fields below:
(Your SMTP server may not require a user name or password.)

SMTP Server: mail.corp.com Port: 25

User Name: Sender.corp

Password: ●●●●

From: send@mail.corp.com

To: rcv1@mail.corp.com

CC: rcv2@mail.corp.com

E-mail Alert Options:

Fan Lock: Over Heat:

Case Open: Laser Fail:

Other Error: Laser Hours Over:

Send Test Mail

注意：指定されたすべてのフィールドに入力してください。Send Test Mail（送信テスト）をクリックすることによって、設定に間違いがないか確認することができます。アラートメールをうまく運用するためには、適切なアラート条件を選択し、正しい電子メールアドレスを入力することが重要です。

Telnet機能を利用したRS-232通信

「Terminal ware」等を用いてコンピュータからRS-232インターフェイスでプロジェクターをコントロールする方法以外に、「TELNET」を用いてコンピュータからLAN/RJ45インターフェイスでRS232コマンドによりコントロールすることもできます。コンピュータの「TELNET」の設定は以下になります。

1. Telnet : TCP
2. Telnetポート : 23
(詳細は88ページを参照ください。)

•HDBaseT/IR

ENTER / ► を押して、HDBaseT/IRメニューに入ります。

•HDBaseT- IR/RS232/RJ45

HDBaseT-IR/RS232/RJ45コントロールを有効、または無効に設定します。(HDBaseT信号を接続した状態で有効に設定できます)

•前面リモコン受光部

前面リモコン受光部を有効、または無効に設定します。

•背面リモコン受光部

背面リモコン受光部を有効、または無効に設定します。

注意：HDBaseTを使用する場合、HDBaseT-IR/RS232/RJ45機能を有効に設定してください。(RS232とRJ45/LAN機能は無効となります。)

HDBaseT-IR/RS232/RJ45コントロール機能表参照。

注意：HDBaseT-IR/RS232/RJ45が有効になると、節電モードが自動的に「LANでオン」にセットされます。

注意：HDBaseT信号が遮断されると、HDBaseT-IR/RS232/RJ45コントロールも無効になります。

HDBaseT-IR/RS232/RJ45コントロール機能表

制御側	機能	プロジェクター モード			備考
		節電モードオン (<0.5W)	節電モードLANでオン (<3W)	HDBaseTコントロール有効 節電モード HDBaseTでオン (<6W)	
プロジェクター	前面リモコン受光部 (無線)	○	○	○ (OSDで無効設定可能)	
	背面リモコン受光部 (無線)	○	○	○ (OSDで無効設定可能)	
	RS-232	○	○	×	
	RJ45/LAN	×	○	×	
	遠隔有線	○	○	○	
HDBaseT TXボックス	HDBT-IR(無線)	×	×	○	
	RS-232	×	×	○	
	RJ45/LAN	×	×	○	
	遠隔有線	×	×	○	有線機能を使用するためには、HDBaseT TX側で遠隔有線接続を行います。

○：有効 ×：無効

アドバンスドメニュー 2

ENTER / ► を押してアドバンスドメニュー 2メニューに入ります。

•スリープタイマー

スリープタイマーをセットします。セットした時間が経過すると、プロジェクターが自動的にオフするよう設定できます。

•ソースフィルター

各入力ソースを個別に有効、または無効に設定できます。

カスタムライト

プロジェクターの光源の明るさを微調節できます。複数のプロジェクターを並べて投写する時にそれぞれの明るさを同一レベルに調節できます。

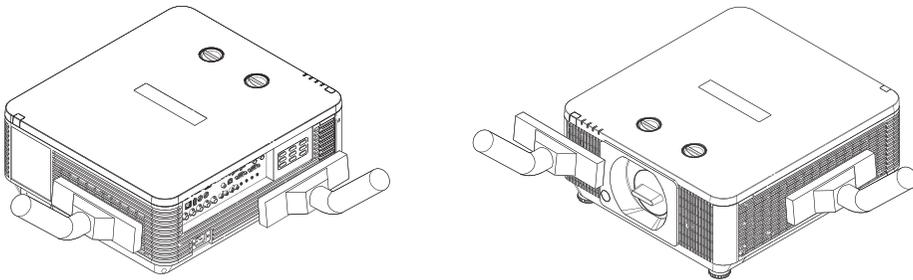
注意：カスタムライト機能を有効にするには、レーザーモードをカスタムライトに設定する必要があります。

お手入れ

お手入れの前に、本機を停止し、電源プラグを外します。本機の温度が下がるまで、45分以上時間を空けるようにしてください。

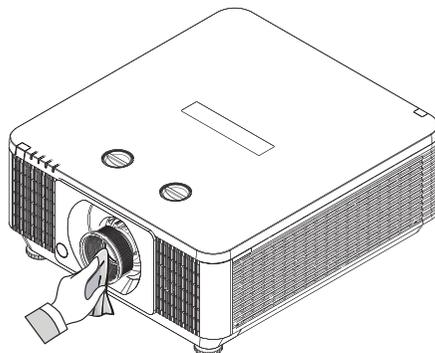
キャビネットのお手入れ

- 乾いた柔らかい布で、キャビネットのほこりをふき取ります。
注意：クレンザーの使用はお勧めしません。汚れがひどい場合、中性洗剤を少し使用して、キャビネットを清掃してください。
- 吸排気口にほこりがたまっている時は、掃除機を使用してキャビネットを清掃してください。
注意：通気が悪いと過熱し、レーザーモジュールの寿命が短くなります。
注意：本機の内部のお手入れが必要であれば、販売店に連絡してください。



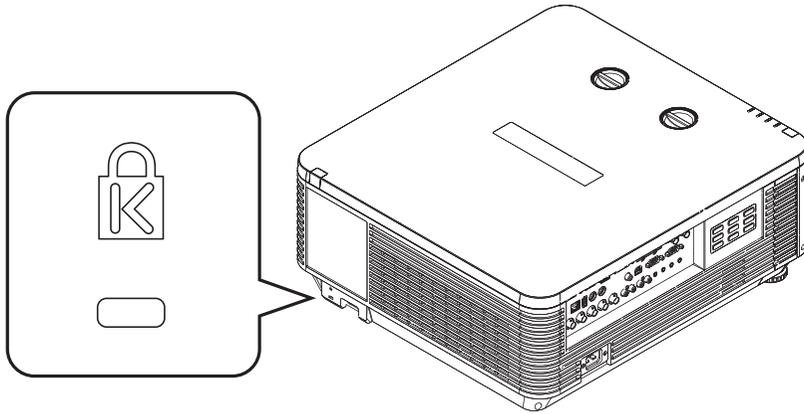
レンズのお手入れ

- 柔毛のエアブラシ、レンズクリーナーペーパー、レンズクリーナー液、柔らかい布などをお手入れに使用します。
注意：上記の品物は、カメラ販売店で購入できます。
- 柔毛のエアブラシを使って、レンズ表面のほこりを落とします。その後、表面のほこりを軽く取り除きます。
注意：レンズ表面に傷をつけないようこの作業は慎重に行ってください。
- レンズクリーナーペーパーをたたみ、ペーパーに数滴のクリーナー液をしみこませ、時計回りまたは反時計回りに、中心から外側に向かって軽くふき取ります。
注意：クリーナー液を直接レンズの表面に塗布しないでください。
レンズに傷を付けないように、前後に強くこすらないでください。
- レンズクリーナー液が乾いてきたら、新しいきれいなクリーナーペーパーに替え、同じ手順でレンズを清掃します。
- 最後に、柔らかい布でレンズをふき取ります。
注意：上に説明したレンズの清掃方法を毎回実施する必要はありません。取れにくい汚れがレンズに付着した場合に上記の方法を適用してください。



Kensington®ロックの使用

本機には、盗難防止用のKensington®ロックを取り付けられます。



注意：盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

- Kensington® は、全世界における登録交付済みおよび申請中の ACCO Brand Corporation の米国登録商標です。

簡易トラブルシューティング

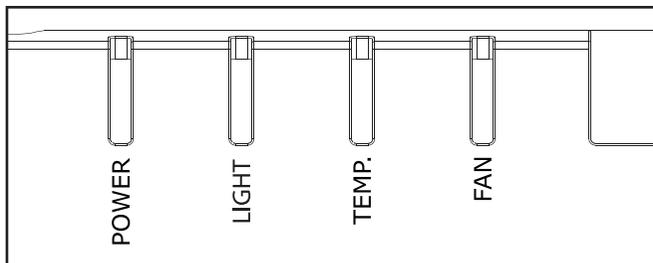
以下の表に、本機で一般的に起こる問題と、診断方法をまとめています。推奨される解決策で問題を解決できない場合、お買い上げいただいた販売店に連絡し、保守を依頼してください。ご自身で本機の保守点検を行わないでください。

問題	予測される原因	解決策
本機を起動できない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクターの電源プラグが外れている。 2. ACソケットが不良である。 3. レンズが取り付けられていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクターの電源コードを壁コンセントに差し込みます。 2. ACソケットに問題がないか確認します。 3. レンズを取り付けます。
リモコンが正常に作動しない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電池が消耗している。 2. 電池の向きを逆にして取り付けしてしまった。 3. リモコンを操作している位置がプロジェクターから離れすぎている、または、信号受信可能な最大角を超えている。リモコンとプロジェクターとの間に障害物が存在している。蛍光灯の光、または直射日光が干渉している。 4. 有線リモートケーブルがプロジェクターの WIRED REMOTE IN 端子に接続されている。 5. リモコンIDがプロジェクター側とリモコン側で合っていない。 6. リモコンがOSDメニューで無効設定されている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新しい電池と交換してください。 2. 電池が正しい方向で取り付けられていることを確認してください。 3. プロジェクターとリモコンの間の距離/角度を調節して再試行してください。プロジェクターとリモコンの間に障害物が存在する場合はそれを取り除き、リモコン受光部に強い光が当たらないようにしてから再試行してください。 4. 有線リモートケーブルを取り外してください。または、有線リモコンを使用してプロジェクターを操作してください。 5. 詳細は 67 ページ「リモコン ID」を参照してください。 6. 更に詳しい情報については、MENU → 設定 2 → アドバンスドメニュー → 前面リモコン受光部または背面リモコン受光部を参照してください。
プロジェクターの起動には問題がなく、OSDメニューへもアクセスできる。しかし、映像が表示されない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクターが正常に起動されていない。または、正しいソースが選択されていない。 2. 映像ソース機器が正しく接続されていない。または、ソースが1つもプロジェクターに接続されていない。 3. 信号が入力されていないため、自動ブランク機能が働いている。 4. ブランク機能が働いている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクターが正しく起動されたことを確認し、正しい入力ソースを選択してください。 2. プロジェクターと映像ソース機器の接続をチェックしてください。 3. 入力ソースを選択してください。または、映像ソース機器を接続してください。 4. リモコンのBLANKを押してください。
プロジェクターは起動できる。しかし、スクリーン上に映像が現れない。	スクリーン上に映像が現れない。機械の動作音だけが聞こえる。	リモコンの BLANK を押してください。
入力ソースとして、DVDプレイヤーをプロジェクターに接続した。しかし、乱れた映像しか表示されない。	プロジェクターに接続しているDVDプレイヤー等の機器の出力設定でプログレッシブスキャンに設定されている。	DVDプレイヤーのプログレッシブスキャン機能を停止してください。
映像が暗くぼやけている。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 映像の明るさ、コントラスト、色、色調設定が適切に調節されていない。 2. レーザーモードが超低電力モードに設定されている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 映像の明るさ、コントラスト、色、色調を調節してください。 2. 65 ページ「レーザーモード」を参照して、レーザーモードの調節を行ってください。
映像の明暗の境界部分が明るすぎる、または、映像の明るい部分がぼやけている。	コントラスト設定が強すぎる。	コントラスト設定を低くしてください。
色が落ちたような映像が表示される。本来暗いはずの部分が明るく表示される。	映像の明るさ設定レベルが高すぎる。	明るさ設定を低くしてください。

問題	予測される原因	解決策
映像がひどくぼやける。	<ol style="list-style-type: none"> 1. レンズのフォーカスが合っていない。 2. プロジェクターの動作中に温度、湿度などの環境条件が変化(低温から高温、乾燥状態から高湿度へ)したため、プロジェクター内部で水分が結露した。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. レンズのフォーカスを調節してください。 2. 最初にプロジェクターを起動して、内部の水分が蒸発して無くなるのを待ってください。※本体表面に霧状の水滴が付着するほど結露してしまった場合は、電源を接続すると機器の故障、感電、火災の危険性が有るので、電源を接続せず乾燥した部屋で十分に乾かしてください。内部に液体が入ってしまった場合は電源を入れずお買い上げの販売店にメンテナンスを依頼してください。
映像の色が薄い。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入力信号タイプが正しく接続されなかった。 2. 色が正しく設定されていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクターと入力装置との接続が正しいか確認してください。 2. メニューを押して、色に関連した設定を調節してください。
映像がときどき点滅することがある。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケーブルが正しく接続されていない。または、入力装置自体が故障している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入力装置がコネクタに正しく接続されているか確認してください。入力装置が正常な動作状態にあるかチェックしてください。
投写された映像の色がずれている(例:赤が青にばける)	入力装置からのケーブル(G/Y, R/Pr, B/Pb)が正しく入力に接続されていない。	入力ソースからのケーブルが正しい並びでプロジェクターに接続されているか確認してください。
冷却ファンのノイズが突然大きくなる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクター内部の温度が上昇した。 2. OSDメニューで高速モードが設定されている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクター内部の温度が上昇すると、内部の熱を速やかに散逸させるためにファンの回転速度が大きくなります。 2. プロジェクターを使用している場所の標高が1520m(5000フィート)以下の場合にはファン速度をノーマルに設定してください。 <small>☐66ページと☐81ページを参照。</small>
プロジェクターのLEDインジケータが赤色で点滅または点灯している。	冷却ファン、電源などが故障している可能性がある。	ページ 80「LEDインジケータの状態」の定義をご覧ください。
<ol style="list-style-type: none"> 1. 投写中に光源が突然切れてしまい、映像も消えてしまう。 2. プロジェクターを起動したが、光源が点灯しない。 	<p>部品故障の可能性があります。</p> <p>プロジェクターのLEDインジケータをチェックして、赤色で点滅/点灯していないか確認してください。</p>	<p>LEDインジケータが赤色で点滅/点灯している場合、部品が故障している可能性があります。すぐに本機の使用を停止し、AC電源を切り販売店またはサービス店に連絡してください。</p>

簡易トラブルシューティング

LEDインジケータの状態



LED名	POWER	LIGHT	TEMP.	FAN
点灯色	緑	赤	赤	赤
正常状態	スタンバイ時に点灯 起動中や消灯中は点滅 起動後は5秒に1回点滅	消灯	消灯	消灯
異常状態	点滅または消灯	光源系の異常状態で 点滅 または 点灯	温度系の異常状態で 点灯	冷却ファンの異常状態で 点灯

仕様

仕様

説明	仕様
型式名	LP-WU6600J
解像度	1920 × 1200 (リアル)
表示素子	0.67型 DLP®チップ×1(枚)
ライト	レーザーダイオード : 6バンク 緑、赤 : レーザー蛍光 青 : 拡散レーザー
入力/出力ポート	1 × 3.5mm ミニジャック、12Vトリガ信号用 1 × COMPUTER IN (5BNC RGBHV/YPbPr/YCbCr) 1 × COMPUTER IN (D-SUB) 1 × RS-232 1 × 有線リモート 1 × HDBaseT 1 × RJ45 1 × USB 電源 1 × 3D同期入力 1 × ビデオ 1 × サービス 1 × オーディオ入力 (L/R) 1 × オーディオ入力 1 × HDMI 1 × HDMI/MHL 1 × DVI -D 1 × モニター出力 1 × 有線リモート出力 1 × 3D同期出力 1 × RS232出力 1 × オーディオ出力 (L/R)
電源 / 定格電流	100V～ / 7.0 A
消費電力	700W
スタンバイ消費電力	Max.0.5W (スタンバイ電力設定オン時)
最大入力解像度	1920 × 1200
動作温度・湿度	0～40°C, 10～85% (結露なきこと)
標高温度	0～760m : 0～40°C 注意 : 35～40°C: 明るさ80% 760～1520m : 0～35°C 1520～2290m : 0～30°C 2290～3050m : 0～25°C
保管温度・湿度	-20°C～60°C, 5%～95% RH (結露なきこと)
質量	約24.5 kg (レンズは含みません)
オプション部品	天吊り部材 HAS-204L (標準天井用) HAS-304H (高天井用) HAS-104S (低天井用) HAS-L6000 (アタッチメントブラケット) レンズ SD-63 (標準レンズ) SL-62 (短焦点レンズ) ML-64 (中焦点レンズ)

仕様

レンズシリーズ

レンズ	投写比	ズーム比	f	F#	映像サイズ (対角)	投写距離	垂直 レンズシフト	水平 レンズシフト
短焦点レンズ SL-62	1.1-1.3	1.18	16.64~19.54	2.05~2.27	35.8"~379.8"	1~9m	-15%~55%	-5%~5%
標準レンズ SD-63	1.54~1.93	1.25	22.84~28.61	2.0~2.09	36.1"~211"	1.5~7m	-15%~55%	-5%~5%
中焦点レンズ ML-64	1.93~2.9	1.5	28.5~42.75	2.5~3.1	32.1"~481.1"	2.0~20m	-15%~55%	-5%~5%

適用可能な信号入力モード

信号形式	解像度	H Freq. KHz	フレーム レート Hz	PCLK MHZ	コンポー ネント 5 BNC	VGA - RGBHV	5 BNC - RGBHV	DVI-D	HDMI / HDBaseT			備考	
									RGB	YUV			
										8bit	10bit		12bit
PC	640 × 480	31.469	59.94	25.175		×	×	×	×			VESA DMT	
		29.688	59.38	23.750		×	×		×			VESA CVT	
		29.820	60.00	23.856		×	×		×			VESA GTF	
	640 × 480	37.500	74.99	31.500		×	×	×	×				VESA DMT
		37.684	74.77	30.750		×	×	×	×				VESA CVT
		37.650	75.00	30.722		×	×	×	×				VESA GTF
	640 × 480	43.269	85.00	36.000		×	×	×	×				VESA DMT
		42.892	84.60	35.000		×	×	×	×				VESA CVT
		42.925	85.00	35.714		×	×	×	×				VESA GTF
	800 × 600	37.879	60.32	40.000		×	×	×	×				VESA DMT
		37.354	59.86	38.250		×	×	×	×				VESA CVT
		37.320	60.00	38.216				×	×				VESA GTF
	800 × 600	46.875	75.00	49.500		×	×	×	×				VESA DMT
		47.115	74.91	49.000		×	×	×	×				VESA CVT
		47.025	75.00	48.906				×	×				VESA GTF
	800 × 600	53.674	85.06	56.250		×	×	×	×				VESA DMT
		53.741	84.90	56.750		×	×	×	×				VESA CVT
		53.550	85.00	56.549				×	×				VESA GTF
	848 × 480	23.674	47.95	25.000		×	×	×	×				VESA CVT
		31.020	60.00	33.750		×	×	×	×				VESA DMT
		29.830	59.66	31.500		×	×	×	×				VESA CVT
		29.820	60.00	31.490				×	×				VESA GTF
	1024 × 768	48.363	60.00	65.000		×	×	×	×				VESA DMT
		47.816	59.92	63.500		×	×	×	×				VESA CVT
		47.700	60.00	64.109		×	×	×	×				VESA GTF
	1024 × 768	60.023	75.00	78.750		×	×	×	×				VESA DMT
		60.294	74.90	82.000		×	×	×	×				VESA CVT
		60.150	75.00	81.804		×	×	×	×				VESA GTF
	1024 × 768	68.677	85.00	94.500		×	×	×	×				VESA DMT
		68.677	84.89	94.500		×	×	×	×				VESA CVT
68.595		85.00	94.387		×	×	×	×				VESA GTF	
1280 × 1024	63.981	60.02	108.000		×	×	×	×				VESA DMT	
	63.668	59.89	109.000		×	×	×	×				VESA CVT	
	63.600	60.00	108.883		×	×	×	×				VESA GTF	
1280 × 1024	79.976	75.02	135.000		×	×	×	×				VESA DMT	
	80.295	74.90	138.750		×	×	×	×				VESA CVT	
	80.175	75.00	138.542		×	×	×	×				VESA GTF	

信号形式	解像度	H Freq. KHz	フレームレート Hz	PCLK MHZ	コンポーネント 5 BNC	VGA - RGBHV	5 BNC - RGBHV	DVI-D	HDMI / HDBaseT				備考	
									RGB	YUV				
										8bit	10bit	12bit		
PC	1280 × 1024	91.146	85.02	157.500		×	×	×	×				VESA DMT	
		91.456	84.84	159.500		×	×	×	×				VESA CVT	
		91.375	85.00	159.358		×	×	×	×				VESA GTF	
	1600 × 1200	75.000	60.00	162.000		×	×	×	×				VESA DMT	
		74.537	59.87	161.000		×	×	×	×				VESA CVT	
		74.520	60.00	160.963		×	×	×	×				VESA GTF	
	1680 × 1050	65.290	60.00	146.250		×	×	×	×				VESA DMT	
		65.290	59.95	146.250		×	×	×	×				VESA CVT	
		65.220	60.00	147.136		×	×	×	×				VESA GTF	
	1920 × 1200 RB	61.816	50.00	158.250		×	×	×	×				VESA CVT	
	1920 × 1200 RB	74.038	60.00	154.000		×	×	×	×				VESA CVT	
	1400 × 1050	65.317	60.00	121.750			×	×	×	×				VESA DMT
		65.317	59.98	121.750			×	×	×	×				VESA CVT
		65.220	60.00	122.614			×	×	×	×				VESA GTF
	1366 × 768	47.712	60.00	85.500		×	×	×	×				VESA DMT	
	1440 × 900	55.935	60.00	106.500			×	×	×	×				VESA DMT
		55.920	60.00	106.472			×	×	×	×				VESA GTF
	1280 × 768	47.776	60.00	79.500			×	×	×	×				VESA DMT
		47.776	59.87	79.500			×	×	×	×				VESA CVT
		47.700	60.00	80.136			×	×	×	×				VESA GTF
	1280 × 800	49.702	60.00	83.500			×	×	×	×				VESA DMT
		49.680	60.00	83.462			×	×	×	×				VESA GTF
	1280 × 960	60.000	60.00	108.000			×	×	×	×				VESA DMT
		59.699	59.94	101.250			×	×	×	×				VESA CVT
		59.640	60.00	102.104					×	×				VESA GTF
	1280 × 720	37.071	49.83	60.500			×	×	×	×				VESA CVT
		37.050	50.00	60.466			×	×	×	×				VESA GTF
		44.772	59.86	74.500			×	×	×	×				VESA CVT
		44.760	60.00	74.481			×	×	×	×				VESA GTF
	1920 × 1080	55.621	49.93	141.500			×	×	×	×				VESA CVT
	1600 × 900	55.990	59.95	118.250			×	×	×	×				VESA CVT
		55.920	60.00	118.998			×	×	×	×				VESA GTF
	1600 × 900 RB	60.000	60.00	108.000			×	×	×	×				VESA DMT
		55.540	59.98	97.750			×	×	×	×				VESA CVT
	1360 × 768	47.720	59.80	84.750			×	×	×	×				VESA CVT
		47.700	60.00	84.715			×	×	×	×				VESA GTF
	Apple Mac	640 × 480	35.000	66.67	30.240		×	×	×	×				Apple MAC
		832 × 624	49.720	74.54	57.280		×	×	×	×				Apple MAC
	SDTV	480i	15.734	59.94	13.500	×								
		1440×480i	31.468	60.00	27.000					×	×	×	×	
1440×576i		31.250	50.00	27.000					×	×	×	×		
576i		15.625	50.00	13.500	×									
EDTV	480p	31.469	59.94	27.000	×	×	×		×	×	×	×		
	576p	31.250	50.00	27.000	×	×	×		×	×	×	×		

仕様

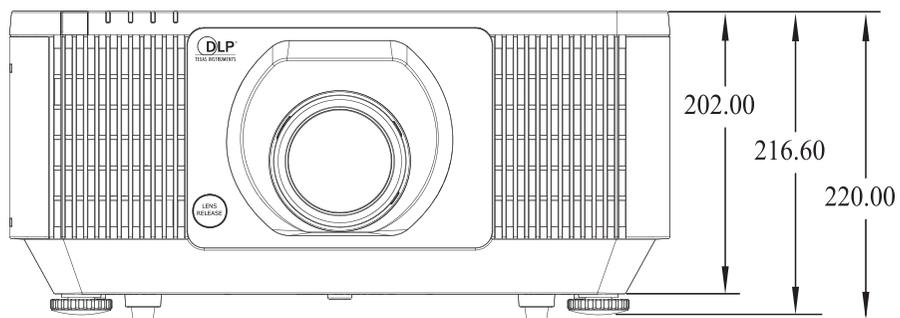
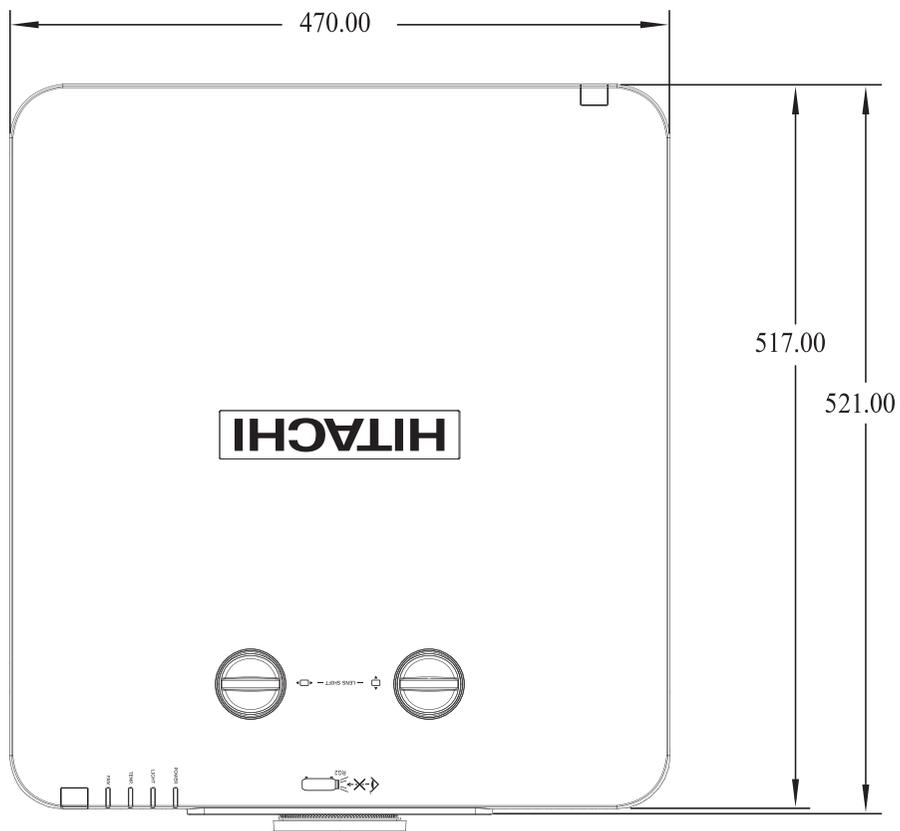
信号形式	解像度	H Freq. KHz	フレームレート Hz	PCLK MHZ	コンポジット 5 BNC	VGA - RGBHV	5 BNC - RGBHV	DVI-D	HDMI / HDBaseT			備考	
									RGB	YUV			
										8bit	10bit		12bit
HDTV	1080i	28.125	50.00	74.250	×	×	×	×	×	×	×	×	
	1080i	33.716	59.94	74.176	×	×	×	×	×	×	×	×	
	1080i	33.750	60.00	74.250	×	×	×	×	×	×	×	×	
	720p	37.500	50.00	74.250	×	×	×	×	×	×	×	×	
	720p	44.955	59.94	74.176	×	×	×	×	×	×	×	×	
	720p	45.000	60.00	74.250	×	×	×	×	×	×	×	×	
	1080p	26.973	23.98	74.176	×	×	×	×	×	×	×	×	
	1080p	27.000	24.00	74.250	×	×	×	×	×	×	×	×	
	1080p	28.125	25.00	74.250	×	×	×	×	×	×	×	×	
	1080p	33.716	29.97	74.176	×	×	×	×	×	×	×	×	
	1080p	33.750	30.00	74.250	×	×	×	×	×	×	×	×	
	1080p	56.250	50.00	148.500	×	×	×	×	×	×	×	×	
	1080p	67.433	59.94	148.352	×	×	×	×	×	×	×	×	
	1080p	67.5	60.00	148.500	×	×	×	×	×	×	×	×	

3Dタイミング形式

	標準	解像度	V-Freq (Hz)	V-Total	H-Freq (kHz)	HDBaseT	HDMI1/2	DVI-D
720p50	フレームパッキング	1280×720	50	1470	37.5		○	
720p59	フレームパッキング	1280×720	59.94	1470	44.96	○	○	
720p60	フレームパッキング	1280×720	60	1470	45	○	○	
720p50	上/下	1280×720	50	750	37.5	○	○	○
720p59	上/下	1280×720	59.94	750	44.96	○	○	○
720p60	上/下	1280×720	60	750	45	○	○	○
1080p23	フレームパッキング	1920×1080	23.98	2205	26.97	○	○	
1080p24	フレームパッキング	1920×1080	24	2205	27	○	○	
1080i50	横並び(ハーフ)	1920×1080	50	1125	56.25	○	○	○
1080i59	横並び(ハーフ)	1920×1080	59.94	1125	67.43	○	○	○
1080i60	横並び(ハーフ)	1920×1080	60	1125	67.5	○	○	○
1080p50	横並び(ハーフ)	1920×1080	50	1125	56.25	○	○	○
1080p59	横並び(ハーフ)	1920×1080	59.94	1125	67.43	○	○	○
1080p60	横並び(ハーフ)	1920×1080	60	1125	67.5	○	○	○
1080p50	上/下	1920×1080	50	1125	56.25	○	○	○
1080p59	上/下	1920×1080	59.94	1125	67.43	○	○	○
1080p60	上/下	1920×1080	60	1125	67.5	○	○	○
1080p50	フレームシーケンシャル	1920×1080	50	1125	56.25	○	○	○
1080p59	フレームシーケンシャル	1920×1080	59.64	1125	67.43	○	○	○
1080p60	フレームシーケンシャル	1920×1080	60	1125	67.5	○	○	○

注意：フレーム抜けやフレーム重複が発生する場合があります。

外形寸法



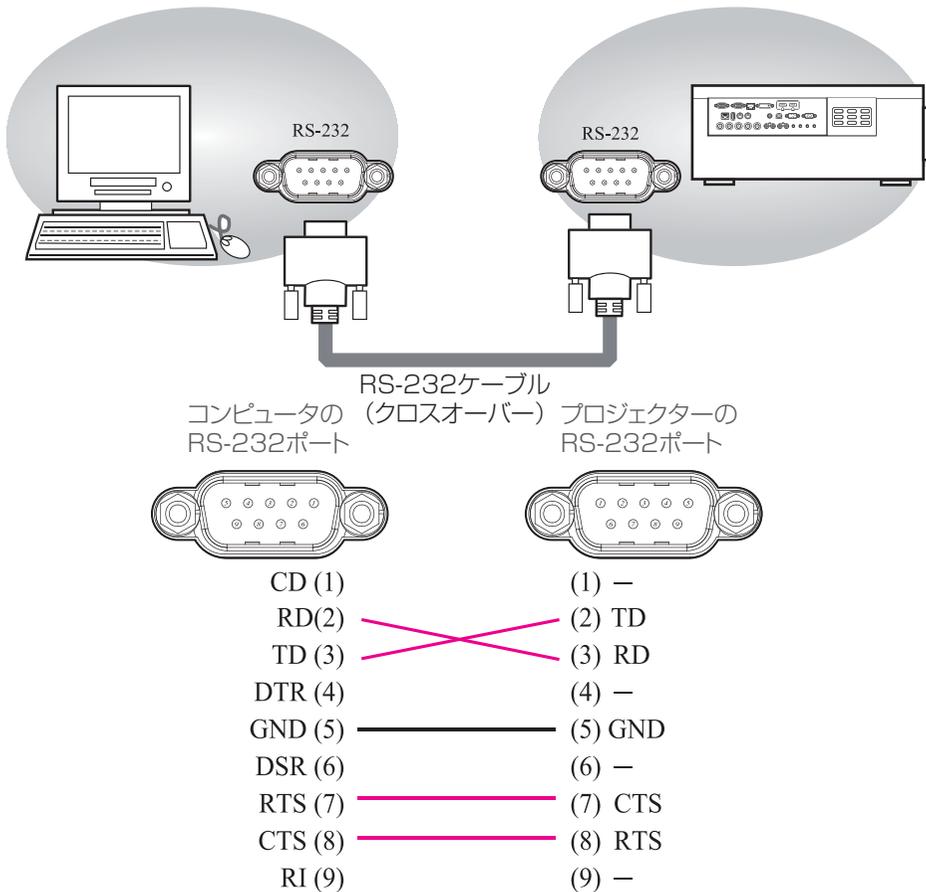
通信設定

RS-232通信

プロジェクターをコンピュータからのRS-232コマンドでコントロールするためには、両者をRS-232ケーブルで接続する必要があります。RS-232 コマンドの詳細は、RS-232 通信コマンド表を参照してください。

接続

1. プロジェクターとコンピュータの電源を切ります。
2. RS-232ケーブル（クロスオーバー）を使用して両装置のRS-232ポートを接続します。図に示す仕様に適合したケーブルを使用してください。
3. コンピュータの電源を入れ、コンピュータが起動してからプロジェクターの電源を入れます。



注意：ストレートタイプのRS-232ケーブルが設備で準備されている場合は、クロスオーバー接続するための変換ケーブル / アダプタを追加する必要があります。

1. プロトコル

19200bps,8N1

2. コマンド形式

("h": 16進表記)

バイト番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コマンド 動作	ヘッダー							データ					
	ヘッダーコード		パケット	データサイズ		CRC フラグ		動作		タイプ		設定コード	
	L	H		L	H	L	H	L	H	L	H	L	H
<SET> : [タイプ] で指定した項目 [(bL)(bH)] を、[セッティング] で指定した値 [(cL)(cH)] に従って、設定を変更します。	BEh	EFh	03h	06h	00h	(aL)	(aH)	01h	00h	(bL)	(bH)	(cL)	(cH)
<GET> : [タイプ] で指定した項目 [(bL)(bH)] の設定値を読み出します。						(aL)	(aH)	02h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h
<INCREMENT> : [タイプ] で指定した項目 [(bL)(bH)] の設定値を1増やします。						(aL)	(aH)	04h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h
<DECREMENT> : [タイプ] で指定した項目 [(bL)(bH)] の設定値を1減らします。						(aL)	(aH)	05h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h
<EXECUTE> : [タイプ] で指定した機能 [(bL)(bH)] を実行します。						(aL)	(aH)	06h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h

[ヘッダーコード] [パケット] [データサイズ]

バイト番号0-4に[BEh, EFh, 03h, 06h, 00h]をセットします。

[CRCフラグ]

バイト番号5、6については、RS-232 通信コマンド表を参照してください。

[動作]

バイト番号7、8に機能コードをセットします。

<SET> = [01h, 00h], <GET> = [02h, 00h], <INCREMENT> = [04h, 00h]

<DECREMENT> = [05h, 00h], <EXECUTE> = [06h, 00h]

RS232 通信コマンド表を参照してください。

[タイプ] [設定コード]

バイト番号9~12については、RS-232 通信コマンド表を参照してください。

3. 応答コード/エラーコード

("h": 16進表記)

1. ACK応答 : 06h

プロジェクターがSet, Increment, Decrement, またはExecuteコマンドを正常に受信すると、プロジェクターは[Type]で指定された項目の設定データを変更し、そのコードを返します。

2. NAK応答 : 15h

プロジェクターが受信したコマンドの内容を理解できなかった場合、プロジェクターはこのエラーコードを返します。このエラーが起こったときは、送信したコードをチェックしてから、同じコマンドを再送してください。

3. エラー応答 : 1Ch + 0000h

何らかの理由により、受信したコマンドをプロジェクターが実行できない場合、プロジェクターはこのエラーコードを返します。このエラーが起こったときは、送信したコードとプロジェクター側の設定状態をチェックしてください。

通信設定

4. データ応答：1Dh + xxxxh

プロジェクターがGETコマンドを正常受信すると、プロジェクターは応答コードと2バイトのデータを返します。

注意：プロジェクターを他の装置と接続するときは、必ず各装置のマニュアルを読み、適合するケーブルを用いて正しく接続してください。

注意：未定義コマンド/データを受信した後、プロジェクターがどのような動作するのかについては保証できません。

注意：応答コード受信後、次のコードを送信するまでに少なくとも40msの間隔を置いてください。

注意：プロジェクターへの電源投入時、および、光源点灯時に、プロジェクターはテストデータを出力します。このデータは無視してかまいません。

注意：暖機時間中のプロジェクターはコマンドを受け付けません。

注意：データの長さが、データ長コードで指定される長さを超えた場合、プロジェクターは規定長を超えた部分のデータコードを無視します。逆に、データの長さがデータ長コードで指定されたよりも短い場合、プロジェクターはコンピュータへエラーコードを返します。

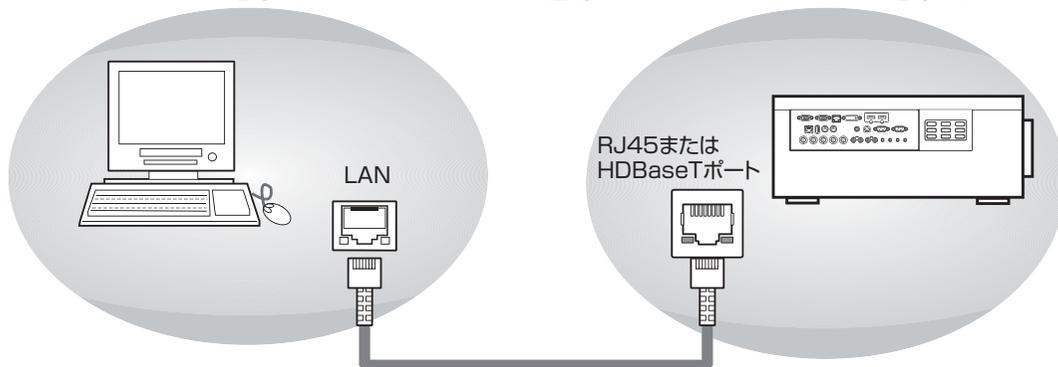
ネットワークを介したコマンド制御

プロジェクターをネットワークへ接続することにより、Webブラウザを使用してコンピュータからRS-232Cコマンドを送信することによってプロジェクターをコントロールすることができます。

RS-232Cコマンドの詳細については、RS-232C通信/ネットワークコマンド表を参照してください。

接続

1. プロジェクターとコンピュータの電源を切ります。
2. 有線LANで接続する場合、LANケーブルを使用してプロジェクターのRJ45ポートをコンピュータのLANまたはHDBaseTポートへ接続します。下図に示す仕様に適合するケーブルを使用してください。
3. コンピュータの電源を入れ、コンピュータが起動してからプロジェクターの電源を入れます。



- LAN ケーブル(CAT-5e 以上)
または
- HDBaseT 接続の場合
 - CAT-5e 以上
 - シールドタイプ(コネクタ搭載)
 - ストレートケーブル
 - シングルケーブル

通信ポート

次の2つのポートがコマンド制御用に割り付けられています。

TCP #23

コマンド制御設定

[TCP #23]

1. コマンド形式

RS-232C 通信と同じです。RS-232C 通信コマンド形式を参照してください。

2. 応答コード/エラーコード ("h": 16進表記)

TCP#23用として使用する応答/エラーコードの4種類はRS-232C通信の(1)-(4)と同じです。

(1)ACK応答：06h

RS-232C 通信を参照してください。

(2)NAK応答：15h

RS-232C 通信を参照してください。

(3)エラー応答：1Ch + 0000h

RS-232C 通信を参照してください。

(4)データ応答：1Dh + xxxxh

RS-232C 通信を参照してください。

注意：未定義コマンド/データ受信後のプロジェクターがどのような動作を行うかについては保証できません。

注意：応答コード受信後、次のコードを送信するまでに少なくとも 40ms の間隔を置いてください。

注意：暖機時間中のプロジェクターはコマンドを受け付けません。

通信コマンド表

機能	操作		ヘッダーデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)			説明
			ヘッダーコード	パケット	データサイズ	CRC	動作	タイプ	設定コード	
電源	Set	オフ	BE EF	03	06 00	2A D3	01 00	00 60	00 00	0: オフ
		オン	BE EF	03	06 00	BA D2	01 00	00 60	01 00	1: オン
	Get		BE EF	03	06 00	19 D3	02 00	00 60	00 00	2: 冷却 4: 警告
エラー状態	Get		BE EF	03	06 00	D9 D8	02 00	20 60	00 00	0: ノーマル 1: カバーエラー 2: ファンエラー 3: レーザーエラー 4: 温度エラー 7, 128: その他のエラー
一時停止	Set	オフ	BE EF	03	06 00	83 D2	01 00	02 30	00 00	
		オン	BE EF	03	06 00	13 D3	01 00	02 30	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	B0 D2	02 00	02 30	00 00	
AV消音	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FE F0	01 00	A0 20	00 00	
		オン	BE EF	03	06 00	6E F1	01 00	A0 20	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	CD F0	02 00	A0 20	00 00	
MHLモード	Set	プロジェクターモード	BE EF	03	06 00	C2 50	01 00	A1 22	00 00	
		MHLモード	BE EF	03	06 00	52 51	01 00	A1 22	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	F1 50	02 00	A1 22	00 00	

通信設定

機能	操作		ヘッダーデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)			説明
			ヘッダーコード	パケット	データサイズ	CRC	動作	タイプ	設定コード	
ディスプレイモード	Set	プレゼンテーション	BE EF	03	06 00	B3 CB	01 00	BA 30	51 00	
		ブライツ	BE EF	03	06 00	23 CA	01 00	BA 30	50 00	
		ゲーム	BE EF	03	06 00	D3 F6	01 00	BA 30	03 00	
		映画	BE EF	03	06 00	B3 F7	01 00	BA 30	01 00	
		ビビッド	BE EF	03	06 00	73 F5	01 00	BA 30	05 00	
		テレビ	BE EF	03	06 00	43 CB	01 00	BA 30	52 00	
		sRGB	BE EF	03	06 00	23 F6	01 00	BA 30	00 00	
		DICOM SIM.	BE EF	03	06 00	73 C6	01 00	BA 30	41 00	
	ユーザー 1	BE EF	03	06 00	E3 FB	01 00	BA 30	10 00		
ユーザー 2	BE EF	03	06 00	73 FA	01 00	BA 30	11 00			
	Get		BE EF	03	06 00	10 F6	02 00	BA 30	00 00	
明るさ	Increment		BE EF	03	06 00	EF D2	04 00	03 20	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	3E D3	05 00	03 20	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	89 D2	02 00	03 20	00 00	
コントラスト	Increment		BE EF	03	06 00	9B D3	04 00	04 20	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	4A D2	05 00	04 20	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	FD D3	02 00	04 20	00 00	
コンピュータ - 水平位置	Increment		BE EF	03	06 00	97 82	04 00	01 21	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	46 83	05 00	01 21	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	F1 82	02 00	01 21	00 00	
コンピュータ - 垂直位置	Increment		BE EF	03	06 00	6B 83	04 00	00 21	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	BA 82	05 00	00 21	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	0D 83	02 00	00 21	00 00	
コンピュータ - クロック位相	Increment		BE EF	03	06 00	2F 83	04 00	03 21	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	FE 82	05 00	03 21	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	49 83	02 00	03 21	00 00	
コンピュータ - トラッキング	Increment		BE EF	03	06 00	D3 82	04 00	02 21	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	02 83	05 00	02 21	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	B5 82	02 00	02 21	00 00	
オートアジャスト	Execute		BE EF	03	06 00	91 D0	06 00	0A 20	00 00	
プリリアントカラー	Increment		BE EF	03	06 00	3B 5D	04 00	9C 22	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	EA 5C	05 00	9C 22	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	5D 5D	02 00	9C 22	00 00	
シャープネス	Increment		BE EF	03	06 00	97 72	04 00	01 22	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	46 73	05 00	01 22	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	F1 72	02 00	01 22	00 00	
ガンマ	Set	1.8	BE EF	03	06 00	3B 86	01 00	A0 30	B4 00	
		2.0	BE EF	03	06 00	FB A6	01 00	A0 30	C8 00	
		2.2	BE EF	03	06 00	FB A9	01 00	A0 30	DC 00	
		2.4	BE EF	03	06 00	3B B5	01 00	A0 30	F0 00	
		白黒	BE EF	03	06 00	EB F1	01 00	A0 30	FD FF	
		リニア	BE EF	03	06 00	1B F1	01 00	A0 30	FE FF	
	Get		BE EF	03	06 00	08 F1	02 00	A0 30	00 00	

機能	操作		ヘッダーデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)			説明
			ヘッダーコード	パケット	データサイズ	CRC	動作	タイプ	設定コード	
色温度	Set	低	BE EF	03	06 00	6B F4	01 00	B0 30	01 00	
		ノーマル	BE EF	03	06 00	9B F4	01 00	B0 30	02 00	
		高	BE EF	03	06 00	0B F5	01 00	B0 30	03 00	
	Get		BE EF	03	06 00	C8 F5	02 00	B0 30	00 00	
ビデオ AGC	Set	オフ	BE EF	03	06 00	92 5C	01 00	9D 22	00 00	
		オン	BE EF	03	06 00	02 5D	01 00	9D 22	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	A1 5C	02 00	9D 22	00 00	
色彩度	Increment		BE EF	03	06 00	D3 72	04 00	02 22	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	02 73	05 00	02 22	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	B5 72	02 00	02 22	00 00	
色相	Increment		BE EF	03	06 00	2F 73	04 00	03 22	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	FE 72	05 00	03 22	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	49 73	02 00	03 22	00 00	
ホワイトバランス - 赤ゲイン	Increment		BE EF	03	06 00	52 F4	04 00	B1 30	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	83 F5	05 00	B1 30	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	34 F4	02 00	B1 30	00 00	
ホワイトバランス - 緑ゲイン	Increment		BE EF	03	06 00	16 F4	04 00	B2 30	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	C7 F5	05 00	B2 30	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	70 F4	02 00	B2 30	00 00	
ホワイトバランス - 青ゲイン	Increment		BE EF	03	06 00	EA F5	04 00	B3 30	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	3B F4	05 00	B3 30	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	8C F5	02 00	B3 30	00 00	
ホワイトバランス - 赤オフセット	Increment		BE EF	03	06 00	62 F5	04 00	B5 30	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	B3 F4	05 00	B5 30	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	04 F5	02 00	B5 30	00 00	
ホワイトバランス - 緑オフセット	Increment		BE EF	03	06 00	26 F5	04 00	B6 30	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	F7 F4	05 00	B6 30	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	40 F5	02 00	B6 30	00 00	
ホワイトバランス - 青オフセット	Increment		BE EF	03	06 00	DA F4	04 00	B7 30	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	0B F5	05 00	B7 30	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	BC F4	02 00	B7 30	00 00	
カラーマネージャ - 赤色調	Increment		BE EF	03	06 00	6A 63	04 00	00 27	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	BB 62	05 00	00 27	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	0C 63	02 00	00 27	00 00	
カラーマネージャ - 赤色彩度	Increment		BE EF	03	06 00	AA 67	04 00	10 27	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	7B 66	05 00	10 27	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	CC 67	02 00	10 27	00 00	
カラーマネージャ - 赤ゲイン	Increment		BE EF	03	06 00	AA 68	04 00	20 27	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	7B 69	05 00	20 27	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	CC 68	02 00	20 27	00 00	
カラーマネージャ - 緑色調	Increment		BE EF	03	06 00	D2 62	04 00	02 27	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	03 63	05 00	02 27	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	B4 62	02 00	02 27	00 00	
カラーマネージャ - 緑色彩度	Increment		BE EF	03	06 00	12 66	04 00	12 27	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	C3 67	05 00	12 27	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	74 66	02 00	12 27	00 00	

通信設定

機能	操作	ヘッダーデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)			説明
		ヘッダーコード	パケット	データサイズ	CRC	動作	タイプ	設定コード	
カラーマネージャ - 緑ゲイン	Increment	BE EF	03	06 00	12 69	04 00	22 27	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	C3 68	05 00	22 27	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	74 69	02 00	22 27	00 00	
カラーマネージャ - 青色調	Increment	BE EF	03	06 00	5A 62	04 00	04 27	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	8B 63	05 00	04 27	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	3C 62	02 00	04 27	00 00	
カラーマネージャ - 青色彩度	Increment	BE EF	03	06 00	9A 66	04 00	14 27	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	4B 67	05 00	14 27	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	FC 66	02 00	14 27	00 00	
カラーマネージャ - 青ゲイン	Increment	BE EF	03	06 00	9A 69	04 00	24 27	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	4B 68	05 00	24 27	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	FC 69	02 00	24 27	00 00	
カラーマネージャ - シアン色調	Increment	BE EF	03	06 00	2E 63	04 00	03 27	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	FF 62	05 00	03 27	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	48 63	02 00	03 27	00 00	
カラーマネージャ - シアン色彩度	Increment	BE EF	03	06 00	EE 67	04 00	13 27	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	3F 66	05 00	13 27	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	88 67	02 00	13 27	00 00	
カラーマネージャ - シアンゲイン	Increment	BE EF	03	06 00	EE 68	04 00	23 27	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	3F 69	05 00	23 27	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	88 68	02 00	23 27	00 00	
カラーマネージャ - マゼンタ色調	Increment	BE EF	03	06 00	A6 63	04 00	05 27	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	77 62	05 00	05 27	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	00 63	02 00	05 27	00 00	
カラーマネージャ - マゼンタ色彩度	Increment	BE EF	03	06 00	66 67	04 00	15 27	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	B7 66	05 00	15 27	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	00 67	02 00	15 27	00 00	
カラーマネージャ - マゼンタゲイン	Increment	BE EF	03	06 00	66 68	04 00	25 27	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	B7 69	05 00	25 27	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	00 68	02 00	25 27	00 00	
カラーマネージャ - 黄色色調	Increment	BE EF	03	06 00	96 62	04 00	01 27	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	47 63	05 00	01 27	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	F0 62	02 00	01 27	00 00	
カラーマネージャ - 黄色色彩度	Increment	BE EF	03	06 00	56 66	04 00	11 27	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	87 67	05 00	11 27	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	30 66	02 00	11 27	00 00	
カラーマネージャ - 黄色ゲイン	Increment	BE EF	03	06 00	56 69	04 00	21 27	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	87 68	05 00	21 27	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	30 69	02 00	21 27	00 00	

機能	操作		ヘッダーデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)			説明
			ヘッダーコード	パケット	データサイズ	CRC	動作	タイプ	設定コード	
カラーマネージャ - 白ゲインR	Increment		BE EF	03	06 00	CA 6A	04 00	28 27	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	1B 6B	05 00	28 27	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	AC 6A	02 00	28 27	00 00	
カラーマネージャ - 白ゲインG	Increment		BE EF	03	06 00	72 6B	04 00	2A 27	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	A3 6A	05 00	2A 27	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	14 6B	02 00	2A 27	00 00	
カラーマネージャ - 白ゲインB	Increment		BE EF	03	06 00	FA 6B	04 00	2C 27	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	2B 6A	05 00	2C 27	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	9C 6B	02 00	2C 27	00 00	
入力ソース	Set	HDMI 1	BE EF	03	06 00	0E D2	01 00	00 20	03 00	
		HDMI 2 / MHL	BE EF	03	06 00	6E D6	01 00	00 20	0D 00	
		DVI-D	BE EF	03	06 00	AE D4	01 00	00 20	09 00	
		VGA	BE EF	03	06 00	FE D2	01 00	00 20	00 00	
		BNC	BE EF	03	06 00	3E D0	01 00	00 20	04 00	
		Composite Video	BE EF	03	06 00	6E D3	01 00	00 20	01 00	
		HDBaseT	BE EF	03	06 00	AE DE	01 00	00 20	11 00	
	Get		BE EF	03	06 00	CD D2	02 00	00 20	00 00	
設置状態	Set	ノーマル/前面	BE EF	03	06 00	C7 D2	01 00	01 30	00 00	
		背面	BE EF	03	06 00	57 D3	01 00	01 30	01 00	
		天吊り	BE EF	03	06 00	37 D2	01 00	01 30	03 00	
		背面天吊り	BE EF	03	06 00	A7 D3	01 00	01 30	02 00	
	Get		BE EF	03	06 00	F4 D2	02 00	01 30	00 00	
アスペクト	Set	16:10	BE EF	03	06 00	3E D6	01 00	08 20	0A 00	
		4:3	BE EF	03	06 00	9E D0	01 00	08 20	00 00	
		16:9	BE EF	03	06 00	0E D1	01 00	08 20	01 00	
		レター ボックス	BE EF	03	6 00	3E D3	01 00	08 20	06 00	
		リアル	BE EF	03	6 00	5E D7	01 00	08 20	08 00	
	2.35:1	BE EF	03	6 00	0E D4	01 00	08 20	0D 00		
Get		BE EF	03	06 00	AD D0	02 00	08 20	00 00		
水平キーストーン	Increment		BE EF	03	06 00	8F D0	04 00	0B 20	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	5E D1	05 00	0B 20	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	E9 D0	02 00	0B 20	00 00	
垂直キーストーン	Increment		BE EF	03	06 00	DF D3	04 00	07 20	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	0E D2	05 00	07 20	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	B9 D3	02 00	07 20	00 00	
ズーム	Increment		BE EF	03	06 00	5B 5F	04 00	94 22	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	8A 5E	05 00	94 22	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	3D 5F	02 00	94 22	00 00	
ボリューム	Increment		BE EF	03	06 00	57 D3	04 00	01 20	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	86 D2	05 00	01 20	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	31 D3	02 00	01 20	00 00	
消音	Set	オフ	BE EF	03	06 00	46 D3	01 00	02 20	00 00	
		オン	BE EF	03	06 00	D6 D2	01 00	02 20	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	75 D3	02 00	02 20	00 00	

通信設定

機能	操作		ヘッダーデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)			説明
			ヘッダーコード	パケット	データサイズ	CRC	動作	タイプ	設定コード	
内部スピーカー	Set	オフ	BE EF	03	06 00	6E D5	01 00	1C 20	00 00	
		オン	BE EF	03	06 00	FE D4	01 00	1C 20	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	5D D5	02 00	1C 20	00 00	
言語 (Language)	Set	英語	BE EF	03	06 00	F7 D3	01 00	05 30	00 00	
		フランス語	BE EF	03	06 00	67 D2	01 00	05 30	01 00	
		ドイツ語	BE EF	03	06 00	97 D2	01 00	05 30	02 00	
		スペイン語	BE EF	03	06 00	07 D3	01 00	05 30	03 00	
		ポルトガル語	BE EF	03	06 00	C7 D1	01 00	05 30	07 00	
		簡体字中国語	BE EF	03	06 00	A7 D5	01 00	05 30	09 00	
		繁体字中国語	BE EF	03	06 00	37 DE	01 00	05 30	10 00	
		イタリア語	BE EF	03	06 00	37 D1	01 00	05 30	04 00	
		ノルウェー語	BE EF	03	06 00	A7 D0	01 00	05 30	05 00	
		スウェーデン語	BE EF	03	06 00	C7 D4	01 00	05 30	08 00	
		オランダ語	BE EF	03	06 00	57 D0	01 00	05 30	06 00	
		ロシア語	BE EF	03	06 00	F7 D6	01 00	05 30	0C 00	
		ポーランド語	BE EF	03	06 00	97 D7	01 00	05 30	0E 00	
		フィンランド語	BE EF	03	06 00	67 D7	01 00	05 30	0D 00	
		ギリシャ語	BE EF	03	06 00	07 DC	01 00	05 30	17 00	
		韓国語	BE EF	03	06 00	57 D5	01 00	05 30	0A 00	
		ハンガリー語	BE EF	03	06 00	C7 DE	01 00	05 30	13 00	
		チェコ語	BE EF	03	06 00	57 DF	01 00	05 30	12 00	
		アラビア語	BE EF	03	06 00	37 DB	01 00	05 30	1C 00	
		トルコ語	BE EF	03	06 00	07 D6	01 00	05 30	0F 00	
		ベトナム語	BE EF	03	06 00	37 CA	01 00	05 30	20 00	
		日本語	BE EF	03	06 00	37 D4	01 00	05 30	08 00	
		タイ語	BE EF	03	06 00	07 D9	01 00	05 30	1B 00	
		ペルシャ語	BE EF	03	06 00	A7 DA	01 00	05 30	1D 00	
		ヘブライ語	BE EF	03	06 00	A7 CB	01 00	05 30	21 00	
		デンマーク語	BE EF	03	06 00	A7 DF	01 00	05 30	11 00	
		カナダ系フランス語	BE EF	03	06 00	57 CB	01 00	05 30	22 00	
	Get		BE EF	03	06 00	C4 D3	02 00	05 30	00 00	
セキュリティ・ロック状態	Get		BE EF	03	06 00	C9 37	02 00	10 36	00 00	0: オフ 1: オン
スプラッシュ ロゴ	Set	標準	BE EF	03	06 00	CB E3	01 00	04 30	40 00	
		黒	BE EF	03	06 00	AB D1	01 00	04 30	06 00	
		青	BE EF	03	06 00	FB D2	01 00	04 30	03 00	
	Get		BE EF	03	06 00	38 D2	02 00	04 30	00 00	
クローズドキャ プション	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FA 62	01 00	00 37	00 00	
		オン	BE EF	03	06 00	6A 63	01 00	00 37	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	C9 62	02 00	00 37	00 00	
キーボードロック	Set	オフ	BE EF	03	06 00	03 96	01 00	11 24	00 00	
		オン	BE EF	03	06 00	93 97	01 00	11 24	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	30 96	02 00	11 24	00 00	

機能	操作		ヘッダーデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)			説明
			ヘッダーコード	パケット	データサイズ	CRC	動作	タイプ	設定コード	
3D	Set	オフ	BE EF	03	06 00	52 58	01 00	8D 22	00 00	
		DLP-Link	BE EF	03	06 00	C2 59	01 00	8D 22	01 00	
		IR	BE EF	03	06 00	32 59	01 00	8D 22	02 00	
	Get		BE EF	03	06 00	61 58	02 00	8D 22	00 00	
3D同期反転	Set	オフ	BE EF	03	06 00	CE 5B	01 00	84 22	00 00	
		オン	BE EF	03	06 00	5E 5A	01 00	84 22	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	FD 5B	02 00	84 22	00 00	
3D形式	Set	フレームシーケンシャル	BE EF	03	06 00	1A 5A	01 00	8B 22	04 00	
		上/下	BE EF	03	06 00	2A 58	01 00	8B 22	03 00	
		横並び	BE EF	03	06 00	BA 59	01 00	8B 22	02 00	
		フレームパッキング	BE EF	03	06 00	8A 5B	01 00	8B 22	05 00	
	Get		BE EF	03	06 00	E9 58	02 00	8B 22	00 00	
3D同期出力遅延	Increment		BE EF	03	06 00	67 5A	04 00	85 22	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	B6 5B	05 00	85 22	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	01 5A	02 00	85 22	00 00	
3D同期入力	Set	オフ	BE EF	03	06 00	76 5A	01 00	86 22	00 00	
		オン	BE EF	03	06 00	E6 5B	01 00	86 22	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	45 5A	02 00	86 22	00 00	
テストパターン	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FB FA	01 00	80 30	00 00	
		RGBランプ	BE EF	03	06 00	5B E2	01 00	80 30	22 00	
		カラーバー	BE EF	03	06 00	AB F6	01 00	80 30	11 00	
		ステップバー	BE EF	03	06 00	CB F2	01 00	80 30	1F 00	
		チェックボード	BE EF	03	06 00	AB F3	01 00	80 30	1D 00	
		グリッド	BE EF	03	06 00	5B F6	01 00	80 30	12 00	
		水平線	BE EF	03	06 00	CB E3	01 00	80 30	23 00	
		垂直線	BE EF	03	06 00	FB E1	01 00	80 30	24 00	
		斜線	BE EF	03	06 00	3B E3	01 00	80 30	20 00	
		水平ランプ	BE EF	03	06 00	0B FA	01 00	80 30	03 00	
		垂直ランプ	BE EF	03	06 00	AB E2	01 00	80 30	21 00	
		白	BE EF	03	06 00	0B F5	01 00	80 30	17 00	
		赤	BE EF	03	06 00	FB F5	01 00	80 30	14 00	
		緑	BE EF	03	06 00	6B F4	01 00	80 30	15 00	
		青	BE EF	03	06 00	9B F4	01 00	80 30	16 00	
	黒	BE EF	03	06 00	FB F0	01 00	80 30	18 00		
Get		BE EF	03	06 00	C8 FA	02 00	80 30	00 00		
水平画像シフト	Increment		BE EF	03	06 00	AE D7	04 00	10 30	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	7F D6	05 00	10 30	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	C8 D7	02 00	10 30	00 00	
垂直画像シフト	Increment		BE EF	03	06 00	52 D6	04 00	11 30	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	83 D7	05 00	11 30	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	34 D6	02 00	11 30	00 00	
4 Corner - 左上コーナー - x	Increment		BE EF	03	06 00	57 89	04 00	21 21	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	86 88	05 00	21 21	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	31 89	02 00	21 21	00 00	

通信設定

機能	操作		ヘッダーデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)			説明
			ヘッダーコード	パケット	データサイズ	CRC	動作	タイプ	設定コード	
4 Corner - 左上コーナー - y	Increment		BE EF	03	06 00	13 89	04 00	22 21	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	C2 88	05 00	22 21	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	75 89	02 00	22 21	00 00	
4 Corner - 右上コーナー - x	Increment		BE EF	03	06 00	EF 88	04 00	23 21	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	3E 89	05 00	23 21	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	89 88	02 00	23 21	00 00	
4 Corner - 右上コーナー - y	Increment		BE EF	03	06 00	9B 89	04 00	24 21	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	4A 88	05 00	24 21	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	FD 89	02 00	24 21	00 00	
4 Corner - 左下コーナー - x	Increment		BE EF	03	06 00	67 88	04 00	25 21	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	B6 89	05 00	25 21	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	01 88	02 00	25 21	00 00	
4 Corner - 左下コーナー - y	Increment		BE EF	03	06 00	23 88	04 00	26 21	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	F2 89	05 00	26 21	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	45 88	02 00	26 21	00 00	
4 Corner - 右下コーナー - x	Increment		BE EF	03	06 00	DF 89	04 00	27 21	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	0E 88	05 00	27 21	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	B9 89	02 00	27 21	00 00	
4 Corner - 右下コーナー - y	Increment		BE EF	03	06 00	CB 8A	04 00	28 21	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	1A 8B	05 00	28 21	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	AD 8A	02 00	28 21	00 00	
4 Corner - リセット	Execute		BE EF	03	06 00	F1 99	06 00	72 21	00 00	
オートソース	Set	オフ	BE EF	03	06 00	B6 D6	01 00	16 20	00 00	
		オン	BE EF	03	06 00	26 D7	01 00	16 20	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	85 D6	02 00	16 20	00 00	
オートパワーオフ(分)	Increment		BE EF	03	06 00	6E 86	04 00	10 31	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	BF 87	05 00	10 31	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	08 86	02 00	10 31	00 00	
ダイレクトパワーオン	Set	オフ	BE EF	03	06 00	3B 89	01 00	20 31	00 00	
		オン	BE EF	03	06 00	AB 88	01 00	20 31	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	08 89	02 00	20 31	00 00	
ライトモード	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	3B 23	01 00	00 33	00 00	
		エコ	BE EF	03	06 00	AB 22	01 00	00 33	01 00	
		エコプラス	BE EF	03	06 00	5B 22	01 00	00 33	02 00	
		低電力	BE EF	03	06 00	CB 23	01 00	00 33	03 00	
		超低電力	BE EF	03	06 00	FB 21	01 00	00 33	04 00	
		カスタムライト	BE EF	03	06 00	3B 37	01 00	00 33	30 00	
	Get		BE EF	03	06 00	08 23	02 00	00 33	00 00	
工場出荷設定	Execute		BE EF	03	06 00	98 8D	06 00	30 71	00 00	
入力ソース	Get		BE EF	03	06 00	CD D2	02 00	00 20	00 00	
ビデオ情報 - Vアクティブ	Get		BE EF	03	06 00	7A 86	02 00	12 11	00 00	
ビデオ情報 - Hアクティブ	Get		BE EF	03	06 00	7A 89	02 00	22 11	00 00	

機能	操作		ヘッダーデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)			説明
			ヘッダーコード	パケット	データサイズ	CRC	動作	タイプ	設定コード	
ビデオ情報 - 垂直周波数	Get		BE EF	03	06 00	8A 83	02 00	06 11	00 00	fV[Hz] x 100
レーザー使用時間 - 高	Get		BE EF	03	06 00	2A FD	02 00	9E 10	00 00	
レーザー使用時間 - 低	Get		BE EF	03	06 00	C2 FF	02 00	90 10	00 00	
リモコン ID	Get		BE EF	03	06 00	AC 30	02 00	08 26	00 00	
メニュー位置	Set	中心	BE EF	03	06 00	97 D7	01 00	1D 30	04 00	
		下	BE EF	03	06 00	97 D8	01 00	1D 30	10 00	
		上	BE EF	03	06 00	07 D9	01 00	1D 30	11 00	
		左	BE EF	03	06 00	F7 D9	01 00	1D 30	12 00	
		右	BE EF	03	06 00	67 D8	01 00	1D 30	13 00	
	Get		BE EF	03	06 00	64 D5	02 00	1D 30	00 00	
メニュー透過度	Set	0%	BE EF	03	06 00	E6 5A	01 00	9A 22	00 00	
		25%	BE EF	03	06 00	76 56	01 00	9A 22	19 00	
		50%	BE EF	03	06 00	86 48	01 00	9A 22	32 00	
		75%	BE EF	03	06 00	16 6B	01 00	9A 22	4B 00	
		100%	BE EF	03	06 00	26 77	01 00	9A 22	64 00	
	Get		BE EF	03	06 00	D5 5D	02 00	9A 22	00 00	
節電モード	Set	オン	BE EF	03	06 00	46 D3	01 00	01 60	01 00	
		LANでオン	BE EF	03	06 00	D6 D2	01 00	01 60	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	E5 D2	02 00	01 60	00 00	
ファン速度	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	E3 12	01 00	00 4C	00 00	
		高速	BE EF	03	06 00	73 13	01 00	00 4C	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	D0 12	02 00	00 4C	00 00	
レーザー使用時間 - ノーマル - 高	Get		BE EF	03	06 00	31 54	02 00	B1 22	00 00	
レーザー使用時間 - ノーマル - 低	Get		BE EF	03	06 00	CD 55	02 00	B0 22	00 00	
レーザー使用時間 - エコ - 高	Get		BE EF	03	06 00	89 55	02 00	B3 22	00 00	
レーザー使用時間 - エコ - 低	Get		BE EF	03	06 00	75 54	02 00	B2 22	00 00	
レーザー使用時間 - エコプラス - 高	Get		BE EF	03	06 00	01 55	02 00	B5 22	00 00	
レーザー使用時間 - エコプラス - 低	Get		BE EF	03	06 00	FD 54	02 00	B4 22	00 00	
レーザー使用時間 - 低電力 - 高	Get		BE EF	03	06 00	B9 54	02 00	B7 22	00 00	
レーザー使用時間 - 低電力 - 低	Get		BE EF	03	06 00	45 55	02 00	B6 22	00 00	
レーザー使用時間 - 超低電力 - 高	Get		BE EF	03	06 00	51 56	02 00	B9 22	00 00	

通信設定

機能	操作		ヘッダーデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)			説明
			ヘッダーコード	パケット	データサイズ	CRC	動作	タイプ	設定コード	
レーザー使用时间-超低電力-低	Get		BE EF	03	06 00	AD 57	02 00	B8 22	00 00	
レーザー使用时间-カスタムライト-高	Get		BE EF	03	06 00	E9 57	02 00	BB 22	00 00	
レーザー使用时间-カスタムライト-低	Get		BE EF	03	06 00	15 56	02 00	BA 22	00 00	
リモコン ID	Set	全ID	BE EF	03	06 00	9F 30	01 00	08 26	00 00	
		1	BE EF	03	06 00	0F 31	01 00	08 26	01 00	
		2	BE EF	03	06 00	FF 31	01 00	08 26	02 00	
		3	BE EF	03	06 00	6F 30	01 00	08 26	03 00	
		4	BE EF	03	06 00	5F 32	01 00	08 26	04 00	
		5	BE EF	03	06 00	CF 33	01 00	08 26	05 00	
		6	BE EF	03	06 00	3F 33	01 00	08 26	06 00	
	7	BE EF	03	06 00	AF 32	01 00	08 26	07 00		
	Get		BE EF	03	06 00	AC 30	02 00	08 26	00 00	
ネットワークステータス	Get		BE EF	03	06 00	B5 5F	02 00	92 22	00 00	切断:0 接続:1
DHCP	Get		BE EF	03	06 00	0F 06	02 00	10 29	00 00	オフ:0 オン:1
IP アドレス (1st)	Get		BE EF	03	06 00	F3 07	02 00	11 29	00 00	
IP アドレス (2st)	Get		BE EF	03	06 00	B7 07	02 00	12 29	00 00	
IP アドレス (3rd)	Get		BE EF	03	06 00	4B 06	02 00	13 29	00 00	
IP アドレス (4th)	Get		BE EF	03	06 00	3F 07	02 00	14 29	00 00	
サブネットマスク (1st)	Get		BE EF	03	06 00	C3 06	02 00	15 29	00 00	
サブネットマスク (2st)	Get		BE EF	03	06 00	87 06	02 00	16 29	00 00	
サブネットマスク (3rd)	Get		BE EF	03	06 00	7B 07	02 00	17 29	00 00	
サブネットマスク (4th)	Get		BE EF	03	06 00	6F 04	02 00	18 29	00 00	
ゲートウェイ (1st)	Get		BE EF	03	06 00	93 05	02 00	19 29	00 00	
ゲートウェイ (2st)	Get		BE EF	03	06 00	D7 05	02 00	1A 29	00 00	
ゲートウェイ (3rd)	Get		BE EF	03	06 00	2B 04	02 00	1B 29	00 00	
ゲートウェイ (4th)	Get		BE EF	03	06 00	5F 05	02 00	1C 29	00 00	
DNS 1st	Get		BE EF	03	06 00	F3 08	02 00	21 29	00 00	
DNS 2st	Get		BE EF	03	06 00	B7 08	02 00	22 29	00 00	
DNS 3rd	Get		BE EF	03	06 00	4B 09	02 00	23 29	00 00	
DNS 4th	Get		BE EF	03	06 00	3F 08	02 00	24 29	00 00	

機能	操作		ヘッダーデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)			説明
			ヘッダーコード	パケット	データサイズ	CRC	動作	タイプ	設定コード	
HDBaseT - IR/RS232/RJ45	Set	オフ	BE EF	03	06 00	2A 5D	01 00	9F 22	00 00	
		オン	BE EF	03	06 00	BA 5C	01 00	9F 22	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	19 5D	02 00	9F 22	00 00	
前面リモコン受光部	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FF 32	01 00	00 26	00 00	
		オン	BE EF	03	06 00	6F 33	01 00	00 26	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	CC 32	02 00	00 26	00 00	
背面リモコン受光部	Set	オフ	BE EF	03	06 00	03 33	01 00	01 26	00 00	
		オン	BE EF	03	06 00	93 32	01 00	01 26	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	30 33	02 00	01 26	00 00	
スリープタイマー	Increment		BE EF	03	06 00	83 5C	04 00	9E 22	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	52 5D	05 00	9E 22	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	E5 5C	02 00	9E 22	00 00	
ソースフィルター - HDMI 1	Set	SKIP	BE EF	03	06 00	2A 79	01 00	23 22	01 00	
		ノーマル	BE EF	03	06 00	BA 78	01 00	23 22	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	89 78	02 00	23 22	00 00	
ソースフィルター - HDMI 2 / MHL	Set	SKIP	BE EF	03	06 00	C2 7B	01 00	2D 22	01 00	
		ノーマル	BE EF	03	06 00	52 7A	01 00	2D 22	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	61 7A	02 00	2D 22	00 00	
ソースフィルター - DVI-D	Set	SKIP	BE EF	03	06 00	F2 7A	01 00	29 22	01 00	
		ノーマル	BE EF	03	06 00	62 7B	01 00	29 22	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	51 7B	02 00	29 22	00 00	
ソースフィルター - VGA	Set	SKIP	BE EF	03	06 00	6E 79	01 00	20 22	01 00	
		ノーマル	BE EF	03	06 00	FE 78	01 00	20 22	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	CD 78	02 00	20 22	00 00	
ソースフィルター - BNC	Set	SKIP	BE EF	03	06 00	5E 78	01 00	24 22	01 00	
		ノーマル	BE EF	03	06 00	CE 79	01 00	24 22	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	FD 79	02 00	24 22	00 00	
ソースフィルター - Composite Video	Set	SKIP	BE EF	03	06 00	92 78	01 00	21 22	01 00	
		ノーマル	BE EF	03	06 00	02 79	01 00	21 22	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	31 79	02 00	21 22	00 00	
ソースフィルター - HDBaseT	Set	SKIP	BE EF	03	06 00	26 EB	01 00	D6 20	01 00	
		ノーマル	BE EF	03	06 00	B6 EA	01 00	D6 20	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	85 EA	02 00	D6 20	00 00	
カスタムライト	Increment		BE EF	03	06 00	1A 22	04 00	07 33	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	CB 23	05 00	07 33	00 00	
	Get		BE EF	03	06 00	7C 22	02 00	07 33	00 00	

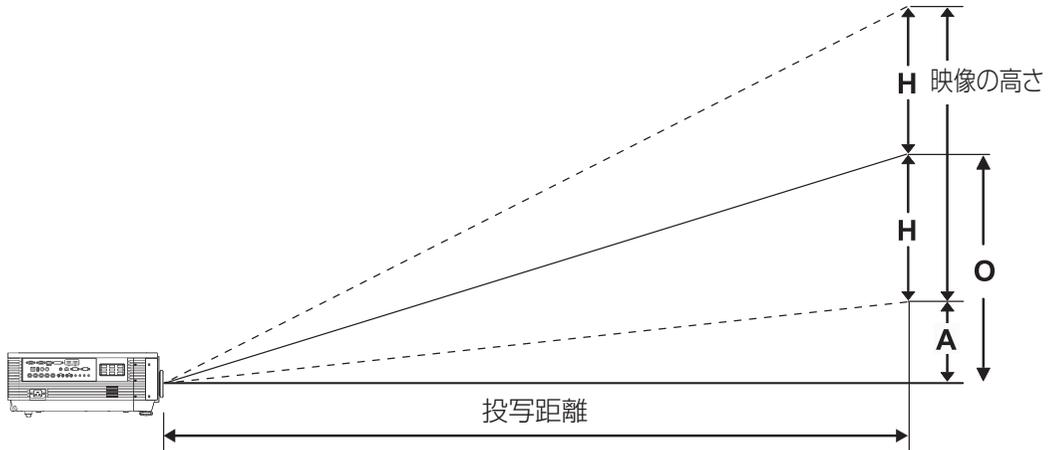
PJLinkコマンド

POWR	電力コントロール	0 = スタンバイ
		1 = 電源オン
POWR ?	電源状態の照会	0 = スタンバイ
		1 = 電源オン
		2 = クールダウン
INPT	入力ソース選択	11 = COMPUTER IN
		12 = BNC
		23 = ビデオ
		31 = HDMI 1
		32 = DVI-D
		33 = HDMI 2 / MHL
INPT ?	入力ソース照会	11 = COMPUTER IN
		12 = BNC
		23 = ビデオ
		31 = HDMI 1
		32 = DVI-D
		33 = HDMI 2 / MHL
AVMT	AV消音	30 = AV消音オフ
		31 = AV消音オン
AVMT ?	AV消音状態照会	30 = AV消音オフ
		31 = AV消音オン
ERST ?	エラー状態照会	第1バイト：ファンエラー参照 : 0-2のいずれか
		第2バイト：レーザーエラー参照 : 0-2のいずれか
		第3バイト：温度エラー参照 : 0-2のいずれか
		第4バイト：カバーエラー参照 : 0-2のいずれか
		第6バイト：その他のエラー参照 : 0-2のいずれか
		数値 (0-2) の意味 : 0 = エラー非検出 1 = 警告 2 = エラー
LAMP ?	レーザー状態照会	第1の数値 (デジット 1から5) レーザー使用時間
		第2の数値 : 0 = 光源Off、1 = 光源On
INST ?	入力ソースリスト照会	11 12 23 31 32 33 36
NAME ?	プロジェクター名照会	Crestronの項目PROJECTOR NAMEにセットされている名称を返答します。
INF 1 ?	製造者名照会	HITACHI
INF 2 ?	型式名照会	LP-WU6600
CLSS ?	クラス情報照会	1

注意：PJLink の仕様については、ビジネス機械・情報システム産業協会 (Japan Business Machine and Information System Industries Association) の Web サイトをご覧ください。

URL: <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

投写距離と投写サイズの対照表



SL-62 (短焦点レンズ) TR: 1.1 ~ 1.3、オフセット=55%

	テレ				ワイド			
距離 (m)	1.12	2.8	5.60	8.96	1.18	3.55	7.11	9.00
対角 (型(インチ))	40	100	200	320	50	150	300	380
映像幅 (mm)	862	2154	4308	6893	1077	3231	6462	8185
映像高さ (mm)	538	1346	2692	4308	673	2019	4039	5116
H (mm)	269	673	1346	2154	337	1010	2019	2558
O (mm)	296	740	1481	2369	370	1111	2221	2814
A (mm)	27	67	135	215	34	101	202	256

SD-63 (標準(STD)レンズ) TR: 1.54 ~ 1.93、オフセット=55%

	テレ				ワイド			
距離 (m)	1.66	3.33	4.16	8.31	1.66	3.32	6.63	9.95
対角 (型(インチ))	40	80	100	200	50	100	200	300
映像幅 (mm)	862	1723	2154	4308	1077	2154	4308	6462
映像高さ (mm)	538	1077	1346	2692	673	1346	2692	4039
H (mm)	269	538	673	1346	337	673	1346	2019
O (mm)	296	592	740	1481	370	740	1481	2221
A (mm)	27	54	67	135	34	67	135	202

ML-64 (中焦点レンズ) TR: 1.93 ~ 2.9、オフセット=55%

	テレ				ワイド			
距離 (m)	2.50	6.25	12.49	18.74	2.08	6.24	12.47	18.71
対角 (型(インチ))	40	100	200	300	50	150	300	450
映像幅 (mm)	862	2154	4308	6462	1077	3231	6462	9693
映像高さ (mm)	538	1346	2692	4039	673	2019	4039	6058
H (mm)	269	673	1346	2019	337	1010	2019	3029
O (mm)	296	740	1481	2221	370	1111	2221	3332
A (mm)	27	67	135	202	34	101	202	303

保証とアフターサービスについて（必ずお読みください。）

修理を依頼されるときは （出張修理）

「簡易トラブルシューティング」（P78ページ）に従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間については保証書をご覧ください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。

補修用性能部品保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って日立マクセル(株)が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	プロジェクター
本体形名	LP-WU6600J
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
梱包材の有無	輸送いただく場合はお買い上げ時の梱包材をお使いください。梱包材が損傷していたり廃棄または紛失した場合はお知らせください。
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料

故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。

+

部品代

修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

+

出張料

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話 ()	年 月 日

長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ほこり、煙草の煙などの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検



このような症状はありませんか

- 電源を入れても映像が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った。



ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ
 なお、転居されたり、贈り物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は
 下記窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに
 関するご相談は

TEL 0120-3121-68

携帯電話・PHSから 0570-0031-68 (有料)

FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00 ~ 19:00 (月~土)
 9:00 ~ 17:30 (日・祝日)

商品情報やお取り扱いに
 ついてのご相談は

TEL 0120-3121-19

FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00 ~ 17:30
 携帯電話、PHSからもご利用できます。
 (日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の
 休日は休ませていただきます。)

- 本窓口等で取得致しましたお客様の個人情報、お客様のご相談およびサポート等への対応を目的として利用し、適切に管理します。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確に回答するために通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

※弊社の「個人情報保護方針」は、下記をご参照下さい。

URL <http://www.maxell.co.jp/jpn/privacy.html>

商標

- ・DLP® と DLP®Link™ は、Texas Instruments 社の商標です。
- ・HDMI®、HDMI® ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface® は、HDMI Licensing LLC の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・PJLink 商標は、日本、米国、その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- ・Crestron®、Crestron e-Control®、e-Control®、Crestron Connected™、Fusion RV®、Crestron RoomView®、RoomView™ は、米国および海外の Crestron Electronics, Inc. の商標または登録商標です。
- ・DICOM® は、全米電気機器製造業者協会の登録商標です。
- ・HDBaseT™ と HDBaseT アライアンスロゴは、HDBaseT アライアンスの商標です。
- ・MHL® MHL ロゴおよび Mobile High-Definition Link は MHL, LLC の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他の商標はすべて、各所有者に帰属します。



日立マクセル株式会社

〒 244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 5030 番地 TEL 050-3033-5963(直通)